

# 官報

號外 昭和九年三月二日

## ○第六十五回 衆議院議事速記録第十七號

昭和九年三月一日(木曜日)

午後一時三十六分開議

議事日程 第十六號

昭和九年三月一日

午後一時開議

第一 衆議院議員選舉法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會

第二 大正九年法律第十二號中改正法律案

(所得稅法ノ施行ニ關スル件) 第一讀會

(政府提出) 第一讀會

第三 昭和九年度一般會計歲出ノ財源

ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第四 絲價安定融資擔保生絲買收法中

改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 日本銀行特別融通及損失補償法

中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交

付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第七 秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三

鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第八 兵役法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

貴族院送付)

第九 計理士法中改正法律案(世耕弘

一君外二名提出) 第一讀會

第十 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出) 第一讀會

第十一 百貨店法案(野田文一郎君外二名提出) 第一讀會

第十二 大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(野田文一郎君外二名提出) 第一讀會

第十三 司法代書人法中改正法律案(立川平君外二名提出) 第一讀會

第十四 司法代書人法中改正法律案(野田文一郎君提出) 第一讀會

第十五 司法代書人法中改正法律案(斯波貞吉君外一名提出) 第一讀會

第十六 蠶絲業組合法中改正法律案(風見章君提出) 第一讀會

第十七 郷又ハ町村祿高ニ對スル公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外四名提出) 第一讀會

第十八 行政執行法中改正法律案(一松定吉君外六名提出) 第一讀會

第十九 速記士法案(內藤正剛君外一名提出) 第一讀會

第二十 地租法中改正法律案(山田助作君外九名提出) 第一讀會

第二十一 建築士法案(星島二郎君外三名提出) 第一讀會

第二十二 建築士法案(多田滿長君外三名提出) 第一讀會

第二十三 史蹟名勝天然紀念物保存法中改正法律案(天辰正守君外一名提出) 第一讀會

第二十四 農業保險法案(高田辰平君外五名提出) 第一讀會

第二十五 簡易森林火災保險法案(小山邦太郎君外十七名提出) 第一讀會

第二十六 漁船保險法案(工藤鐵男君外三名提出) 第一讀會

第二十七 刑事訴訟法中改正法律案(原夫次郎君外十三名提出) 第一讀會

第二十八 刑法中改正法律案(作田高太郎君外十三名提出) 第一讀會

第二十九 借地借家調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十 小作調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十一 民事訴訟法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十二 陪審法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出) 第一讀會

第三十三 產業組合法中改正法律案(風見章君提出) 第一讀會

第三十四 百貨店ノ小賣制限ニ關スル法律案(眞鍋儀十君外三名提出) 第一讀會

第三十五 水利組合法中改正法律案(熊谷五右衛門君提出) 第一讀會

第三十六 北海道土功組合法中改正法律案(林路一君外十三名提出) 第一讀會

第三十七 地方財政調整法案(勝正憲君外九名提出) 第一讀會

第三十八 所得稅法中改正法律案(大口喜六君外一名提出) 第一讀會

第三十九 決議案(南滿洲鐵道株式會社改造ノ件)(小池四郎君提出) 第一讀會

第四十 決議案(內閣不信任ノ件)(安達謙藏君外二名提出) 第一讀會

○議長(秋田清君) 諸君、諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一議員ノ異動左ノ如シ

愛媛縣第三區選出議員清家吉次郎君死去セラレタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

昭和七年度歲入歲出總決算

昭和七年度各特別會計歲入歲出決算

昭和七年度歲入歲出決算檢查報告

(以上二月二十三日提出)

日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案

(以上二月二十四日提出)

(第一號)昭和九年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案

絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

(以上二月二十六日提出)

一昨二十八日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

兵役法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

漁業法中改正法律案

提出者

畑七右衛門君 青木雷三郎君  
(以上二月二十二日提出)

速記士法案

提出者

平島 敏夫君 金井 正夫君  
(以上二月二十八日提出)

二瀬長尾間鐵道敷設速成ニ關スル建議案  
實岡半之助君

二瀬長尾間鐵道敷設速成ニ關スル建議案  
提出者 高野 喜六君  
(以上二月二十二日提出)

鹿兒島縣大島郡振興計畫促進ニ關スル建議案  
提出者 金井 正夫君  
(以上二月二十八日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

交通事故防止ニ關スル質問主意書  
提出者 林 路一君  
(以上二月二十二日提出)

金錢債務臨時調停法ニ關スル質問主意書  
提出者 山村豐次郎君

坂上田村鷹武功顯彰ニ關スル質問主意書  
提出者 中野種一郎君  
(以上二月二十八日提出)

一去二十三日政府ヨリ昭和七年度國有財産増減總計算書及之ニ添付スヘキ各省ノ同増減報告書並會計檢査院檢査報告ヲ受領セリ

一去二十二日齋藤内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第六十五回帝國議會商工省所管事務政府委員被仰付

一去二十二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第三部選出豫算委員 林 路一君  
一去二十二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員

高見 之通君 宮崎 一君

梅村 大君 山本 芳治君

天辰 正守君 小林 鑄君

矢野庄太郎君 原 淳一郎君

伊禮 肇君

農村救済負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出)外一件委員

高橋熊次郎君 出井 兵吉君

船田 中君 増田 金作君

兼田 秀雄君 山田 又司君

加藤久米四郎君 松山常次郎君

岡田 忠彦君 宮澤 裕君

金井 正夫君 木村 正義君

小川郷太郎君 勝 正憲君

岡田喜久治君 齋藤 直橋君

一去二十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

川淵 洽馬君 由谷 義治君

治安維持法中改正法律案(政府提出)委員

辭任平川松太郎君 補闕山枡 儀重君

健康保險法中改正法律案(政府提出)外一件委員

辭任増田 義一君 補闕一松 定吉君

辭任磯部 尙君 補闕川手 甫雄君

一昨二十八日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

二二四 米田規矩馬君  
三三五 愛媛縣第三區選出議員

一昨二十八日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第三部選出 豫算委員 東 武君(林路一君補闕)

一昨二十八日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第一部選出豫算委員 杉山元治郎君

第五部選出豫算委員 風見 章君

第五部選出豫算委員 栗原彦三郎君

第八部選出豫算委員 小山 谷藏君

第九部選出豫算委員 中村 繼男君

第四部選出請願委員 高野 喜六君

一去二月二十三日第四部選出建議委員清家吉次郎君死去セラレタリ

一昨二十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員

委員長 高見 之通君

理事 天辰 正守君 矢野庄太郎君

農村救済負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出)外一件委員

委員長 高橋熊次郎君

理事 宮澤 裕君 船田 中君  
岡田喜久治君  
一昨二十八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

製鐵所特別會計法廢止法律案(政府提出)

委員

辭任木本主一郎君 補闕玉置吉之丞君  
農村救濟負擔均衡法案(清瀬一郎君外四名提出)外一件委員

辭任木村 正義君 補闕助川啓四郎君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、栗原彦三郎君用務ニ付キ三月一日ヨリ三月十四日マデ請暇ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、更ニ一言致シマス、去ル二月二十三日ヲ以テ會期三分ノ二ニ達シマシタカラ、先例ニ依リマシテ、本會議ハ火曜日、木曜日、土曜日以外ニ於テモ開キ得ルコト、本會議中委員會開會ノ件ハ、院議ニ諮フコトナク、議長ニ於テ許可スルコト、尙ホ法律案ハ定規ノ日時ニ拘ラズ上程シ得ルコトト致シマス

滿洲國帝制實施表祝ノ件 議長發議

○議長(秋田清君) 諸君、我が隣邦滿洲國ニ於キマシテハ、全國民ノ至情熱望ヲ容レ、肇國ノ吉辰タル本日ヲトシテ帝制ヲ實施シ 皇帝即位ノ大典ヲ舉行セラル、ノデアリマス、洵ニ慶賀ノ至リニ堪ヘマセヌ、願ミマスレバ滿洲國建設セラレマシテヨリ、僅ニ二星霜ノ短キニ拘ラズ、執政ノ乾徳ト官民ノ努力ニ依リ、今ヤ國內ノ治安完ク、庶政備ハリ、教化普及シ、財政ノ基礎亦

確立シ、正ニ王道樂土ノ理想ハ實現セラレタ

ノデアリマス、此時ニ當リ萬代不易ノ國本ヲ定メ、帝政ノ偉業ヲ實施セラル、コトハ、洵ニ順天安民ノ大義ニ據ルモノデアリマシテ、吾ニ隣邦ノ歡喜タルノミナラス、我が帝國ノ同慶ニ堪ヘザル所デアリマス(拍手)冀クハ今後同國ノ國運益々伸展シ、我國ト相頼リ相携ヘテ與ニ東洋ノ平和、國際ノ進運ニ資補センコトヲ望ム次第デアリマス(拍手)

就キマシテハ茲ニ院議ヲ以テ滿腔ノ祝意ヲ表シタイト存ジマス、決議ノ文案ハ議長ニ於テ起草致シタルモノガアリマス、茲ニ之ヲ朗讀致シマス

滿洲國肇造二週年制度著々整備シ國礎彌々牢ク今ヤ天意ニ順ヒ民望ニ應ジ茲ニ帝制ヲ布キ建國ノ吉辰ヲトシテ即位ノ式ヲ行フ洵ニ慶賀ノ至ニ勝ヘス冀クハ益々健全ナル發達ヲ遂ケ日滿兩國相頼リ相携ヘ與ニ偕ニ東洋ノ平和ト國際ノ進運ニ寄與セムコトヲ茲ニ本院ノ決議ヲ以テ滿腔ノ祝意ヲ表ス

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 本案ニ對シ發言ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——濱田國松君

(拍手起ル)

○濱田國松君 簡單ニ付キ此席ヨリ發言スルコトノ御許シヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○濱田國松君 本員ハ同志議員ヲ代表致シマシテ、議長只今ノ御提案ニ對シ、謹ンデ贊成ノ意ヲ表シマス

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 小山松壽君

○小山松壽君 只今議長ノ御發議ニ對シマシテ、謹ンデ慶祝ノ意ヲ表シ、御提議ニ贊成致シマス

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 井上剛一君

○井上剛一君 只今議長ノ御提案ニ對シマシテ、我が國民同盟ハ謹ンデ贊成ノ誠意ヲ表シマス

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 採決致シマス、此決議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(秋田清君) 起立總員(拍手起ル)全會一致、可決致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 先刻御報告致サセマシタ通り、清家吉次郎君去ル二月二十三日逝去セラレマシタコトハ、洵ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ、此際村上紋四郎君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス——村上紋四郎君

(村上紋四郎君登壇)

○村上紋四郎君 只今議長ヨリ御報告ニ相成リマシタル、故從六位勳四等清家吉次郎君ニ對シ、院議ヲ以テ弔詞ヲ呈シ度ク、其弔詞ハ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス、而シテ此際私ハ諸君ノ御許シヲ得マシテ、議員一同ヲ代表シ、故清家君ニ對シ哀悼ノ微意ヲ表シタイト思ヒマス(拍手)

清家吉次郎君ハ慶應二年九月愛媛縣北宇和郡喜佐方村ニ生レマシテ、教育方面ニ志シ、愛媛縣師範學校ニ入學シ、明治二十二年六月同校ヲ卒業セラル、ヤ、小學校訓導並ニ校長ニ歷任シ、郡視學制度ノ實施ニ當リ、拔擢セラレテ愛媛縣西宇和郡視學ニ任セラレタノデアリマス、其後教育界ヲ去リマシテ、明治四十四年九月愛媛縣北宇和郡ヨリ縣會議員ニ選出セラレ、爾來二十箇年ノ長キニ互リ縣政ニ參與シタノデアリマス、其間衆望ヲ擔ウテ縣會議長ニ舉ゲラル、コト三回ニシテ、縣政ニ貢獻スルコト多大デアリマス、尙ホ又一面ニ於キマシテハ、大正七年北宇和郡吉田町長ニ就任シ、引續キ今日マデ共職ニ在リマスノミナラス、全愛媛縣町村長會會長或ハ全國町村長會幹事ノ要職ニ就カレ、其他幾多ノ公共事業ニ從事セラレマシテ、地方自治等ニ貢獻スルコト、是亦多大デアリマス

斯クテ昭和五年二月、愛媛縣第三區ヨリ衆議院議員ニ當選セラレ、昭和七年二月再度榮冠ヲ擔ハレ、國家憲政ノ爲メ盡瘁セラレマシタコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ昨年十二月病ヲ得テ、去ル二月二十三日不歸ノ客トナリ、今ヤ幽明所ヲ異ニシ、白玉樓中ノ人トナラレ、再ビ當議場ニ同君ノ英姿ヲ見ルコトノ出來ナイコトハ、洵ニ痛歎措ク能ハザル所デアリマス(拍手)同君ハ資性夙直、人格者ニシマシテ、私個人ト致シマシテハ明治二十五年以來ノ親友デアリマシテ、感慨無量、誠ニ傷心痛惜ノ情ニ堪

ヘナイノデアリマス(拍手)故ニ謹ンデ哀悼ノ微意ヲ表シマシテ、之ヲ以テ弔詞ト致シマス(拍手)ドウカ満場ノ御贊成ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 村上君御提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ハ可決セラレマシタ(拍手)故ニ議長ノ手許ニ於テ起草シタル弔詞ヲ朗讀致シマス

衆議院ハ議員從六位勳四等清家吉次郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

此贈呈方ハ議長ニ於テ取計ヒマス

(拍手起ル)

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第二乃至第八ヲ繰上ゲ上程シ、逐次其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——日程第二乃至第六ハ、便宜上一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二、政府提出、大正九年法律第十二號中改正法律案、日程第三、政府

提出、昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案、日程第四、政府提出、絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案、日程第五、政府提出、日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案、日程第六、政府提出、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案、右ヲ一括シテ其第一讀會ヲ開キマス——大藏大臣高橋是清君

第二 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)

(政府提出) 第一讀會

第三 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第四 絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

大正九年法律第十二號中改正法律案

大正九年法律第十二號中左ノ通改正ス

第三條ノ二 法人ガ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於ケル法令ニ依リ納付シタル第二種ノ所得ニ對スル所得稅額ニ付テハ所得稅法第二十一條第二項乃至第四項ノ規定ヲ準用ス

信託會社カ其ノ引受ケタル貸付信託ノ

信託財政ニ付朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於ケル法令ニ依リ納付シタル第二種ノ所得ニ對スル所得稅額ニ付テハ所得稅法第二十二條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第四條、第五條及第六條中「臺灣又ハ樺太」ヲ「朝鮮、臺灣又ハ樺太」ニ改ム

第八條 相續稅法施行地ヨリ朝鮮ニ住所又ハ船籍ヲ轉シタルモノニ付テハ相續稅法第二條第四項ノ規定ヲ適用セズ

第九條 相續稅法第三條第一項ノ規定ニ依リ課稅價格ヲ定ムル場合ニ於テ控除スヘキ金額中左ノ金額アルトキハ之ヲ控除セズ

一 朝鮮ニ在ル財産ニ係ル公課

二 朝鮮ニ在ル財産ヲ目的トスル留置權、特別ノ先取特權、質權、抵當權又ハ典當權ヲ以テ擔保セラルル債務

三 朝鮮ニ在ル財産ニ關スル贈與ノ義務

第十條 朝鮮ニ於ケル法令ニ依リ相續稅ヲ課セラレタル後五年又ハ七年以内ニ於テ更ニ相續開始シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ相續稅法ニ依ル相續稅ノ全部又ハ一部ヲ免除ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第八條乃至第十條ノ改正規定ハ昭和九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三種ノ所得ニ付テハ昭和九年分所得稅ヨリ本法ヲ適用ス

昭和九年七月一日前開始シタル相續ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

明治四十一年法律第三十七號第三條第四項中「所得稅法第二十一條第二項」ノ下ニ「若ハ第四項又ハ大正九年法律第十二號第三條ノ二第一項」ヲ加フ

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案

政府ハ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外千六百七十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案

絲價安定融資擔保生絲買收法中左ノ通改正ス

第五條中「五分利附」ヲ削ル

附則ニ左ノ一項ヲ加フ

昭和九年度以降當分ノ内第九條ノ規定ニ依ル繰入ハ之ヲ爲サザルコトヲ得

附則

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案

日本銀行特別融通及損失補償法中左ノ通改正ス

第六條中「五分利附」ヲ削ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案

地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ五分利附國債證券ヲ交付スル場合ニ於テ當分ノ內政府ハ其ノ國債證券ノ額面金額ヲ時價ニ依リ換算シタル金額ト同一額ヲ時價ニ依リ換算シタル五分未滿ノ利附國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ得但シ二十五圓未滿ノ端數ハ之ヲ額面金額二十五圓トス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君登壇)

○國務大臣(高橋是清君) 茲ニ議題トナリ

マシタ大正九年法律第十二號中改正法律案ニ付キマシテ大體ノ要旨ヲ説明致シマス、大正九年法律第十二號ハ、御承知ノ通り内地ト朝鮮、臺灣、樺太及ビ關東州トノ間ニ於キマス所得稅課稅上ノ連絡ヲ圖ル目的ヲ以テ、制定セラレマシタ法律デアリマス

ルガ、今回朝鮮ニ於キマス所得稅ノ改正竝ニ相續稅ノ創設セラル、ニ伴ヒマシテ、同

法律中改正ヲ要スルモノヲ生ジタル次第デアリマス、即チ朝鮮ニ於キマシテハ、今回所得稅令ヲ改正致シマシテ、從來ノ法人ニ對スル課稅ヲ第一種ト爲シ、新ニ公債、社債、銀行預金等ノ利子ニ第二種ノ所得稅ヲ課シ、個人ノ所得ニ第三種ノ所得稅ヲ課スルコトニナリマスルノデ、是方連絡ヲ圖ル爲メ、同法律ニ適當ナル改正ヲ加フルコトニ致シマシタノデアリマス、次ニ朝鮮ニ於キマシテハ、未ダ相續稅制度ノ實施ヲ見ルニ至リマセヌデシタガ、今回新ニ是方創設セラル、運ビト相成リマス爲ニ、内地ノ相續稅ト連絡ヲ取ル必要ガアリマスノデ、新ニ相續稅ニ關スル交渉規定ヲ同法律ニ追加スルコトニ致シタノデアリマス、以上ハ大體ノ説明デアリマスルガ、其細目ノ點ニ付キマシテハ、他ノ機會ニ於キマシテ詳細御説明申上ゲタイト考ヘマス、何卒御審議ノ上速ニ御協贊アランコトヲ願ヒマス

次ニ議題トナリマシタ昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、昭和九年度歲入歲出總豫算ニ伴フ一般會計歲入不足ノ補填ニ付キマシテハ、之ニ關スル法律案ヲ今期議會ニ提出シテアリマスガ、別途提出致シマシタ同年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ財源ニ付キマシテモ、亦今日ノ場合其大部分ヲ公債ニ依ルノ外アリマセヌノデ、本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、尙ホ本法律案ハ、前述ノ如ク、總豫算ニ伴フ歲入補填公債法案ガ

目下御審議中ナルニ鑑ミ、別ノ法律案ト致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス、又只今議題トナツテ居リマスル……

(發言スル者アリ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○國務大臣(高橋是清君)(續) 絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案、日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案、地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律案ノ提出ノ理由ヲ一括シテ説明致シマス、近時金融ガ著シク緩和致シ、一般市場金利ノ低下ノ趨勢顯著ナルモノガアリマシテ、客年九月以降發行致シマシタ新規公債ノ利率ハ、四分ニ引下セラレタ次第デアリマス、右ノ趨勢ニ鑑ミマスル時ハ、絲價安定融資擔保生絲買收法、日本銀行特別融通及損失補償法並ニ地方鐵道法、又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ノ利率モ亦之ヲ引下ゲテ、同時期ニ發行セラル、他ノ國債

ト同様ノ、利率ト爲スノ必要ガアルト認めラル、ノデアリマス、尙ホ絲價安定融資擔保生絲買收法ニ付テハ、同法ニ依リ買上ゲタル生絲ノ賣拂ニ依リ收入シタル金額ハ、現行法ニ於テハ之ヲ國債元金償還資金ニ充ツル爲メ、國債整理基金特別會計ニ、繰入ル、コトニナツテ居リマスガ、先般來屢、申上ゲマシタル如ク、一般會計歲計ノ狀況ハ、當分ノ內多額ノ財源不足ヲ免レナイノデアリマシテ、是方補填ニ關シマシテハ、新ニ公債ヲ發行スルノ餘儀ナイ状態ニ在ルノ

デアリマス、又別途提出致シマシタ昭和九年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上セラレタル、農村經濟ニ關スル經費ノ財源ヲ必要トスル事情ニモ鑑ミマシテ、當分ノ內右國債元金償還資金繰入ヲ、停止スルヲ適當ト認ムルノデアリマス、仍テ之ニ關スル各法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君)

日程第二乃至第六ノ各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ、御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 日程第二乃至第五ハ政府提出、昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件ノ委員ニ、日程第六ハ政府提出、鐵道敷設法中改正法律案委員ニ、各、併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認めマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第七、政府提出、秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——鐵道大臣三土忠造君

第七 秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

秋田鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

政府ハ左ノ鐵道買收ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

- 一 秋田鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 佐久鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 新宮鐵道株式會社所屬鐵道
- 一 籾上鐵道株式會社所屬鐵道

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(三土忠造君)登壇〕

○國務大臣(三土忠造君) 簡單ニ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、今回提案致シマシタ法律案ハ、地方鐵道ノ買收ノ爲メ公債發行ニ關スルモノデアリマス、而シテ買收セントスル鐵道ハ、秋田縣ニ於ケル秋田鐵道、長野縣ニ於ケル佐久鐵道、和歌山縣ニ於ケル新宮鐵道及比島根縣ニ於ケル籾上鐵道ノ四鐵道デアリマスガ、此中新宮鐵道ハ、省線ノ建設工事ノ進捗上買收ヲ必要トスルモノデアリ、秋田、佐久、籾上ノ三線ハ、國有鐵道新線ノ開業ニ伴ヒマシテ、運輸ノ系絡ヲ整備スル爲メ、之ヲ買收セントスルモノデアリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、鐵道敷設法中改正法律案委員ニ併セ付託サレントヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ勅議ノ如ク決シマシタ。日程第八、兵役法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス。陸軍大臣林銑十郎君

第八 兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

兵役法中改正法律案

兵役法中左ノ通改正ス

第五十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

海軍ニ在リテハ特別ノ必要アル場合ニ限り前項ニ規定スル召集日數ヲ五十日以内延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第一項ニ規定スル召集回數ヲ一回宛減ズルモノトス

〔國務大臣林銑十郎君登壇〕

○國務大臣(林銑十郎君) 今回兵役法中改正法律案ヲ提出スルニ至リマシタ理由ヲ説明致シマス、本改正ハ、海軍ニ於ケル豫備兵及ビ後備兵ノ勤務演習ノ爲ノ召集期間及ビ回數ニ關スルコトデアリマシテ、現在ハ豫備役及ビ後備兵役ヲ通ジテ五回以内召集ガ出來ルコトニナツテ居リマシテ、一年一回、一回ノ日數七十日ニナツテ居ルノデゴザイマス、所ガ艦近海軍ノ大演習等ニ於キマシテハ、其期間ガ數箇月ニ互ルコトガアリマス、ノミナラズ兵器其他ノ長足ナル進歩ノ爲ニ、召集兵ニ對シ演習部隊ニ配員スル前ニ、

豫備教育ヲ必要トスル場合ガ多クナリマシタ、斯ル場合ニ於テハ七十日ノ召集期間デハ、演習召集ノ目的ヲ達成シ得ナイ場合ガアリマスノデ、原則ト致シマシテハ現行通り七十日ト致シテ置キマシテ、出來ルダケ兵役義務ノ負擔ヲ増加シナイヤウニ努メテ居ルノデアリマスガ、必要已ムヲ得ナイ場合ニ於テハ、召集期間ヲ延長シ得ル如ク特例ヲ設クル必要ガ出來テ參タクノデアリマス、是ガ爲ニ特別必要アル場合ニ限り、一回ノ召集日數ヲ五十日以内延長スルコトガ出來ルコト、致シ、此場合ニ於キマシテモ、出來ルダケ國民ノ義務負擔ノ増加ヲ避ケル爲ニ、總召集ノ回數ヲ一回宛減ズルコト、致シタイノデゴザイマス、慎重審議相成リマシテ、御協賛アラントヲ希望致シマス(拍手)

豫備教育ヲ必要トスル場合ガ多クナリマシタ、斯ル場合ニ於テハ七十日ノ召集期間デハ、演習召集ノ目的ヲ達成シ得ナイ場合ガアリマスノデ、原則ト致シマシテハ現行通り七十日ト致シテ置キマシテ、出來ルダケ兵役義務ノ負擔ヲ増加シナイヤウニ努メテ居ルノデアリマスガ、必要已ムヲ得ナイ場合ニ於テハ、召集期間ヲ延長シ得ル如ク特例ヲ設クル必要ガ出來テ參タクノデアリマス、是ガ爲ニ特別必要アル場合ニ限り、一回ノ召集日數ヲ五十日以内延長スルコトガ出來ルコト、致シ、此場合ニ於キマシテモ、出來ルダケ國民ノ義務負擔ノ増加ヲ避ケル爲ニ、總召集ノ回數ヲ一回宛減ズルコト、致シタイノデゴザイマス、慎重審議相成リマシテ、御協賛アラントヲ希望致シマス(拍手)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ勅議ノ如ク決シマシタ。日程第一、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス。内務大臣山本達雄君

第一 衆議院議員選舉法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會

○議長(秋田清君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託サレントヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託サレントヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ勅議ノ如ク決シマシタ。日程第一、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス。内務大臣山本達雄君

衆議院議員選舉法中改正法律案  
第二條第二項中「特別ノ事情」ヲ「必要」ニ改ム  
第三條第二項中「數開票區ヲ設クルコトヲ得」ヲ「數開票區ヲ設ケ又ハ數郡市ノ區域ヲ合セテ一開票區ヲ設クルコトヲ得」ニ改ム  
第七條第二項中「戰時若ハ事變ニ際シ」ノ下ニ「又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定(志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム)ニ依リ」ヲ加フ  
第十二條第一項中「一年以上」ヲ「六月以上」ニ、同條第二項中「前項」ヲ「第一項」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
選舉人ノ年齡ハ選舉人名簿確定ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス  
第二十四條第一項中「選舉ノ期日ノ前日迄」ヲ「選舉ノ期日前二日迄」ニ改ム  
第四十八條ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ場合ニ依リ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日其ノ手續ヲ行フコトヲ得  
第四十九條第二項ヲ左ノ如ク改ム  
開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スベシ  
第五十五條 削除  
第六十七條第三項中「選舉ノ期日ノ前日迄」ヲ「選舉ノ期日前二日迄」ニ改ム  
第六十九條第五項中「其ノ第七十四條ノ規定ニ依リ當選承諾届出期限前ナル場合

ニ於テハ前項ノ例ニ依リ其ノ届出期限經過後ナル場合ニ於テハ「其ノ選舉ノ期日ヨリ一年以内ナル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ其ノ選舉ノ期日ヨリ一年經過後ナル場合ニ於テハ」ニ改ム

第七十五條第一項中「第七十九條第六項」ヲ「第七十九條第八項」ニ、同條第二項中「第九章」ヲ「第八十一條又ハ第八十三條」ニ、同條第三項中「第九章」ヲ「第八十一條又ハ第八十三條」ニ、「第四百四十三條」ヲ「第八十六條第二項若ハ第四百四十三條」ニ改ム

第七十九條第三項中「第七十四條ノ規定ニ依リ當選承諾届出ノ期限前ニ於テ」ヲ「選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ」ニ、其ノ期限經過後ニ於テ「選舉ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ」ニ改メ同條第五項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

議員ノ闕員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達セザルモ其ノ選舉區ニ於テ第七十五條ノ規定ノ行ハルル場合ニ於テハ第一項及前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ選舉ト同時ニ補闕選舉ヲ行フ但シ第七十五條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ノ告示アリタル後地方長官第二項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ補闕選舉ノ期日ハ第七十五條ノ選舉ノ期日ニ依ル

第八十四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

檢事ハ第一百十二條乃至第一百三條ノ罪ニ該ル事件ノ被告人ガ選舉事務長ニ非

ズシテ事實上選舉運動ヲ主宰シタル者ナルニ因リ第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムルトキハ公訴ニ附帶シ當選人ヲ被告トシテ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十五條中「本章」ヲ「第八十一條、第八十三條又ハ前條第一項」ニ改ム

第八十六條第一項中「本章」ヲ「第八十一條又ハ第八十三條」ニ、同條第二項中「本章」ノ規定ニ依リ訴訟ニ付判決アリタルトキハ大審院長ハ「第八十一條、第八十三條若ハ第八十四條第一項ノ規定ニ依リ訴訟ニ付判決アリタルトキ又ハ第八十四條第二項ノ規定ニ依リ訴訟ニ付判決確定シ效力ヲ生ジタルトキハ裁判所ノ長ハ」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第八十四條第一項ノ規定ニ依リ訴訟ニ付判決アリタルトキ又ハ同條第二項ノ規定ニ依リ訴訟ニ付判決確定シ效力ヲ生ジタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ旨ヲ内務大臣及關係地方長官ニ通知スベシ

第八十七條第一項中「本章」ヲ「第八十一條、第八十三條又ハ第八十四條第一項」ニ改ム

第八十九條第一項中「選舉事務員」ヲ「選舉運動ノ爲使用スル勞務者」ニ改メ同條第二項及第三項中「又ハ選舉事務員」並ニ同條第四項中「若ハ選舉事務員」ヲ削ル

第九十條第一項中「七箇所ヲ超ユルコトヲ得ス」ヲ「一箇所ニ限ル」ニ改メ同條第二項及第三項ヲ削ル

第九十三條 選舉委員ハ議員候補者一人ニ付二十人ヲ超ユルコトヲ得ズ其ノ異動アリタル場合ト雖モ通ジテ三十人ヲ超ユルコトヲ得ズ

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉委員ハ前項ノ規定ニ依リ定數ヲ超エザル範圍内ニ於テ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ズ

地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）前項ノ規定ニ依リ選舉委員ノ數ヲ定メタル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ之ヲ告示スベシ

第九十三條ノ二 第八十九條第一項ノ規定ニ依リ選任スル勞務者ハ議員候補者一人一日ニ付二十人ヲ超ユルコトヲ得ズ

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ勞務者ニ關シ之ヲ準用ス

第九十四條第二項中「第九十條第一項又ハ第二項」ヲ「第九十條」ニ、同條第三項中「前條」ヲ「第九十三條第一項又ハ第二項」ニ改メ同條第三項中「又ハ選舉事務員」ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前條ノ規定ニ依リ定數ヲ超エテ選舉運動ノ爲勞務者ノ選任アリト認ムルトキハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ直ニ其ノ超過シタル數ノ勞務者ノ解任ヲ命ズベシ

第九十五條ノ二 選舉運動ハ第六十七條

第一項乃至第三項ノ届出アリタル後ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第九十六條 議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザレバ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ズ但シ議員候補者又ハ選舉事務長ノ文書ニ依リ承諾ヲ得テ選舉演說會ニ出演スルハ此ノ限ニ在ラズ

第八十九條第一項ノ規定ニ依リ選任セラルタル勞務者ニ非ザレバ選舉運動ノ爲勞務ヲ提供スルコトヲ得ズ

第九十七條第一項中「選舉委員又ハ選舉事務員」ヲ「又ハ選舉委員」ニ、「演說又ハ推薦狀ニ依リ選舉運動ヲ爲ス者其ノ運動ヲ爲スニ付亦同シ」ヲ「前條第一項但書ノ規定ニ依リ選舉演說會ニ出演スル者其ノ出演ヲ爲スニ付亦同シ」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

第九十八條ノ二 何人ト雖モ第四百十條第四項ノ文書ヲ發行スル區域ニ關シテハ演說會告知ノ爲ニスル文書ヲ除クノ外選舉運動ノ爲文書圖書ヲ頒布スルトヲ得ズ但シ第四百十條第一項ノ規定ニ依リ通常郵便物ヲ差出ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九十九條第一項中「選舉委員又ハ選舉事務員」ヲ「又ハ選舉委員」ニ改ム

第一百條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第一百條ノ二 内務大臣ハ選舉ノ期日後ニ於テ當選又ハ落選ニ關シ選舉人ニ挨拶スルノ目的ヲ以テ爲ス行爲ニ關シ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第一百一條第一項中「選舉委員又ハ選舉事務員」ヲ「又ハ選舉委員」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

議員候補者、選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザル者ハ選舉運動ノ費用ヲ支出スルコトヲ得ズ但シ第九十六條第一項但書ノ規定ニ依リ選舉演說會ニ出演スル者ハ選舉事務長ノ文書ニ依リ承諾ヲ得テ其ノ出演ノ爲ニ要スル費用ヲ支出スルコトヲ妨グズ

第二百二條第一項第一號及第二號中「四十錢」ヲ「二十錢」ニ改ム

第四百四條第三號中「又ハ選舉事務員」ヲ削リ同條第四號中「選舉委員又ハ選舉事務員」ヲ「又ハ選舉委員」ニ改ム

第九十九條中「選舉事務員」ヲ「選舉運動ノ爲使用スル勞務者」ニ改ム

第一百十二條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ「千圓以下」ヲ「二千圓以下」ニ改メ同條第五號ヲ第六號トシ同條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五 第一號乃至第三號ニ掲グル行爲ヲ爲サシムル目的ヲ以テ選舉運動者ニ對シ金錢若ハ物品ノ交付、交付ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ選舉運動者其ノ交付ヲ受ケ若ハ要求シ若ハ其ノ申込ヲ承諾シタルトキ

第一百十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

選舉事務ニ關係アル官吏又ハ吏員當該

選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ

四年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以

下ノ罰金ニ處ス警察官吏其ノ關係道府縣内ノ選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキ亦同ジ

第一百十二條ノ二 左ノ各號ニ掲グル行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

一 財産上ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テ議員候補者ノ爲多數ノ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル行爲ヲ爲シ又ハ爲サシメタルトキ

二 財産上ノ利益ヲ圖ル目的ヲ以テ議員候補者ノ爲多數ノ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ請負ヒ若ハ請負ハシメ又ハ其ノ申込ヲ爲シタルトキ

前條第一項第一號乃至第三號、第五號又ハ第六號ノ罪ヲ犯シタル者常習者ナルトキ亦前項ニ同ジ

第一百十三條中「三年以下」ヲ「四年以下」ニ、「二千圓以下」ヲ「三千圓以下」ニ、同條第一號及第二號中「前條」ヲ「第一百十二條第一項」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

選舉事務ニ關係アル官吏又ハ吏員當該選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ四千圓以下ノ罰金ニ處ス警察官吏其ノ關係道府縣内ノ選舉ニ關シ前項ノ罪ヲ犯シタルトキ亦同ジ

第一百十四條中「前二條」ヲ「前三條」ニ、「收

受シタル利益」ヲ「收受シ又ハ交付ヲ受ケタル利益」ニ改ム

第一百十五條中「三年以下」ヲ「四年以下」ニ、「二千圓以下」ヲ「三千圓以下」ニ改ム

第一百十六條第一項ヲ左ノ如ク改メ同條第二項中「三月以下」ヲ「六月以下」ニ、「百圓以下」ヲ「三百圓以下」ニ改ム

選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ヲ執行ヲ怠リ又ハ正當ノ事由ナクシテ議員候補者、選舉事務長若ハ選舉委員ニ追隨シ、其ノ居宅若ハ選舉事務所ニ立入ル等其ノ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルトキハ四年以下ノ禁錮ニ處ス

第一百二十五條中「第一百十二條」ヲ「第一百十二條乃至」ニ改ム

第一百二十九條中「第九十六條若ハ第九十八條」ヲ「第九十五條ノ二、第九十六條第一項、第九十八條若ハ第九十八條ノ二」ニ改ム

第一百三十條第一項中「第九十條第一項第二項」ヲ「第九十條」ニ改メ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

第九十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ定數ヲ超エテ選舉委員ノ選任ヲ爲シタル者、第九十三條ノ二ノ規定ニ依リ定數ヲ超エテ選舉運動ノ爲使用スル勞務者ノ選任ヲ爲シタル者又ハ第九十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者亦前項ニ同ジ

第一百三十三條中「第一百一條第一項但書」ノ

下ニ「若ハ同條第二項但書」ヲ加フ

第三百三十六條 當選人其ノ選舉ニ關シ本章ニ掲グル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス選舉事務長又ハ選舉事務長ニ非ズシテ事實上選舉運動ヲ主宰シタル者第一百十二條乃至第一百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同ジ

第三百三十七條 本章ニ掲グル罪（第三百十條及第三百三十一條ノ罪ヲ除ク）ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者ハ左ノ各號ニ掲グル期間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セズ

一 罰金ノ刑ニ處セラレタル場合ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間及其ノ後選舉權ニ付テハ五年間、被選舉權ニ付テハ十年間但シ刑ノ執行ノ免除ニ因ラズシテ刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ルトキ又ハ刑ノ時効ニ因リ刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ルトキハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間

第一百十二條乃至第一百十三條ノ罪又ハ此等ノ規定ノ準用ニ依ル罪ニ付刑ニ處セラレタル者ニシテ更ニ第一百十二條乃至第一百十三條ノ罪ニ付刑ニ處セラレタル者



ニ在リテハ前項ノ五年間ハ之ヲ十年間トシ同項ノ十年間ハ之ヲ十五年間トス裁判所ハ情狀ニ因リ刑ノ言渡ト同時ニ

第一項ニ規定スル者ニ對シ選舉權ニ付同項ノ五年間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

前三項ノ規定ハ第六條第五號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セズ

第三百二十八條 第一百二十二條第二項、第一百二十二條ノ二、第一百十三條第二項、第一百十六條第一項並ニ第二百二十七條第三項及第四項ノ罪ノ時効ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第一百十二條第一項、第一百十三條第一項及第一百十五條ノ罪ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ二年トス

前二項ニ掲グル罪以外ノ本章ノ罪ノ時効ハ六月ヲ經過スルニ因リテ完成ス但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ一年トス

第四百十條第一項中「推薦届出者」ヲ「選舉事務長」ニ改メ同條ニ左ノ二項ヲ加フ前項ノ營造物ノ管理者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ演說會開催ノ爲ニ必要ナル施設ヲ爲スベシ

地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ政見等ヲ掲載シタル文書ヲ發行スベシ

第四百十一條 第十六條、第八十一條、第八十三條又ハ第八十四條第一項ノ規

定ニ依ル訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル第四百十一條ノ二 第八十四條第二項ノ

規定ニ依ル訴訟ニ付テハ刑事訴訟法中第五百七十二條第二號第三號第五號乃至第八號第十號乃至第十三號、第五百七十四條、第五百八十二條、第五百八十八條、第五百八十九條、第五百九十一條、第六百五條乃至第六百十條及第六百十二條ノ規定ヲ除クノ外私訴ニ關スル規定ヲ準用ス但シ同法第五百七十六條中民事訴訟法トアルハ刑事訴訟法トシ民事部トアルハ刑事部トス

第八十四條第二項ノ規定ニ依ル訴訟ニ付當選無効ノ判決確定スト雖モ其ノ判決ハ公訴ニ付有罪ノ判決確定スルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四百十一條ノ三 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラズ速ニ其ノ裁判ヲ爲スベシ

第四百十三條中「第一百十二條若ハ」ヲ「第一百十二條乃至」ニ改ム

第四百十五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ但シ第十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ市町村内ニ居住ヲ有スル者トアルハ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ市内ニ住居ヲ有シ且其ノ日ニ於テ其ノ區内ニ住居ヲ有スル者トス

第五百十條中「新知郡、得撫郡及色丹郡」ヲ「新知郡及得撫郡」ニ改ム

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅命ヲ以テ別ニ總選舉ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル總選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十二條、第十三條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

律案ヲ得ルニ至ラタノデアリマス

改正法律案ノ内容ハ、相當廣汎ニ互テ

居リマスガ、其一半ハ昨年提案ノ改正案中ニ含マレテ居ル項目デアリマシテ、今回ハ以上ノ外、新ニ所謂選舉公營ニ關スル項目ヲ加ヘマシテ、本改正案ヲ構成致シマシタ

次第デアリマス、即チ昨年提出致シマシタル改正案中ノ諸項目ハ、今回ノ改正案ニ於テモ、大體其儘採用致シマシタ、是等ノ項目ニ付キマシテハ、昨年御審議ヲ煩スニ當リ、詳細御説明申上ゲタ所デアリマス、ソレデアリマスガ念ノ爲メ其主要モノニ付キ再ビ申上ゲマスナラバ、第一ハ議員選舉ノ方法ニ付キ、或ル範圍ノ改正ヲ行フコトデアリマシテ、即チ將來選舉權行使ノ便宜ヲ圖ル爲メ、容易ニ投票所ヲ増設シ得ルノ趣意ヲ法文ニ加ヘマスコト、二、選舉人名簿ニ登錄セラル、ガ爲ニ必要ナ住居ノ期間ヲ六箇月ニ短縮シ、又選舉人名簿ニ登錄スベキ選舉人ノ年齢ハ、之ヲ名簿確定ノ期日ニ依リテ算定スルコトニ改メルコト、是ハ實質的ニ選舉權ノ要件ヲ備ヘタ者ニハ、成ベク多ク權利ヲ行使スルコトヲ得セシムル趣意ニ出ダタノデアリマス、三、開票手續ニ於テハ、投票ノ秘密ヲ確保スル爲メ、投票區別開票ノ主義ヲ改メテ、所謂混同開票主義ニ依ルコト、四、議員ノ補闕ニ關シマシテハ、成ベク議員ノ闕員ヲ少ナカラシムル爲メ、選舉ノ期日ヨリ一年以内ニ議員又ハ當選人ニ闕員ヲ生ジタル時ハ、直チニ其次點者ヲ繰上ゲテ當選人ト定ムルコト共ニ、議員ノ闕員

ノ數ガ同一選舉區ニ於テ二人ニ達シマセヌ  
デモ、若シ其選舉區ニ於テ再選舉ガ行ハレ  
マス場合ニハ、之ニ併セテ補選ヲ行フ  
コト、スルコト

規定ヲ設ケ、之ニ對シテハ極メテ重イ體刑  
ノミヲ科スルコト、シ、尙又買収犯罪ノ時  
效完成期間ヲ延長スルコト、二、選舉犯罪  
者ニ對スル缺格ノ制裁ヲ嚴重ニシ、例ヘバ  
買収犯罪ノ再犯以上ノ者ニ對シマシテハ、  
十年、十五年ノ長期間ニ互テ選舉權又ハ  
被選舉權ヲ失ハシメ、且ツ情狀ニ依リ裁判  
所ガ缺格ノ制裁ヲ緩和スルニ付テモ制限ヲ  
加ヘルコト、三、選舉運動者ガ選舉犯罪ニ依  
リ刑ニ處セラレタル時ハ、當該議員候補者  
ノ當選ヲ無効トスルノ制度、即チ所謂候補  
者連坐ノ制度ヲ擴張シ、選舉事務長ガ買収  
犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ、場合ニ於テハ、  
當然ニ當該候補者ノ當選ヲ無効トスルト共  
ニ、選舉事務長ニ非ズシテ事實上ノ選舉運  
動ヲ主宰シタル者ガ、買収犯罪ニ依リ刑ニ  
處セラレ、場合ニ於テモ、當該候補者ノ當  
選ヲ無効トスルコト

タノデアリマス、所謂選舉公營ニ付キマ  
シテハ、昭和七年法制審議會ヨリ答申ノ  
次第モアリマシテ、政府ハ之ニ付キ慎重  
考究ヲ重ネタノデアリマスガ、法制審議  
會參考案ニ示サレタルガ如キ、徹底シタ  
選舉公營ヲ行フコトハ中々困難デアルト  
認メマス、唯併シ其或モノハ實行上ノ困難  
モ少ク、且ツ選舉運動費用ノ減少ノ趣意ヨ  
リ見テ、又選舉運動ニ於ケル機會均等ヲ實  
現スル意味合ニ於テ、相當有意義デアルト  
認メラレマスノデ、之ヲ今回ノ改正案中ニ  
採用スルコト、致シマシタ、即チ第一、法  
第四百四條第二項ノ、公ノ營造物ノ設備ニ  
於テ開催スル演說會ニ付テハ、當該營造物  
ノ管理者ニ於テ其會場施設ヲ爲スコト、  
第二ニ、地方長官ハ議員候補者ノ政見  
等ヲ掲載シタル文書、即チ選舉公報トモ稱  
スベキモノヲ發行スルコト、致シマシタ、  
而シテ演說會場ノ施設ニ付キマシテハ、候  
補者ノ私營ヲ別段禁止致シマセヌガ、選舉  
文書ニ付テハ、公營ノ反面トシテ、一回ノ  
無料郵便物及ビ演說會告知ノ爲ニスル文書  
ノ外、總テ其私的頒布ヲ禁止シ、是ガ違反  
ニ對シマシテハ、相當嚴重ナル制裁ヲ以テ  
臨マント致シマシタ、尙ホ公營ニ付テノ細  
目ハ、勅令ヲ以テ定メルコト、致シテ居リ  
マス、最後ニ今回ノ改正案ニ付テハ、近時  
通信機關ノ整ヒマシタル北海道廳根室支廳  
管内、色丹郡ニ選舉法ヲ施行スルコトニ致  
シマシタ

ノ要旨デアリマス、本案ニ採用致シマシタ  
ル諸項目ハ、何レモ選舉ノ自由公正ヲ圖ル  
上ニ於テ有効適切ナル手段デアリ、今日ノ  
社會ノ要望ニモ副フモノデアルト信ジ  
マシテ、政府トシテハ是ガ實現ヲ期シ、而  
シテ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行致シタイ考デ  
アリマス、何卒慎重御審議ノ上、御協賛ア  
ランコトヲ願ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ニ付テハ多數ノ質  
疑通告ガアリマス、順次其發言ヲ許シマ  
ス——船田中君

(船田中君登壇)

○船田中君 只今上程ニ相成リマシタ衆議  
院議員選舉法改正案ニ付キマシテハ、昨  
年第六十四議會ニ於テ提案セラレタ  
モノト、略、其内容ヲ同ジウスルノデアリ  
マス、隨ヒマシテ昨年本議場並ニ委員會ニ  
於キマシテ、吾々議員、委員ト、政府トノ  
間ニ於キマシテ質疑應答ヲ致シマシテ、既  
ニ明瞭ニナリマシタ點ハ、茲ニ質問スル處  
ノ煩ヲ省キマシテ、其他ノ點ニ付キマシテ、  
二三ノ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス  
衆議院議員選舉法ガ憲法附屬ノ大法デア  
リマシテ、今日ノ政治ノ諸機構、或ハ其活  
動ガ、選舉ニ依リテ規則セラル、所ノ多イコ  
トハ言フ迄モナイノデアリマス、殊ニ齋藤  
内閣ガ其特殊使命ニ鑑ミマシテ、政界ヲ淨  
化シ、政治ノ革新ヲ實現スルト云フ使命ヲ  
有テ居リマスル、其大ナル使命ニ鑑ミマ  
シタナラバ、ドウシテモ其第一著手ト致シ  
マシテ、此衆議院議員選舉法ヲ改正致シマ

第二ハ、選舉運動費用ノ減少ヲ圖ル爲メ、  
選舉運動ノ取締ニ關スル規定ヲ嚴重ニスル  
コトデアリマシテ、即チ一、法定ノ選舉運  
動者ハ選舉事務長ト選舉委員ノミトシ、且  
ツ選舉委員ノ數ヲ低減スルコト、二、選舉  
運動ノ爲メ使用スル勞務者ニ關シ、新ニ制  
限ヲ設ケルコト、三、選舉事務所ヲ議員候  
補者一人ニ付キ一箇所ニ限定スルコト、四、  
法定ノ選舉運動者ニ非ザル所謂第三者ハ、  
議員候補者又ハ選舉事務長ノ文書ニ依リ承  
諾ヲ得テ選舉演說會ニ出演スル外、一切選  
舉運動ヲ爲スコトヲ得ナイコト、スルコト、  
五、右ニ述べマシタ選舉運動ノ制限ニ伴  
ヒ、選舉運動費用ニ關スル法定制限額ヲ低  
下スルコトヲ得ルノデアリマスガ、此制限  
額ハ前回ノ改正案ニ於キマシテハ、大體七  
千五百圓程度デアリマシタガ、今回ハ選舉  
公營ヲ行ヒマスル關係モアリマシテ、之ヲ  
六千圓程度ニ低下スルコトニ致シマシタ、  
六、此外費用制限ノ趣意ヲ一層徹底スル爲  
メ、選舉ノ期日後選舉人ニ挨拶スル目的ヲ  
以テ爲ス行爲ニ關シ、内務省令ヲ以テ必要  
ナル制限ヲ設ケ得ルコト、スルコト

第三ハ、選舉犯罪ヲ防止スル爲メ、罰則  
ノ改正ヲ行フコトデアリマシテ、即チ一、  
買収犯罪ニ對スル刑罰ハ一般的ニ之ヲ加重  
シ、殊ニ所謂選舉「ブローカー」ニ付キ新ニ

以上ガ前回ノ改正案中ニ含マレタル主要  
ナ項目デアリマスガ、是等ハ大體其儘今回  
モ採用致シマスト共ニ、今回ノ改正案ニ於  
テハ、更ニ或ル範圍ニ於テ、所謂選舉公營  
ノ主義ヲ採用シ、之ニ必要ナル規定ヲ設ケ

以上申述マシタ所ガ、今回ノ改正法律案

シテ、選舉界ノ積弊ヲ一掃シ、政界ノ淨化ヲ斷行シ、政治ヲ革新スル所ノ誠意ヲ御示シシナラナケレバナラヌコトデアルト信ズルノデアリマス、又吾々議員側ニ於キマシテモ、出來マスルダケ之ニ慎重審議ヲ致スコトハ固ヨリデアリマスルケレドモ、成ベクナラバ枝葉末節ノ論議ニ囚ハレルコトナクシテ、此法律案ノ成立ニ付テ、敢テ協力ヲ吝ム者デハナイノデアリマス、然ルニ只今山本内務大臣ノ極メテ熱ノナイ御説明ヲ伺ヒマシテモ分ル通りニ、現内閣ガ此重大ナル衆議院議員選舉法ニ付テ、果シテ從來御聲明ニナリマシタ所ノ政治革新、政界淨化ノ誠意ヲ以テ、御提出ニナリタカドウカト云フコトニ付テ、極メテ疑ナキヲ得ナイノデアリマス(拍手)殊ニ齋藤總理大臣ハ組閣ノ初ニ當リマシテ、昭和七年六月初メ、第六十二議會ニ於キマシテ、此壇上ヨリ政治革新ヲスルノデアアル、政界ヲ淨化スルノデアアル、併シ政黨ニハ基礎ヲ置クノデアアルカラシテ、國民ノ間ニ湧起リツ、アル所ノ眞面目ナル氣分ハ之ヲ取入レテ、サウシテ以テ此明ルイ政治ヲ實行シタイト思フノデアアル、一面ニ於テハ常軌ヲ逸シタ所ノ各種ノ政治行動ヲ鎮壓致シテ、健全ナル立憲政治ヲ確立スルノデアルト云フコトヲ御聲明ニナリ、其後ニ於キマシテモ屢、此壇上、或ハ委員會等ニ於キマシテ、政治革新ヲ實現スルモノデアルト云フコトヲ御聲明ニナッテ居ルノデアリマスルガ、果シテ齋藤

ノ誠意ヲ御持チニナッテ居ルノデアアルカドウカ、此點ニ於キマシテハドウシテモ再ビ此處ニ於テ、齋藤内閣總理大臣ノ明瞭ナル御説明ヲ煩サナケレバナラヌト思フノデアリマス

テノ、政府ノ御誠意ガ無イカト云フコトガ極メテ明瞭ナノデアリマス

主義ニ依リテ、選舉ノ革新ヲ期サナケレバナラナイト云フ趣旨ノ下ニ於テ、是ガ護憲三派ニ依リテ認メラレテ、今日ノ普通選舉法ガ出來タコトハ言フマデモナイノデアリマス、併シ其後普通選舉法ニ依ル所ノ總選舉ガ行ハレルコト茲ニ三回、而モ其三回行ハレマシタル普通選舉ニ依ル選舉ノ實情ヲ見マシテ、何處ニ金ノ掛ラナイ選舉ガ實現シタデアリマセウカ、又選舉界ノ腐敗ガ、之ニ依リテ一掃サレタリトスル所ノ事實ガ何處ニアルノデアリマセウカ、金ガ掛リ、又選舉界ガ腐敗スルト云フ所ノ根本ノ原因ハ、選舉權ヲ擴張シ、或ハ一面ニ於テ如何ニ嚴罰主義ヲ以テ臨ミマシテモ、決シテ改マルモノデハナイノデアリマス、選舉ノ實情ヲ茲ニ御披露申ス必要ハナイ、諸君ガ既ニ御承知ノ通りデアリマスルガ、吾々トシテ誰ガ好ンデ選舉ニ金ヲ使フ者ガアリマス、誰ガ好ンデ非合法ノ運動ヲ爲サントスル者ガアリマス、恐ラク何人ト雖モ、自ラハ金ノ掛ラヌコトヲ欲シ、又何人ト雖モ非合法ノ運動ヲ爲サントスル者ハナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ個人本位ノ選舉制度ノ下ニ於キマシテハ、一面ニ於テ金ヲ使ヘバ使フダケ、其個人ニ對スル所ノ投票ガ集積ヲシテ來ル、非合法ノ運動ヲ爲セバ爲スダケ、投票ガ其個人ニ集積ヲシテ來ル、隨テ帷イケレドモ金ヲ使ヒ、帷イケレドモ非合法ノ運動ヲ爲スト云フコトガ、今日ノ選舉界ノ現狀デアアルノデアリマス、隨テ此現狀ヲ十分ニ見極メテ、其根本ニ向テ改正ノ

尚ホ本案ガ提出ニ相成リマスル迄ノ經過ニ鑑ミマスルノニ、只今山本内務大臣ガ御説明ニ相成リマシタガ如クニ、既ニ現内閣ハ成立ラシテカラ一年九箇月、而モ此改正案ハ、昨年第六十四議會ニ於テ御提案ニナリ、本院ニ於キマシテ審議未了ト相成リマシタノデアリマスルガ、其後ニ於キマシテ比例代表及ビ選舉公營ニ付キマシテ、法制會議會ニ御諮問ニ相成リマシテ、法制會議會ニ於キマシテハ、比例代表制ニ付テノ確定的ノ意見ガ決定ヲ致サズシテ、其儘ニナッタノデアリマスルガ、秋田議長御主宰ニ係ル所ノ議會振肅委員會ニ於キマシテハ、比例代表ヲ取入レテ選舉公營ヲ之ニ加ヘ、其他ノ點ニ付キマシテ、政民兩黨代表者ニ依リテ作成サレタ所ノ議會振肅委員會案ナルモノガ、成立ラ致シテ居ルノデアリマス、政府ハ此議會振肅委員會作成セラレマシタ所ノ案ヲ本ト致シマシテ、先頃樞密院ニ御諮詢ノ手續ヲ御執リニナリマシタノデアリマスルガ、樞密院ニ於キマシテ、此比例代表制ニ付テノ論難ガ加ハルヤ、忽チ之ヲ削除修正致シテ、只今上程セラレタヤウナ改正案トナッテシマッタノデアリマス、此比例代表制ニ付テノ政府ノ御取扱振ヲ見マシテ

モ、如何ニ此衆議院議員選舉法改正案ニ付

次ニ是モ主トシテ齋藤内閣總理大臣ニ、御答辯ヲ煩ハシタイ點デアリマスルガ、此政治ニ於ケル病根、齋藤總理大臣ガ政治革新ヲシナケレバナラナイ、政黨ヲ淨化シナケレバナラナイ、政界ノ積弊ヲ一掃シナケレバナラナイト仰セラレ以上ニ於キマシテハ、其目標トサレ、其對象トシテ居ラレ

ル所ノ積弊ハ、其病根ガ何レニアラヤト云フコトニ付テ、明確ナル御認識ガアル筈デアリマス、隨テ政界積弊、政黨不信ノ原因、其病根ガ何レニアルト御考ニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラレ

ノ案ヲ本ト致シマシテ、先頃樞密院ニ御諮詢ノ手續ヲ御執リニナリマシタノデアリマスルガ、樞密院ニ於キマシテ、此比例代表制ニ付テノ論難ガ加ハルヤ、忽チ之ヲ削除修正致シテ、只今上程セラレタヤウナ改正案トナッテシマッタノデアリマス、此比例代表制ニ付テノ政府ノ御取扱振ヲ見マシテ

モ、如何ニ此衆議院議員選舉法改正案ニ付

次ニ是モ主トシテ齋藤内閣總理大臣ニ、御答辯ヲ煩ハシタイ點デアリマスルガ、此政治ニ於ケル病根、齋藤總理大臣ガ政治革新ヲシナケレバナラナイ、政黨ヲ淨化シナケレバナラナイ、政界ノ積弊ヲ一掃シナケレバナラナイト仰セラレ以上ニ於キマシテハ、其目標トサレ、其對象トシテ居ラレ

ル所ノ積弊ハ、其病根ガ何レニアラヤト云フコトニ付テ、明確ナル御認識ガアル筈デアリマス、隨テ政界積弊、政黨不信ノ原因、其病根ガ何レニアルト御考ニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラレ

ノ案ヲ本ト致シマシテ、先頃樞密院ニ御諮詢ノ手續ヲ御執リニナリマシタノデアリマスルガ、樞密院ニ於キマシテ、此比例代表制ニ付テノ論難ガ加ハルヤ、忽チ之ヲ削除修正致シテ、只今上程セラレタヤウナ改正案トナッテシマッタノデアリマス、此比例代表制ニ付テノ政府ノ御取扱振ヲ見マシテ

モ、如何ニ此衆議院議員選舉法改正案ニ付

次ニ是モ主トシテ齋藤内閣總理大臣ニ、御答辯ヲ煩ハシタイ點デアリマスルガ、此政治ニ於ケル病根、齋藤總理大臣ガ政治革新ヲシナケレバナラナイ、政黨ヲ淨化シナケレバナラナイ、政界ノ積弊ヲ一掃シナケレバナラナイト仰セラレ以上ニ於キマシテハ、其目標トサレ、其對象トシテ居ラレ

ル所ノ積弊ハ、其病根ガ何レニアラヤト云フコトニ付テ、明確ナル御認識ガアル筈デアリマス、隨テ政界積弊、政黨不信ノ原因、其病根ガ何レニアルト御考ニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラレ

ノ案ヲ本ト致シマシテ、先頃樞密院ニ御諮詢ノ手續ヲ御執リニナリマシタノデアリマスルガ、樞密院ニ於キマシテ、此比例代表制ニ付テノ論難ガ加ハルヤ、忽チ之ヲ削除修正致シテ、只今上程セラレタヤウナ改正案トナッテシマッタノデアリマス、此比例代表制ニ付テノ政府ノ御取扱振ヲ見マシテ

モ、如何ニ此衆議院議員選舉法改正案ニ付

次ニ是モ主トシテ齋藤内閣總理大臣ニ、御答辯ヲ煩ハシタイ點デアリマスルガ、此政治ニ於ケル病根、齋藤總理大臣ガ政治革新ヲシナケレバナラナイ、政黨ヲ淨化シナケレバナラナイ、政界ノ積弊ヲ一掃シナケレバナラナイト仰セラレ以上ニ於キマシテハ、其目標トサレ、其對象トシテ居ラレ

ル所ノ積弊ハ、其病根ガ何レニアラヤト云フコトニ付テ、明確ナル御認識ガアル筈デアリマス、隨テ政界積弊、政黨不信ノ原因、其病根ガ何レニアルト御考ニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラレ

ノ案ヲ本ト致シマシテ、先頃樞密院ニ御諮詢ノ手續ヲ御執リニナリマシタノデアリマスルガ、樞密院ニ於キマシテ、此比例代表制ニ付テノ論難ガ加ハルヤ、忽チ之ヲ削除修正致シテ、只今上程セラレタヤウナ改正案トナッテシマッタノデアリマス、此比例代表制ニ付テノ政府ノ御取扱振ヲ見マシテ

モ、如何ニ此衆議院議員選舉法改正案ニ付

次ニ是モ主トシテ齋藤内閣總理大臣ニ、御答辯ヲ煩ハシタイ點デアリマスルガ、此政治ニ於ケル病根、齋藤總理大臣ガ政治革新ヲシナケレバナラナイ、政黨ヲ淨化シナケレバナラナイ、政界ノ積弊ヲ一掃シナケレバナラナイト仰セラレ以上ニ於キマシテハ、其目標トサレ、其對象トシテ居ラレ

ル所ノ積弊ハ、其病根ガ何レニアラヤト云フコトニ付テ、明確ナル御認識ガアル筈デアリマス、隨テ政界積弊、政黨不信ノ原因、其病根ガ何レニアルト御考ニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラレ

「メス」ヲ加ヘルニ非ザレバ、百年待テモ決シテ選舉界ハ革正サレマセス（ヒヤ〜）若シ是ガ聖人君子ノ集リデアリ、七千万ノ國民ガ、全部人格者デアリマスナラバ、金ノ掛ラナイ選舉モ出來ルデアリマセウ、或ハ非合法ノ運動ヲ爲ス必要モナイデアリマセウ、併ナガラ今日ノ實情ニ於テハ、ドウシテモ金ガ掛リ、非合法ノ運動ガ知ラズ識ラズノ間ニ行ハレル、而モ一面ニ於テ之ニ向テ嚴罰ヲ加ヘル、而モ其嚴罰ヲ加ヘル前提トシテノ檢察制度ト云フモノガ、極メテ不公平デアアル、即チ言換ヘレバ檢査ガ極メテ不公平ニ行ハレルト云フ事實ガアルノデアリマス、隨テ如何ニ嚴罰主義ヲ以テ臨ンデ見マシテモ、非合法ノ運動ガ行ハレルト云フコトヲ絕對ニ終熄セシムルコトハ出來ナイノデアリマス、吾々ノ見ル所ニ依リマシレバ、今日ノ選舉制度、即チ人格主義ト云フ美名ノ下ニ、實ハ個人本位ノ選舉ヲヤテ居リマスル以上ニ於キマシテハ、如何ニ嚴罰主義、其他ノ規定ヲ以テ、非合法ノ運動ヲ取締リ、或ハ又金ノ掛カラナイヤウナ政治教育ヲ致シマシテモ、此國民ノ現状ヲ以テシテハ、決シテ選舉ノ弊害ヲ自覺スルコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマスガ、政府ハ此淨化セントシ、革新セントスル政界ノ積弊、政治ノ病根ヲ何レニ在リト認メテ、今日之ヲ御提案ニナッタノデアアルカ、其點ヲ明瞭ニセラレントヲ望ミマス

今日ノ選舉ガ人格主義、即チ言換ヘレバ個人本位ノ選舉デアリマスカラ、隨テ非合法ノ運動ヲシ、金ガ掛カルト云フコトハ前申シタ通りデアリマスガ、此根本ヲ矯正スルガ爲ニ、最近比例代表制ニ付テ色々ノ議論ガアルノデアリマス、固ヨリ比例代表制ガ、唯單ニ死票ヲ無クスル、所謂死票ヲ無クスルト云フダケノ意味ノモノデアリマスレバ、比例代表制ノ價值ト云フモノハ、今日ニ於テソレ程吾々ハ大切ナル價值ヲ認メナイノデアリマス、即チ中選舉區單記投票票制度ト云フ今日ノ現行制度ガ、既ニ比例代表ノ趣旨ヲ十分ニ取入レテ居ルノデアリマス、併ナガラ先ニ申シマシタ通りニ、個人本位ノ選舉ヲ爲シ、而モ中選舉區ニ於テ極メテ多數ノ得票ヲ得ナケレバ、當選ガ出來ナイト云フ今日ノ現狀ニ於キマシテハ、ドウシテモ此個人本位ノ運動ガ行ハレ、ソコニ非合法ノ運動ガ發生スルト云フコトハ致シ方ノナイ現狀ニ在ルノデアアル、隨テ此政治ノ病根、選舉界ノ根本的ノ腐敗ヲ一掃シ、之ヲ矯正シ、政治ヲ革新セントスルナラバ、ドウシテモ比例代表制度ニ付テ眞面目ナル研究ヲ致シ、少クとも此選舉法改正ニ付キマシテハ、曩ニ議會振肅委員會ニ於テ採用シタガ如クニ、比例代表制ヲ加味シテ御提出ニナルノガ當然デアラウト思フノデアリマス、即チ今日選舉界ノ積弊ノ起リテ來ル所ノ源、其病根ガ個人本位デアリマスル以上ニ於テハ、其個人本位制度ヲ改メテ團體本位トシ、或ハ集團本位ノ選舉制度ヲ

採テ見ルト云フヤウニ、時代ヲ劃スル所ノ改正ヲ爲スニ非ザレバ、選舉法改正ノ意義ハ全ク没却セラレテ居ルモノト言ハナケレバナラヌノデアリマス（拍手）殊ニ此比例代表ノ言葉ニ付キマシテハ、色々疑念モアリマスルシ、又比例代表制其モノニ付テハ、百何十種ト云フヤウナ多數ノ、色々各種各様ノ比例代表制ガアルノデアリマスケレドモ、併シ其主眼トスル所ハ、要スルニ國民ノ各方面ノ意思ヲ代表シ、眞ノ國民ノ發言ヲ議會ニ於テ反映ヲ致シ、各方面ノ勢力ヲ代表セシメ、又一面ニ於テハ個人本位政黨カラシテ、當然招來サレル所ノ選舉界ノ種種ナル惡弊ヲ矯正致シマシテ、又費用ノ點ニ於キマシテモ、團體或ハ政黨ガ集團的ニ行動シ、集團的ニ選舉運動ヲナス結果ト致シマシテ、此政治ガ公明ニナリ、又選舉費用ガ減少スルト云フ、極メテ長所ヲ持テ居ルノデアリマスカラ、少クとも此改正案ニ於テハ比例代表制ヲ加味セラル、ト云フコトガ、當然デアラウト思フノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、政府ハ、一旦比例代表制ニ付テ法制審議會ニ諮問ヲナサレ、又議會振肅委員會ニ於キマシテ之ヲ採用セラレテ、政府ニ申達サレテアルニ拘ラズ、之ヲ樞密院ニ御諮詢ニ相成リ、樞密院ノ一部ニ於テ比例代表制ニ付テ反對ニ遭フヤ、忽チ之ヲ削除修正ヲ致シテシマッタト云フコトハ、此衆議院議員選舉法改正ニ付テ、洵ニ遺憾千萬ニ存ズルノデアリマス、殊ニ比例代表ニ付キマシテハ、只今申シマスル

通りニ各方面ノ利益、各方面ノ團體ヲ代表スルト云フ所カラ、今日色々ノ政治運動ガ行ハレテ居リマスガ、其政治運動ガ、唯徒ラニ蔭ニ隠レテ政黨ヲ排撃シ、或ハ直接行動ニ出ルト云フガ如キコトガアルノデアリマスルガ、ソレ等ノ者モ此比例代表制採用ノ結果ハ、當然衆議院議員トシテ議席ヲ持ツ所ノ機會ガ與ヘラレテ、所謂今日流行ノ職能代表ト云フヤウナ意味モ、取入レルコトガ出來ル長所ヲ持テ居ルト考ヘラレルノデアリマス、隨テ政府ガ此度御提出ニナリマシタ改正案ニ於テ、此比例代表制ニ付テ全然觸レテ居ラナカッタト云フ根本的ノ理由ガ、何處ニアルノデアアルカヲ承リタイノデアリマス

次ニ第五ノ問題ト致シマシテ御尋ヲ申上ゲタイコトハ、嚴罰主義ト所謂連坐規定ノ擴張ノ問題デアリマス、只今山本内務大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、今回ノ選舉法改正案ニ付テ一ツノ大ナル特徴ハ、嚴罰主義ノ採用ト云フコトデアリマス、其嚴罰主義ノ採用ニ依リマシテ、吾々ノ一ツダケ贊成シテモ宜シイカト考ヘラレルノハ、選舉干渉ヲ防止スルガ爲ニ、役人ノ選舉干渉行爲、即チ非合法運動ニ對シテ嚴罰ヲ以テ臨マレタト云フ一點ハ、是ハ多少是トスベキ理由ガアルノデアリマスルガ、其他ノ點ニ付テハ、其嚴罰ノ效果極メテ疑ハシイモノガ多イノデアリマス、殊ニ破廉恥罪、或ハ重大犯人ヨリモ、ヨリ以上缺格期間ヲ延長スルト云フヤウナコトヲ以テ、此選舉犯罪

ニ臨ムト云フコトハ、刑事政策トシテ果シテ當ヲ得タモノデアアルカドウカ、是ガ若シ英吉利ニ於ケル小選挙区制度ノ如クニ、小サイ選挙区ニ於キマシテ、嚴罰ヲ以テ臨ムコトガ出來マスルナラバ、或ハ嚴罰主義ノ徹底ヲ期スルコトモ出來マセウ、或ハ檢察制度ノ完備シタ處ニ於キマシテハ、其檢察ノ公平ト云フコトモ期スルコトガ出來マセウ、併シ我國ノ今日ノ檢察制度ノ實際ノ運用ヲ見マスルノニ、何時デモ政府黨ニ有利デアテ、反對黨ニ極メテ不利益デアルト云フ事實ガアル、即チ嚴罰主義ヲ徹底スル前ニ於キマシテハ、ドウシテモ檢察制度ノ完備、檢察ノ公平ト云フコトヲ期サナケレバナラナイ(拍手)隨テ此嚴罰主義ヲ採用スルト共ニ、或ハ司法警察官ヲ獨立セシメテ、檢察ノ完全ヲ期スルト云フ御用意ガアルノデアアルカドウカト云フコトヲ、御伺致シタインデアリマス

次ニ選挙ノ公營デアリマスルガ、此問題ハ吾々ノ主張致シタ所デアリ、各派ニ於テ御贊成ニ相成リマシテ、茲ニ御提案ニナリタノデアリマスルガ、今山本内務大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、其内容程度等ガ明瞭致サナイノデアリマスガ、是ハ地方長官ガ政見發表ノ爲ニ文書ヲ公表スルトカ、二三ノ規定ガアリマスルガ、ソレ以上ニ於テ、勅令ヲ以テ御規定ニナル所ノ此選挙公營ノ内容、選挙公營ノ程度、又選挙公營ヲスル爲ニ、ドウシテ選挙費用ガ低減サレカト云フコトノ、其根據ニ付テモウ少シ明瞭ニ此

席ニ於テ御説明アランコトヲ希望スルノデアリマス、私ノ御尋申シタイ大體ノ趣旨ハ、以上ノ六點デアリマスガ、ソレニ關聯ヲ致シマシテ御尋申上ゲタイコトハ、此衆議院議員選挙法改正ニ依リテ、政治ヲ革新セラルルト云フナラバ、ソレト最モ密接ナル關係アル所ノ地方制度ノ改正ニ付テ、何等カノ御用意ガアルカドウカ、今日地方ニ於ケル黨弊浸潤ト云フコトニ付テ、種々ノ非難ガアルノデアリマスケレドモ、併ナガラ國ノ選挙モ、府縣會議員ノ選挙モ、或ハ市町村會議員ノ選挙モ、總テ同ジ資格ノ者ヲ以テシテ、國ノ政黨ノ力ガ地方ニ浸潤シテハイケナイト言ウタ所デ、是ハ出來ルコトデアリマセヌ、隨テ地方議會ノ選挙制度ト、國ノ議會ノ選挙制度トヲ全然別ニセラル、カ、有權者或ハ其他ノ點ニ於テ、全然區別シテ御取扱ヲ爲サルカ、其御用意ガナカッタナラバ、御聲明ノ通りノ政界ノ積弊ヲ一掃スルコトハ決シテ出來ナイ、即チ中央ニ於ケル政治ノ革新ト、地方ニ於ケル行政ノ刷新トガ相俟ツテ、始メテ政界ヲ淨化シ、政治革新ノ實現モ出來ルモノト考ヘルノデアリマス(拍手)隨テ此地方制度改正ト云フコトニ付テ、何等カノ御用意ガナケレバナラヌ答ト考ヘマスルガ、ソレニ付テノ所信所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

最後ニモウ一ツ關聯事項トシテ御尋申上ゲタイコトハ、此帝國議會ノ構成ノ一院ヲ爲シテ居ル所ノ貴族院制度ノ改正ト云フコトデアリマス、貴族院制度ノ改正ハ、嘗

テ護憲三派内閣ニ依リマシテ、其一小部分ノ改正ガ行ハレタノデアリマスルケレドモ、併シ今日ニ於テモ、例ハバ互選規則ノ如キ、改正スベキ點ガ少クナイノデアリマス、殊ニ貴族院ニ於キマシテハ、政黨ハ存在シナイト云ハレテ居リマスルケレドモ、事實上ニ於キマシテハ政黨以上ニ鞏固ナル團體ガアルノデアリマス、而モ其團體ハ萬年與黨トナレテ、政府ノ恩澤ヲ受クル所ノ銀行會社ノ重役トナレテ居ル者ガ多クアルノデアリ、而モ貴族院議員ハ就官能力、就任能力ニ何等ノ制限ガアリマセヌカラシテ、普段ハ國民ノ前、民衆ノ前ニ政見ヲ發表スルコトモナクシテ、一躍臺閣ニ列スルコトモアル、或ハ大キナ會社銀行ノ重役トナルコトモ出來ル、或ハ事務次官トモナリ、其他ノ事務官トモナル、斯ノ如キコトハ此衆議院ト貴族院トノ間ニ於テ、餘リニ甚シキ懸隔ガアルト申サナケレバナラナイ、衆議院ニ於ケル政黨不信デアルトカ、政界積弊ト云フコトヲ言ハレマスルケレドモ、ソレ以上ニ隠レタル所ノ積弊ハ、貴族院ニモ尙ホ一層アルノデアリ(拍手)此萬年與黨トシテ政權ニアリ付イテ、サウシテ其政權ノ餘澤ヲ享ケテ居ル者ガ多クイデアリマスルカラ、此根本ニ改正ヲ加フルニアラザレバ、是亦齋藤内閣總理大臣ガ度々聲明ヲセラル、所ノ政界ノ淨化、政治ノ革新ハ實現シ得ナイト思フノデアリマスルガ、此貴族院制度ニ付テノ、何等カ改革ノ御意見、或ハ御用意ノ持合セガアルカドウカト云フコトヲ、明瞭ニセラ

レンコトヲ望ムノデアリマス、以上私ノ御尋申上ゲタ數點ニ付テ、齋藤内閣總理大臣、山本内務大臣及ビ小山司法大臣ヨリ、ソレノ御所見ヲ述ベラレンコトヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

(國務大臣子爵齋藤實君登壇)

○國務大臣(子爵齋藤實君) 御答ヲ致シマスルガ、第一ノ政界淨化ノ誠意アリヤト云フコトニ付キマシテハ、御述ニナリマシタ如ク、政府ハ熱心ニ此考ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ、此改正案ヲ以テ政界淨化ニ遺憾ナキヲ期シ得ルヤト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ即チ本案ノ如キ法案ノ改正ニ依リマシテ、其運用宜シキヲ得タナラバ、此目的ヲ達スル上ニ於テ效果ガアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、ソレカラ政界不信ノ原因何レニアリヤ、又選挙ニ金ノ掛カルト云フコトニ付キマシテ御述ニナリマシタガ、今回提案ノ公營案竝ニ罰則改正等ハ、即チ此弊ヲ除クコトノ效果ヲアラシムル爲メ改正デアリマス、ソレカラ比例代表ニ付テモ御述ニナリマシタガ、是ハ御承知ノ如ク種々ナル意見モアリ、種々ナル考モアリマスル爲ニ、此問題ハ中々ムツカシイコトハ、私ガ申スマデモナク御承知ノ通りデアリマス、之ヲ今回政府ニ於キマシテ改正案ノ中ニ入レテ出シタイト思ヒマシテ、樞密院ニ御諮詢ヲ願フタノハ其通りデアリマス、然ルニ本案ハ御承知ノ如ク色々ナキ手數ヲ要シマシタ爲ニ、段々時期モ遅レマシ

タガ、今回提案ノ公營案竝ニ罰則改正等ハ、即チ此弊ヲ除クコトノ效果ヲアラシムル爲メ改正デアリマス、ソレカラ比例代表ニ付テモ御述ニナリマシタガ、是ハ御承知ノ如ク種々ナル意見モアリ、種々ナル考モアリマスル爲ニ、此問題ハ中々ムツカシイコトハ、私ガ申スマデモナク御承知ノ通りデアリマス、之ヲ今回政府ニ於キマシテ改正案ノ中ニ入レテ出シタイト思ヒマシテ、樞密院ニ御諮詢ヲ願フタノハ其通りデアリマス、然ルニ本案ハ御承知ノ如ク色々ナキ手數ヲ要シマシタ爲ニ、段々時期モ遅レマシ

タガ、本議會ニドウシテモ提出致サナケレバナラスト考ヘマシタ爲ニ、此比例代表ノ如キハ先ヅ除キマシテ(「優柔不斷ダ」ト呼フ者アリ)公營並ニ罰則ノ改正ヲ以テ、本案ヲ提出シテ次第アリマス

ソレカラ貴族院制度ノコトニ付テ御述ニナリマシタガ、是ハ極メテ慎重ニ考慮ヲ要スル問題デアリマシテ、議論ノアリマスコトハ私モ心得テ居リマス、併ナガラ其用意アリヤト云フコトニ付テハ、マダ此處ニ何等具體的ノコトヲ申上ガ兼ネマス、尙ホ其他ノ點ニ付キマシテハ、他ノ大臣ヨリ申上ゲマス

〔用意ナシ〕初カラ持ッテ居ラヌノデハナイカト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君登壇〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 今御質問ノ要項ニ付キマシテハ、總理大臣カラ御答申上ゲマシタカラ、別段私ヨリ改メテドレヲト云フコトモ、極ク少イト考ヘマス、唯總理ガ申シマシタ如ク、政府ニ於キマシテハ、革正ヲスル爲ニハ色々ナコトガアリマセウケレドモ、先ヅ此改正案ノ如キモノガ、若シ御協賛ヲ得マスナラバ、大變效果ガアルコト、一心ニ心得テ居リマシテ、誠心誠意ヲ以テ出シテ譯デゴザイマス、ソレカラ又比例代表ニ付テ、是ガ革正ノ根本トナルト云フ御説ノヤウニ拜承致シマシタガ、成程或ル點ニ向ッテハ、御議論ノ通りデアラウト思ヒマス、併シドウモ物ハ幾ラ宜シイ

ト思ヒマシテモ、是ガ實現ヲシマセスト、折角ノモノモ其效ヲ現ハサナイコトガ多いノデゴザイマシテ、政府ニ於キマシテハ、ドウカ此比例代表制ヲ何等カノ形ニ於テ御協賛ヲ得タイト、餘程苦心ヲ致シマシタ、併シ御承知ノ如ク昨年議會ノ濟ンダ後ニ至リマシテ、成タケ早クト云フノデ、丁度夏ノ初ニ於テ法制審議會ニ出シタノデゴザイマス、是ハ御承知ノ如ク其前年ニ於テ、比例代表ヲ出シタイト思ヒマシテ、學者、經驗家、代議士、總テノ權威者ヲ網羅致シマシタル此審議會ニ出シマシテ、遂ニ最初ニ中々ハ困難ナモノデアルカラ、先ヅ別ニシテ、アトノモノヲ議シヨウト云フコトデ、ソレヲ後廻シニシテ、他ノ公營案ヲ初ニ審議サレタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ前ノ議會ニ於キマシテモ、此衆議院ニ於キマシテハ、比例案ヲ出サナイコトニ付テ、色々御議論ガアリマシタノデ、今度ハドウカ出シタイト思ヒマシテ、法制審議會ニ又掛ケタノデアリマス、此度ハ法制審議會ニ於テモ、相當皆御勉強ニナッテ、夏ノ間ニモ度々其事ニ付テハ善惡利害ヲ考究サレタノデアリマシテ、遂ニ其結果ガ此案、ドノ案トシテ、サウシテ數十ノ案ノアル間デ、先ヅ大別シマスト云フト、三箇條ニ於テ案ガ出來マシテ、サウシテ審議會ニ掛ケマシタ所ガ、何レモ少數デ否決サレマシテ、到頭案ガ成立タズニ濟ンダノデアリマス、サウ云フ風ナコトデ、アノ法制審議會デ各方面ノ權威者ガ、アレダケ御議論ニナッテ

定マラナカッタモノデアリマスカラ、非常ニ内務ニ於テモ當惑致シマシタ、折角掛ケタモノガ、ソナ事デアリマシタケレドモ、ドウモ衆議院ニ於テモ相當御要望ガアルヤウニ承知致シテ居リマスカラ、又再ビ何トカ案ヲ以テ、酷ク偏ラヌヤウナ案ニシテ出シテ、ジクム進ムヤウナコトニシタナラバト思ヒマシテ、一ツノ案ヲ拵ヘマシタガ只今總理大臣ノ申述ルガ如キ事情ニ陥ルノデアリマス、是ハ無理ニ政府ガソレヲ實行スルコトニ熱心ヲ以テ進ミマス、ドウモ其時ノ様子デ、迎モ三十日ヤ四十日デ是ガ善シ惡シヲ決スルコトハ餘程困難デアルト私ハ思ヒマシタ、ソコデソレヲ待ッテ居リマス、遂ニハ今日出シマシタ案モ、不幸ニシテ此議會ニ提出ヲスルコトノ出來ナイヤウナコトニ陥ルコトヲ酷ク氣遣ヒマシテ、遂ニ是ハ他日ノコトニシテ、今日ノ案ヲ出シタ、豫テ公營ハ前モ大分御希望ガ多イヤウデアリマシタカラ、其公營ニ、前ノ嚴罰主義ト申シマス、色々手續ニ於テ出シタル次第デゴザイマシテ、決シテ政府ガ冷淡デアルトカ、等閑デアルトカ云フヤウナ——思召シハドウアルカ知りマセヌガ、其心得ハナイノデゴザイマス、今ノヤウナコトニ於テ、茲ニ出シマシタル次第デアリマシテ、ドウゾ其邊ニ付キマシテハ、惡カラズ御諒承ヲ願ヒマス(拍手)ソレカラ尙ホ詳シイコトニ付キマシテハ、政府委員ヨリ成タケ御満足ナル御答辯ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、ソレモ加ヘテ置キマス

〔拍手〕  
〔國務大臣小山松吉君登壇〕  
○國務大臣(小山松吉君) 船田君ノ御質問中、私ノ所管事務ニ關スルコトニ付テ御答申上ゲマス、御尋ノ趣旨ハ、要スルニ嚴罰主義ヲ採用シテ、此嚴罰ヲスル效果ハ、刑事政策上其當ヲ得タリヤト云フコトニ承クノデアリマス、政府ト致シマシテモ、選舉法ニ違反致シマシタモノヲ、嚴罰ヲ以テ之ニ臨ムト云フコトハ、決シテ希望シテ居ル譯デハナイノデアリマス、併ナガラ御承知ノ通り、選舉法ノ施行以來度々改正ヲ致シテ見マシテモ、到底惡質ノ「ブローカー」及ビ是同ジク買収ヲ致シマスル者ガ、其跡ヲ絶チマセヌ爲ニ、已ムヲ得ズ段々刑罰規定ヲ擴張致シマシテ、獨リ「ブローカー」背スル者ヲ嚴重ニ罰スル、ソレカラ又惡質ノ買収者ニ對シマシテハ——投票賣買行爲ヲ爲ス者ニ對シマシテハ、嚴重ニ之ヲ取締ル必要ヲ認メタノデアリマス、是ハ選舉界ヲ革正スル爲メ、又選舉費用ヲ減少致シマスル爲ニ、洵ニ已ムヲ得ナイ所ノ處置デゴザイマス、其效果ハ只今御話ノアリマシタ如クニ、單ニ法規ヲ改正シテ、嚴罰ヲ以テ臨ンダノミデハ、其效果ヲ學ゲルコトハ出來ナイコトハ御意見ノ通りデアリマス、政府ト致シマシテハ、選舉ノ際ニ選舉ニ關係スル官吏ノ取締ヲ十分ニ致シマシテ、決シテ不公平ノナイヤウニ、荷モ選舉干渉アリトノ疑ノ起ラナイヤウニ致シマシテ、取締

ヲシテ行ク積リデアリマス、之ニ依リマシテ從來色々論議ノアリマシタ、又疑惑ヲ受ケマシタコトヲ避ケマスル爲ニ、只今御意見ノアリマシタ如キ檢察機關ノ行動ノ公平ヲ期スル爲ニ、檢事直屬ノ司法警察官ヲ置クト云フコトニ付キマシテモ、此點ニ付テ考慮致シテ居ル次第デアリマス、此ダケ申上ゲテ置キマス

〔政府委員齋藤隆夫君登壇〕

○政府委員(齋藤隆夫君) 船田君ノ御質問ノ中ノ選舉公營ニ關スルコト、地方制度ノ改正ニ關スルコト、此二ツニ付テ大體御答ヲ致シテ置キマス、選舉公營ニ關シテ、費用ヲ減少スルカシナイカト云フ御尋デアリマシタガ、サウ多額ノ費用ガ之ニ依リテ減少スルト云フ譯ハゴザイマセヌガ、相當ニ減少ヲ致シマス、此減少致シマス理由ハ、委員會ニ於テ具體的ニ申上ゲル積リデゴザイマス、ソレカラ地方制度ノ改正デゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通りニ、今ノ地方議會ノ選舉ニ付キマシテハ、衆議院議員ノ選舉法ヲ準用スル部分ガアリマスカラシテ、本案ガ成立致シマシタ後ニ於キマシテハ、關聯スル部分ハ地方制度モ改正スル積リデアリマス、現行選舉法モ、御承知ノ通りニ大正十四年ニ成立致シマシタガ、其翌年ノ十五年ニ、關聯スル地方制度ノ改正ヲ行テ居リマス、其他本案ニ關係ノナイ所ノ、一般ノ地方制度ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ中々ムジカシイコトデアリマスカラシテ、今日改正ヲスルト云フコト

ヲバ明言ヲ致シ兼ネマス、地方議會ノ議員選舉ガ、非常ニ惡クナッテ居ルト云フコトモ、極メテ同感デアリマスルガ、ドウシテ之ヲ矯正スルカト云フコトニ付キマシテハ、御互ニ十分研究スル餘地ガアリマス、此處申上ゲマスルノハ、本案ニ關係致シマスル部分ダケハ、本案ガ成立致シマシタ後ニ於テハ、次ノ議會ニ於テ必ず改正スル積リデアリマス、左様ニ御承知ヲ願フテ置キマス

○船田中君 極メテ簡單デゴザイマスカラ、自席カラ發言ノ御許シヲ願ヒマス

○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○船田中君 只今齋藤内閣總理大臣、山本内務大臣、小山司法大臣及ビ齋藤政務次官ノ御答辯ハ、満足致シ兼ネル點ガ多イノデゴザイマスガ、委員會ニ詳細ヲ譲リマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○議長(秋田清君) 須之内品吉君

(須之内品吉君登壇)

○須之内品吉君 私ハ只今上程サレテ居リマスル所ノ、衆議院議員選舉法中改正法律案ニ付キマシテ、簡單ニ二三ノ質問ヲ試ミテ見タイト思フデアリマス、私ハ極ク簡單ニ大要ヲ申述ベルノデアリマスカラ、政府委員ナドノ答辯ハ要リマセヌ、私ハ總理大臣、内務大臣、司法大臣ノ御三方ニ御尋致シタイノデアリマス、凡ソノ法律ヲ制定シ、又之ヲ改正セントスル時ニハ、必ず其法律ニ對スル法的理念ト申シマスカ、指導原理ト申シマスカ、サウ云フモノガ

一ツ必ずナクテハナラヌ、ソコデ此選舉法ト云フモノハ、御承知ノ通り技術的ノ法律デアル、ソレ故ニ其條文ハ技術的條項ノ羅列デアル、ケレドモ其技術的ノ條文ノ背後ニ、又其技術的條文ヲ一貫シテ、之ヲ貫ク所ノ一ツノ指導原理ト云フモノガナクテハナラヌト思フデアリマス、而シテ現行ノ選舉法ト云フモノハ、御承知ノ通りニ普選主義デアリマスルガ故ニ、是ハ人格主義デアアル、是ノ指導原理ハ人格主義デアアル、個人主義デアアル、ソコデ政府ハ前議會ニ於キマシテモ、比例代表ハ次ノ議會ニハ出ス、斯ウ云フコトヲ言明サレ、今回モ樞密院ニ提出致シマシタ所ノ案文ニハ、比例代表ト云フモノガ入リテ居、タカノヤウニ承リマス、然ラバ現政府ハ、同じク此人格主義ヲ採ラレテ居ルノデアラウト思フデアリマス、人格主義、個人主義ト云フモノヲ採リマスレバ、平等、普通、直接、秘密、比例代表ト進ンデ行クコトハ、是ハ論理ノ歸結スル所デアリマス、ソコデ私ハ、現政府ハ個人主義ヲ採テ居ラレルト考ヘルノデアリマスルガ、此個人主義ト云フモノハ、我が日本ノ國ノ建國ノ精神、日本ノ最モ根本的ナル所ノ思想、建國ノ精神ニ相反スルト私ハ思フデアアル、個人主義ト云フモノハ、申スマデモナク物質主義デアアル、之ヲ約メテ申シマスレバ、結局物質萬能ノ安樂ノ境土ヲ要求スルノデアアル、希求スルノデアアル、ソコデ個人主義ヲ採リマスルト云フト、ドウシテモ幸福ト云フモノヲ希望シ、幸福觀

ニ立脚致シマスカラ、己レノ自由、己レノ權利ト云フコトヲ主張シテ行クコトニ相成ルノデアリマス、ソコデ此個人主義ヲ基礎トシテ居ル所ノ社會ハ、此權利ト自由ヲ擁護スルト云フコトニ相成、テ來ルノデアリマス、此個人ノ權利ト自由ヲ妨ゲル者ハ、之ヲ彈壓シ、排撃スルト云フコトニ相成、テ參ルノデアリマス

所ガ此個人主義ニ基ク所ノ、自由ト權利ト主張ト云フモノガ、今日ノ社會ニ非常ナ妨ゲヲ爲シテ居ル、今日ノ社會ト云フモノハ、相互連帶依存デアリマシテ、ドウシテモ個人々々ガ勝手ナコトヲ言ウテハ、世ノ中ハ成立、テ行カヌト云フコトニ相成、テ居ルノデアリマス、ソコデ此個人主義ト云フモノハ、連帶相互依存ノ心理ニ非常ナ障礙ヲ與ヘルノデアリマス、今日ノ世相ガ、農民ト言ハズ、中小商工業者ト言ハズ、總テ有ニル階級、有ニル職業ノ人ガ、働イテモ働イテモ、ドウシテモ追々ト、一日々々窮迫シテ參リマス、斯ウ云フコトハドウ云フ譯カト云フト、個人主義ノ基礎ノ上ニアル社會制度ガ、妨ゲヲ爲シテ居ルノデアリマス、ソコデ今日ノ社會状態ヲ能ク見マサルノニ、今日ノ社會ト云フモノハ、モウ變化ヲシテ來テ居リマス、權利ノ文明カラ義務ノ文明ニ移、テ居ル、放任的カラ自律的ニ移リ居リ、個別的カラ全體主義ニ移、テ居ルノデアリマス、政府ハ斯ウ云フ社會ノ遷リ變リニ著眼セラレテ居ラレカドウカ、若シ斯ウ云フ社會ノ變遷ニ御著眼ヲナサ

テ居ルナラバ、今回ノ選舉法改正案ニハ、其片鱗ガ現レナクテハナラヌト考ヘルノデアリマス、私ハ此意味ニ於テ、政府ハ此法律案ヲ改正スルニ當リテ、如何ナル指導原理ヲ持タルカヲ御尋シタイノデアリマス

第二ニ御尋シタイコトハ、政府ノ此改正案ニ對スル認識ト確信ヲ御尋シタイノデアリマス、申上ゲルマデモナク選舉法ト云フモノハ、憲法附屬ノ大典デアアル、我ガ憲法ニハ唯一箇條、三十五條ニ於キマシテ「衆議院ハ選舉法ノ定ムル所ニ依リ公選セラレタル議員ヲ以テ組織ス」ト規定シテアルノデアリマスルガ、選舉法ト云フモノハ、申スマデモナク實質的ニハ憲法ノ一部分デアリマス、其憲法ノ一部分ヲ成ス所ノ選舉法ニ對シテ、私ハ政府ノ認識ト確信ヲ疑フ者デアリマス、先ヅ第一ニ此重要法案ノ提出ノ時期ニ付テ考ヘテ見マシテモ、前議會ニ於キマシテモ、矢張三月ノ上旬ニナツテ、會期ノ、三分ノ二以上ヲ過ル時ニ提出シタノデアリマス、ソレガ爲ニ衆議院ニ於テ委員會ヲ審査未了ニ終ラタノデアリマス、十分ノ審議ヲ遂ゲルコト能ハズシテ、會期ガ過ギテシマ、タノデアリマス、而シテ一箇年ヲ經過シタ今日、又此議會ニ於テ、此重要法案ヲ同ジク三月ノ一日、會期ノ三分ノ二以上經過シタ今日提出スルト云フコトハ、如何ナル考ヲ持ッテ居ラレルノデアアルカ、今日此重要法案ヲ提出セラレテ、衆議院貴族院デ十分ニ審議ヲスル期間ガアルト御考ヘニナルノデアアルカドウカ、此點カラ見テモ、私

ハ洵ニ此重要法案ノ認識ト、之ヲドウシテモヤラウト云フ確信トヲ缺イテ居ルト私ハ思フノデアリマス(拍手)又第六十二議會以來、總理大臣ハ施政ノ演說ニ於キマシテ、議會ハ尊重スルトカ、或ハ政黨ハ決シテ輕視ヲ致シマセヌトカ、斯ウ云フコトヲ度々此議場デ申サレマシタガ、一體總理大臣ハ、今日ノ政黨ヲドウ御覽ニナラシメ居ルカ、今日ノ政黨ハ昔日ノ政黨デハナイ、進歩主義ト保守主義ノ争トカ、積極ト消極ノ争トカ、緊縮ト膨脹ノ争トカ、斯ウ云フ争ハ過去ノ事デアリマス、今日ノ政黨ハ國家本位、政策本位ニ立チマシテ、假令反對黨ノ意見ト雖モ、善キモノハ之ニ耳ヲ藉サントシ、又善キ所ハ與ニ俱ニ手ヲ携ヘテ進マントスルノ協力主義ニ變テ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ總理大臣ハ御存ジニナラシメ居ルカドウカ、又世間ニハ職能代表ト云フヤウナ聲モアリマス、斯ウ云フコトニ付テ、ドウ云フ意味ニ此衆議院議員選舉法ヲ改正シタラ宜イカト云フコトヲ御考ニナラシメ居ルカ、政府ガ總テノ物事ニ確信ヲ持タナイデ、認識ヲ缺イテ居ラレハ、洵ニ國民ハ迷惑ヲスルノデアリマス、先ヅ總理大臣、政府タルモノハ、己レガ己レヲ確信シテ、而シテ其確信ヲ國民ニ與ヘナケレバナラヌノデアリマス、國民ニ確信ヲ與ヘテ、カヲ集中スルト云フ精神ノ統一ヲ與ヘマスルナラバ、國民ハ立所ニ蘇生スルノデアリマス、私ハ此意味ニ於テ、現内閣ノ此選舉法改正案ニ對シテノ認識ト確信ノ如何ヲ疑

フモノデアリマス

次ニ私ハ連坐ノ規定ニ付テ司法大臣ニ御尋シタイノデアリマスルガ、犯意ノ無イ當選人ヲ制裁スルト云フコトハ、是ハ洵ニ不當デアリマス、今回ノ改正案ニ依リマスレバ、事務長又ハ運動ヲ主宰スル者ガ、候補者ニ何等關係ナク、候補者ノ知ル所ナクシテ違反ヲスル、然ル場合ニ、直チニ候補者ガ其責任ヲ負ハネバナラヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ前議會ニ於キマシテ、色々司法大臣ノ御意見モ承リマシタガ、己レニ責任ノナイ——責任ト云フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、己レノ知ラナイ、己レノ承知シナイ人ノシタ事ニ付テ制裁ヲ受ケルト云フコトハ、ドウシテモ合點ノ行カナイコトデアアル、承認ノ出來ナイコトデアアル、斯ウ云フコトヲ繰返シテ色々ト御尋シテ居ルト、司法大臣ハ公益的ノ見地ニ立テテノ規定デアルト申サレタノデアアル、而シテ今日ノ選舉界ノ状態カラ、ドウシテモ斯ウ云フ連坐ノ規定ヲスル必要ガアルト云フコトヲ申サレタノデアリマス、私ハ司法大臣ノ言ハレルコトハ色々ト聽キマシタガ、結局斯ウ云フコトデヤナイカト考ヘルノデアアル、ドウモ事務長及ビ選舉運動ヲ主宰スル者ガ買収行爲ヲシタ、ソレヲ候補者ガ知ラヌ善ハナイ、唯證據ガ舉ラナイダケデアルト、斯ウ云フコトヲ御考ニナラシメ居ルノダラウト思フノデアリマス、口デハサウ言ハレヌガ、ドウモ色々トコトカラ、サウ推察サレル御答辯ガアルノデアリマス、

併ナガラソレハ實際ヲ御承知ニナラナイノデ、如何ニ注意シテ事務長ヲ定メ、如何ニ選舉ニ付テ注意ヲシテ居リマシテモ、候補者ノ知ラナイ中ニ、サウ云フ行爲ヲスルコトハアリ得ルカモ知レナイノデアリマス、アリ得ルコトデアラウト私ハ考ヘマス、此場合ニ候補者ガ其責任ヲ帶ビル、斯ウ云フコトハドウシテモ承服ノ出來ナイ所デアリマス、而シテ斯ウ云フ例ハ外ニアルカト云フト、税法ニアルトカ、或ハ又主人ガ雇人ノシタ行爲ニ付テ責任ヲ帶ビル場合ガアルト云フコトノ御説明ガアツタケレドモ、ソレハ概シテ財政罰デアアル、此連坐法ニ依ッテ制裁ヲ受ケルト云フコトハ、候補者ガ奮闘努力シテ、己ノ生命ヲ賭シテ鬪ッテ勝ち得タ所ノ衆議院議員ト云フ、國民ヲ代表スル此地位ヲ剝奪サレルノデアアル、之ヲ失フノデアアル、ソレ故ニ私ハ、サウ云フコトハ決シテ例ニナラヌト思フノデアリマス、若シ公益上ノ見地カラ之ヲ論ズルト云フナラバ、何ガ故ニ今日此衆議院選舉法ノミヲ斯ウ云フモノヲ用ヒルノデアアル、例ハ治安維持法ノ如キハ、己ノ子供、己ノ弟カラ共產主義者ガ出テモ、決シテ之ニ付テ責任ヲ負ハヌノデアリマス(ヒヤ〜)

(議長退席、副議長著席)

然ルニ衆議院議員選舉法ニ於テノミ、公益上ノ見地カラサウ云フ責任ヲ取ルト云フコトハ、私ハドウシテモ合點ノ行カナイコトデアラウト思フノデアリマス、又八十四條



二項ノ規定ナドハ、私ハ詳シイコトハ申シマセヌガ、日本ノ訴訟法上洵ニ變態デ、許スベカラザルモノデアアル、之ニ付テモ司法大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマヌ

最後ニハ私ハ、嚴罰主義ニ付テ御質問ヲシタト思フノデアリマスガ、政府ハ法改正案デ嚴罰主義ヲ以テ我ガ國民ニ臨マントシテ居ル、前議會ニ於テ政府委員及ビ議員ノ間ニ度々此選舉法ノ選舉違反ト云フモノハ、國民ニ輕ンゼラレテ居ル、蔑視サレテ居ル、斯ウ云フ意味ノ意見ノ交換ガ度々アリマシタガ、苟モ一國ノ法律ガ國民ニ輕視セラレル、蔑視セラレルト云フコトニ付テハ、政府ハ如何ナル研究ヲナサテ居ルカ、是モ承リタイノデアリマス、私考ヘマスノニ、之ニハ色々他ノ原因ガアルト思フ、先ヅ此犯罪ニ付テ考ヘテ見マスノニ、人殺シトカ、強盜トカ窃盜、詐欺、ト云フ如ク、常識上誰ガ考ヘテモ、社會ノ通念上、元々是ガ犯罪グト云フ犯罪ガアリマス、又道路ノ右方ヲ進行シタ所ガ、是ガ交通法ニ引掛ケタ、元道ヲ歩クニハ右ヲ歩イテモ左ヲ歩イテモ、ソレガ善デモ惡デモナイ、然ルニ交通法ト云フモノガアルガ故ニ、是ガ犯罪ニナル、斯ウ云フ意味ノ性質ノ犯罪ガアルト思フノデアリマス、而シテ此選舉違反ト云フモノハドウ云フモノカト申シマス、矢張り今私ノ申上ゲタ後者ニ屬スルモノダト思フノデアリマス、若シ選舉法ニ罰則ガナカッタナラバ、選舉違反ハナイ、犯罪者ハナイ、

世ノ中ニハ罰則ノ件ハナイ選舉ハ澤山アル、例ヘバ辯護士會ノ會長ダノ役員ノ選舉ノ如キハ、制裁規定ガナイ、ソレ故ニ響應シヨウガ、戸別訪問ヲシヨウガ、何等制裁ガナイノデアアル、選舉違反ト云フモノハナイ、ソコデ選舉違反ト云フモノハ、選舉ニ關スル罰則ガアルト云フコトカラ是ガ犯罪ニナルノデアラテ、私ハ元々善デモ惡デモナイト思ヒマス、斯ウ云フ意味ノ關係モアリマス、モウ一ツ私考ヘルノハ、此選舉違反ト云フモノハ官吏ガサシタノデハナイカ、官憲ガ干渉スル時ニ、ドウ云フコトヲスルカト云フト、與黨ノ運動ハ極力制限スルノデアアル、野黨ノ運動ハ極力制限スルノデアアル(拍手)野黨ノミヲ制限シテ、與黨ニハ自由ニヤラセテ置クデハナイカ、或ル所デハ知事警察部長ガ金マデ與ヘテ、サウシテ買収ヲヤレト云フコトヲ、誘導勸告シタトサヘ聞クノデアリマス、サウシテ國民ガ、ドウシテサウ云フコトヲ惡イト思フカ、與黨ニ付テ買収ヲシ、色々ヤルコトナラバ、決シテ犯罪ニナラヌト云フコトヲ承知シテ居ル場合ニ、此選舉法中ノ罰則ト云フモノヲ輕ンジ、蔑視スルト云フコトハ當然ノ勢デアルト私ハ思フノデアリマス、又犯罪ノ性質カラ考ヘマシテモ、違反者ト云フモノハ非常ニ多イノデアアル、決シテ將來如何ナル警察官ガ、如何ナル裁判官ガ努力シテモ、選舉違反者ノ全部ヲ引擧ゲテシマフト云フコトハ、私ハ全ク不可能デアラウト思フノデアリマス、ソコ澤山犯罪ヲヤッタ中ノ、

僅バカリノ部分ガ引擧ゲラレルノデアアルカラ、運ノ惡イ者ガ引擧ゲラレタノダト云フ結論ニナラテ、國民ハ決シテ是ガ惡イ事デアルトハ思ハヌノデアアル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、此選舉違反ト云フモノガ蔑視セラレ、輕視セラレルト云フコトニハ、色々原因ガアリマス、國民ノミガ惡イノデハナクシテ、此日本ノ國ノ選舉ニ對スル制度ニモ、大ニ反省スベキ點ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、以上申シマシタヤウナ關係デ、遺憾ナガラ我國ノ國民ノ選舉ニ對スル道德心ト云フモノ、標準ハ、政府ノ考ヘテ居ル程高クアリマセヌ、國民ノ道德ノ標準ヲ考ヘナイデ、嚴罰主義ヲ以テ之ニ向ヒ、之ヲ強制シヨウト云フ法律ヲ制定致シマシテモ、決シテ成功セヌト云フコトハ、古今東西歴史ノ證明スル所デアリマス、私ハドウカ政府ニ於テ、先ヅ嚴罰主義ヲ執ラントスル先ニ、國民道德ノ標準ニ付テ、確乎タル御研究ガ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)

云フコトハ、何ヲ物語テ居ルカト云フコトヲ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、美濃部博士ハ斯ウ云フコトヲ或ル本ニ書イテ居ル、政府ノ各大臣ガ己ノ省ノ豫算ヲ通過サシテ賞フ便宜ノ爲ニ、衆議院議員ヲ招待シテ響應スルヤウナ大臣ガ、嚴罰主義ヲ規定スル資格ハナイデハナイカト云フヤウナ意味ノコトヲ書イテ居リマスガ、是ハ御參考ニナルコトデハナイカト思フノデアリマス(拍手)前申シマシタ連坐法ニ於テハ、公益上ノ見地カラ斯ウ云フ規定ヲ制定スルト言ハレル、嚴罰主義ヲ以テ國民ニ向テ、罪ヲ減サウ、犯罪者ヲ減サウト、斯ウ言ハレルノデアアルガ、私ハ若夫レ公益上ノ見地カラ考ヘマスレバ、總理大臣ハ組閣以來、何人ノ閣僚ヲ御取更ニナツタカ、ソレハ一人一人其人ノ御責任デアラウケレドモ、若シ公益上ノ見地ト云フヤウナコトカラ、人ノシタ事ニ付テモ責任ヲ帶ビル、當選者ガ知ラナイ所ノ者ノ犯罪ノ責任ヲ帶ビルト云フナラバ、總理大臣ハ己ノ閣僚ノ一人ノ責任ハ負ハネバナラス、ソレハ一體ドウナサル、司法大臣ハ嚴罰主義ヲ以テ向ハレルコトニ御贊成ノヤウデアアルガ、若シ他人ノシタ事デ、承知シテ居ナイ事デ責任ヲ帶ビルナラバ、己ノ部下カラ共產黨ガ出タラ、ドレ程ノ責任ヲ帶ビネバナラヌカ(拍手)己ノ身ヲ抓ッテ人ノ痛サヲ知レト云フコトガアルガ、アナタハ人ノ身ヲ抓ッテ己レノ痛サヲ知ラナイ、日本ノ道德デハ、己ニ嚴ニ人ニ寬ニト云フコトガ、是ガ日本ノ道德デア

ル、所ガ今日ノ内閣總理大臣以下ノ御關係ノ閣僚ハ、己ニ求ムル所頗ル寛ニ、人ニ求ムル所頗ル嚴肅デアル、斯ウ云フコトヲ感ズルノデアリマス、ドウカ以上ノ四點ニ付テ、懇切ナル御答辯ヲ御願シタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣子爵齋藤實君登壇)

○國務大臣(子爵齋藤實君) 御答致シマス、選舉法改正ノ指導原理ハ、選舉ノ公正ヲ確保シテ、宿弊ヲ免除セントスルモノニアリマスルコトハ、屢、説明セラレタル通りデゴザイマス、次ニ投票ハ候補者ニ對シテ爲スモノデアリマスケレドモ、個人主義トハ別問題デアルト考ヘマス、政府ハ選舉ノ現狀ヲ認識致シ、確信ヲ以テ本案ヲ提出致スモノデアリマス、私ヨリハ是ダケノコトヲ御答致シテ置キマス

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此選舉法ノ法規ニ付キマシテ、或ハ個人主義、又依存主義デドウ斯ウト云フコトデアリマシタガ、斯ノ如キコトヲ織込ムト云フコトハ、頗ル困難ニ考ヘマス、唯私等ノ主トシマスルコトハ、選舉ニ付テハ自由公正ヲシテ、國民ノ總意ヲ代表スルヤウナ途ニ成タケ向ケタイト云フコトヲ、大方針トシテ努力致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ如何ニモ此重大ナル選舉法ヲ、三分ノ二、時ヲ經タ今日出スト云フコトハ、甚ダドウモ熱心ガ足ラヌト云フ御答メノヤウデアリマシタガ、政府ト致シマシテハ相當盡力モ致シ、

急ギモシ、又此位ナコトナラバ是ハ行ヘルデアラウカ、或ハ是ハ餘リ強過ギテイケマデアラウカドウカト云フ如キコトノ實效ニ始終考ヲ用ヒマシテ、サウシテ色々苦心ヲ致シマシタ、遂ニ今日ニ及ンダコトハ、或ハ諸君ニ於テモ一部ノ御方ハ御承知ニナテ居ルカトモ存ジマスガ、何シロ今日ニナリマシタト云フコトハ、決シテ早イトハ存ジマセヌ、今少シ早カクテラ應宜カクテラウト思ヒマスケレドモ、餘儀ナイコトデ今日出シタ次第デゴザイマス、之ヲ御答申上ゲテ置キマス

(國務大臣小山松吉君登壇)

○國務大臣(小山松吉君) 須之内君ノ、私ノ所管事務ニ關シテノ御質疑ニ御答致シマス、連坐制ノ規定ニ付テ續々御述ニナリマシタガ、是ハ前同ノ選舉法改正案ノ特別委員會ニ於テ須之内君ト私ト大分質疑應答ヲ重ネタ事柄デゴザイマシテ、詳細ハ何レト別委員會デ申上ゲタイノデアリマスガ、御尋ガアリマシタカラ、要點ヲ申上ゲテ置キマスガ、他人ノシタ事ニ付テ責任ヲ負フノハ不當デアリト云フ御見解カラ出發シテ、只今ノ御質疑デゴザイマシタ、是ハ私ハ前同モ、理由ヲ申セバ公益上ノ理由デアアル、ソレハ正義ナリヤ否ヤト云フ御言葉ガアリマシタ際モ、是ハ社會正義ト云フ言葉ヲ以テ御答ガ出來ルト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマスガ、此連坐制ハ、御引用ニナリマシタ治安維持法デ罰セラレタ、其刑罰ガ一審ニ止マルト云フ原則トノ關係ニ於テ

ハ、法律上違フノデアリマス、是ハ當選ヲ失フダケノコトデアリマシテ、専門ノ言葉デ申シマスルト、制裁デハアリマスルガ、刑罰デハナイノデアリマス、モウイツ須之内君ハ、個人主義ノコトヲ御述ニナリマス際ニ、權利主義ヨリ段々義務主義ノ方ニ移テ行クノガ近頃ノ法理ノ状態デアルト云フヤウナ御言葉ガゴザイマシタガ、詰リ此連坐制ノ規定ハ、近頃論ゼラレテ居リマスル無過失賠償ト同ジ性質ノモノニ屬シテ居ルノデアリマス、詳細ハ何レ委員會デ申上ゲタイト思ヒマス、第八十四條ノ第二項、此點ニ付キマシテハ、是ハ私共ハ檢事ガ公訴ニ附帶シテ訴訟ヲスルコトハ不當デナイト思、テ居ルノデアリマス、其次ハ選舉法ノ如キ法律ノ輕視セラレル原因如何ト云フ御言葉デアリマス、前段ニ御述ニナリマシタ御議論ハ、是ハ同感デアリマス、御意見ノ通りデアリマスガ、要スルニ從來ノ取締ガ公平ナラザリシガ爲ニ、檢學セラレタモノハ運ガ惡イト云フ感ガアリマス、運ガ惡イト云フ考ガアリマス爲ニ、免レテ恥ナシト云フ人モアリマスシ、一向選舉違反ト云フモノヲ罪惡ト思ハナイノデアリマス、政府ト致シマシテハ、此觀念ヲ除キマスルガ爲ニ、十分ニ各方面ノ選舉肅正ノ事柄、或ハ必要ナル委員會ヲ設ケマスルト云フコト、色々ナル設備ヲ致シマシテ、罰則ヲ改正スルト云フコト、併セテ、輕視セラル、原因ヲ除キタイト思、テ居ルノデアリマス

○須之内品吉君 簡單デゴザイマスカラ此

席カラテ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○副議長(植原悦二郎君) 御許シ致シマス

○須之内品吉君 只今御答辯ニナリマシタ各大臣ノ御答辯ハ、大體全部承認デアリマス、不満足デアリマス、私ハ承認ガ出來ヌ事ガ澤山アリマス、例ヘバ是ハ刑罰デナイ、制裁デアルト言ハレルガ、ソナコトハ知ッテ居マス、是ハ刑罰ト名ツケ、制裁ト名ツケル位ノ區別ハ、不肖私モ知ッテ居リマス、知ッテ居リマスガ、アナタハ選舉ヲセラレヌカラ御存ジガナカラウガ、衆議院議員候補者ニ立テ、御國ノ爲ニ盡サウトシテ、財産モ、生命マデモ捧ゲテ戰、テ贏チ得タ地位ヲ、己ノ承知シテ居ナイコトデ剝奪サレルト云フコトハ、名前ガ制裁デアラウガ何デアラウガ、此位酷イ刑罰ハアリマセヌ(拍手)何レ委員會ニ於テ私ハ意見ヲ申述ベタイト思ヒマスカラ、是デ打切りマ

○副議長(植原悦二郎君) 武富濟君

(武富濟君登壇)

○武富濟君 私ハ總理大臣、内務大臣、司法大臣等ニ簡單ニ質問ヲ致シタイト考ヘマス、政府提案ノ理由ヲ見マスルノニ、時運ノ趨勢ニ鑑ミ、社會ノ實情ニ徴シテ、選舉法ヲ改正スルノデアアル、斯ウ申サレテ居リマスガ、此改正案ニ依ッテハ、其目的ガ達成サレナイノデアナイカト疑ハレマス、改正案ハ大體左ノ四點ニ骨子ガ分タレテ居ルヤウデアリマス、選舉ノ公營ト、費用ノ輕減、選舉運動ニ對スル制限、刑罰ノ嚴加ト

連座範圍ノ擴張、及ビ選舉權被選舉權ニ對スル缺點期間ノ延長、斯様ニ相成テ居リマス、此選舉公營ナリ、費用ノ制限ナリ、缺點期間ノ延長ナリ、ソレ自身ハ固ヨリ強ヒテ反對スベキデハアリマセケレドモ、其過不足ノ程度ト云フモノガ、宜シキニ適ヒマセケレバ、弊害百出致シマシテ、所期ノ目的ヲ達成スルコトガ至難デアル、又是等ノ事柄ノミニ依テ、選舉ノ自由ト公正ガ期セラレモノトシテ居ラル、ナラバ、大ニ誤リデアラウト考ヘマス、此改正案ハ徒ニ消極ニ墮シテ、積極的ニ改正ノ舉ニ出テ居ラレナイ、新味ガナイ、新鮮ナル味ヒヲ持テ居ラヌ、又正義ノ觀念ガ織込マレテ居ラヌ、此新味ト正義觀ニ缺ケテ居ルト云フコトガ、大ナル缺點デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

ソコデ私ノ質問ハ大體五項目ニ相成リマス、第一ハ何故ニ選舉ノ自由公正ヲ企圖スルノデアッタナラバ、嚴罰主義ノミニ依ラントシタノデアルカ、其外ニ根本對策ヲ講ズルノ意思ガアルノカ、根本對策ヲ持合セガアルノカ、將來如何ナル政策ヲ執ラントスルノデアルカ、第二ハ、何故ニ比例代表制ヲ採用スルト共ニ、選舉區ヲ擴張スルノ勇斷ニ出デラレナカッタノデアルカ、第三ハ、選舉權ト被選舉權ノ擴張ヲ爲スコトヲ、何ガ故ニ試ミナカッタノデアルカ、第四ハ、選舉公營ノ徹底ヲ期セザリシ理由ハ何處ニ在ルノカ、第五ハ、更ニ進ンデ選舉費公表ノ制度ヲ採用スル勇氣ノ無カッタノハ、ドウ云

フ譯デアアルカ、此五點ニ歸著スルノデアリマス  
質問ノ便宜上、其順序ヲ顛倒致シマシテ、第一ニハ、比例代表ト選舉區ノ擴張ノ問題ニ付テ御尋ラシタイ、今日世界ノ通説ト致シマシテハ、多ク比例代表制ヲ可ナリトシテ居ル、大選舉區制ヲ可ナリトシテ居ルヤウデアリマス、無論多少ノ弊害ノ伴フモノハアリマセウケレドモ、大體ガ比例代表制、大選舉區主義、是ガ世界ノ通説トシテ、先ヅ肯定セラレテ居ル所デアアルヤウデアリマス、比例代表ハ共同動作ヲ可能ナラシムル、費用ノ制限ヲスル、選舉權ノ平等性ヲ維持スル、一票一價ノ理想ヲ實現スル、死票ヲ防止スル、之ニ依テ政黨政治ノ發達ヲ期スルコトガ出來ルトセラレテ居リマス、總理大臣モ、内務當局モ、屢々比例代表制ハ實現シタイモノデアルト云フ意味ヲ公ノ席上ニ於テ、又私的ニ御漏シニナッテ居ル事實ヲ、何ト今日ハ御覽ニナッテ居ルノデアリマスカ、議會振肅委員會ニ於テモ、亦之ヲ採用致シタノデアリマス、正ニ是ハ國民多數ノ要望デアリマシテ、即チ比例代表制ハ、政府ノ所謂今日ノ時勢ノ進運ニ鑑ムレバ、當然採ラナケレバナラス所ノ制度デアルト私共ハ考ヘル、只今内務大臣ハ、法制審議會ニ於テ遂ニ其答申ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアアルカラ、出シタイトハ思ウタガ、遂ニ提案ノ運ビニ至ラナカッタト云フ御精明デアリマシタケレドモ、ソレハ法制審議會單純ノ責任トハ

申サレマスマイ、齋藤内閣ニ二分ノ熱意ガアリ、指導的精神ガアテ、熱心ニ之ニ臨ンダナラバ、法制審議會ト雖モ必ズヤ動カサレテ、其實現ヲ見タデアリマセウ、此重要法案ガ提案サレマスノニ、此議場ノ寂々寥々トシテ、情氣滿々タル有様ハ、一體ドウ關係ハ思召ス、アナタ方ノ熱意ガ足ラナクテ、生命ヲ打込ンダ提案ラシテ出デニナラヌト云フ反映ガ、議場情氣滿々トナツテ現ハレテ居ルト御氣ガ付カナケレバナラヌ(拍手)  
第二點ハ、選舉權被選舉權ノ擴張ニ付テ、アリマス、年齢低下ヲナサルノ御意見ハナイカ、選舉權ヲ二十五歳ヲ二十歳ニサレ、被選舉權三十歳ヲ二十五歳ニ低下スルノ態度ヲ何故御採リニナラナカッタカ、一體日本ノ政治界ニハ老人ガ少ク、踰慮シ過ギマス、モウ少シ政治界ニ青年ヲ開放シテ、新進氣鋭ノ意氣ト云フモノヲ注入スル方ガ宜カラウカト考ヘル(拍手)此意味ニ於テハ先以テ選舉界ノ革新ヲ圖ルト云フ立場カラ、滿二十歳以上ノ者ニハ選舉權ヲ與ヘ、二十五歳以上ノ者ニハ被選舉權ヲ與ヘル位ノ勇斷ガナクテハ適ハヌデアラウト考ヘマス(拍手)又政府ハ婦人參政權問題ニ付テ、如何様ナ御意見ガ御有リデアリマセウカ、序ナガラ伺ッテ置キタイ、第六條ノ破産者、貧困者並ニ刑餘者ニ對シテ、選舉權ヲ與ヘルノ勇氣ガアルカナイカ、抑、萬機公論ニ決スルト云フコトハ、明治維新改革ノ大精神デアリマシテ、帝國憲法ノ大原則デアアル、國民ニ廣ク大キク權利ト自由ヲ與ヘル國ハ必

ズ榮エテ居リマス、之ヲ奪ッテ、國民ヲ壓迫シテ居ル國ハ、必ズ衰ウルニ非ザレバ、滅ビテ居リマス、股艦遠カラズ隣國ノ露西亞、支那ノ現狀ヲ御覽下サレバ、思ヒ半バニ過ギルモノガアルニ相違ナイ、一體選舉權ナリ被選舉權ト云フモノハ、成ベク廣ク、大膽ニ與ヘテ宜イデアリマセウカ、之ヲ吝ム必要ハ一ツモナイ、過激思想ノ緩和トモナリマスシ、舉國一致ノ實モ舉リマスシ、國民總動員ト云ヘル思想ニ拍車ヲ掛ケルコトニモナリマスシ、百利アテ一害ナイト思フ、立憲政治ノ運用ハ、成ベク多數ノ國民ヲシテ國政ニ參與セシムル、國民ノ意思ヲ聽イテ政務ノ進展ヲ期スル、所謂民意ノ暢達ヲ圖リ、國民ノ總意ヲ議場ニ反映セシムル、多數ノ輿論ニ從ッテ、多數政治ヲ行フ、一君萬民ノ政ノ理想ハ、斯ノ如クニシテ行ハレルモノト吾々ハ考ヘテ居ル、ソコデアリマスカラ、普通選舉ハ結局立憲政治ノ歸結デアリマシテ、政治上ノ動向ハ、少數政治ヨリ多數政治ヘ、即チ國民平等ノ原則ヘ向ッテ、日ニ月ニ一歩々々進ミツ、アルト云フノガ現狀デアリマス、米國ノ有權者率ハ、百分ノ四十二ト云フ、英國ハ四九%、獨逸ハ六〇%、即チ四二%乃至六〇%デアアル、諸外國ニ比較シマシテ日本ハ獨リ二五%以下ノ少數デアルト云フコトハ、多數政治實現ヘ餘程ノ距離ガアルト申サナケレバナラヌ、現内閣ハ一體政治改革ノ勇斷ヲ御持チニナラヌノデアリマセウカ、今日社會ノ要望ハ選舉權ノ擴張ヲ切望シテ

居ル、即ち政府ノ所謂社會ノ實狀ニ徴スルナラバ、選舉權モ當ニ擴張スベキデアルト信ジマスルガ、御意見ハドウアリマスカ、我國ノ選舉ハ名ハ普通選舉デアリマスケレドモ、其實際ハ制限選舉ノ域ヲ脱シテ居リマセヌ、歐米ノソレニ比較シテ明白顯著ナル事實デアリマス、吾等ハ大ニ之ヲ擴張シテ然ルベシトノ意見ヲ持テ居リマスカ、政府ノ見ル所ハ果シテドウデゴザイマスルカ伺ヒタイ

第三點ハ、選舉ノ公營ニ關シテ、アリマス、選舉ノ公營ノ議モ久シイモノデアリマスガ、幸ニシテ齋藤内閣ニ依テ其實現方アルト喜ンデ、條文ヲ開イテ見テ甚ダ落膽ニ堪ヘザルモノガアル、唯僅ニ演說會場ノ公營、選舉公報ノ公營、此二ツノミデアル、鳴物入りノ選舉公營ガ、頗ル貧弱ナル結果ニナツテ居ルコトニ驚カザルヲ得マセヌ、現行法ニ唯僅ニ一步ヲ進メタノミ、頗ル消極的デアツテ、甚ダ微温的デアルト申サナケレバナラス、政界百弊ノ根源ハ、選舉ニ多大ナル金ヲ要スルコトダトハ、犬養老首相ノ言葉ヲ俟ツマデモナイ、選舉ニ金ガ掛カリ過ギルト云フコトガ、正ニ政界百弊ノ根源デアルノデアリマス、ソコデ其選舉費用ノ輕減ヲ圖ル方法ヲ考ヘナケレバナラス、選舉公營ノ徹底ノ實行ハ、即チ其唯一無二ノ方法デアリマセヌカ、現行郵便物ノ一回ニ限テノ無料配達ヲ、一回ナリ三回ナリニ擴張スルト云フ御意思ハ御有リニナリマセヌカ、或ハ又所ニ依テハ、選舉場マデ車馬

賃ヲ要シ、一日二日ノ時間ヲ要スルヤウナ選舉民ニ對シテハ、相當ノ旅費ナリ、日常ナリヲ給スルト云フ程ノ勇斷的ノ改正ヲ爲スノ御考ガアルカナイカ、齋藤政務次官ハ選舉公營ト云フコトハ、言フベクシテ行ハレヌコトデ、中々ムツカシイコトダト頻ニ平素申サレテ居リマスルガ、ソレハ至難デアリマセウ、困難ナ仕事ニ相違ナイ、困難デアルカラヤラヌト云フノハ卑性デス、幸ニシテ協力聯立内閣、多士濟々ノ此内閣ニ於テ、選舉公營ノ方法ノ發見サヘ出來ナイト云フノデアツテハ、無力デアリ、微力デアルト申サナケレバナラス、十分ニ御研究ノ上提案セラルベキデアツタト考ヘテ居リマスルガ、其事ノナカ、タノヲ遺憾ト致シマスル、此様ナ微温的ナ公營デアリマシテハ、舊態依然トシテ金ハ幾ラデモ掛リマセウ、到底僅ノ費用デ選舉ノ實行ヲスルト云フコトハ困難ト考ヘマス

第四點ハ、選舉費用ノ公表ノ件デアリマス、聞ク所ニ依レバ、法制審議會ニ於テハ費用清算會ノ制度ヲ採用セラレタト云フコトデアリマス、費用清算會ナルモノガ設立セラレテ、實行セラレルコトニナリマシタナラバ、隱シ立ノ費用ト云フモノガナイコトニナリマスルカラ、餘程選舉費用ハ輕減サレデアラウト思ヒマス、斯ウ云フ制ヲ御採リニナル御考ハアルカナイカ、積極的ニ進ンデ選舉公營ノ徹底ヲナサラナカタナラバ、如何ニ法律ヲ改正シテ、ドノヤウニ首相、内務大臣並ニ司法

大臣ガ奮勵努力サレマシテモ、法律ニ規定セラレタル僅ニ六千圓ノ金ヲ以テ、選舉ガ理想的ニ行ハレルナド、云フコトハ絕對ニアリ得マセヌ、眼前ノ事實ガ之ヲ立證シテ居リマス、只今ノ法律ハ、一万二千圓ノ範圍内ニ於テ選舉運動ヲ爲スベシトアル、形式的ニ其報告ガ出テ居ル、併ナガラ吾モ人モ之ヲ信用スルモノガナイガ、眼前ノ事實デアリマス、一万二千圓ノ範圍ニ於テ、首尾能ク當選シ得ル所ノ代議士ハ、四百六十六名中殆ド指ヲ屈スルニ足ラスト私ハ考ヘテ居ル、思フニ今回ノ改正案ハ與フベキモノヲ與ヘナイ、行フベキモノヲ行フテ居ラヌ、一ツモ積極的ノ改正ニハ出テ居ラス、唯消極的ニ取締ヲ嚴重ニスル、刑罰ヲ重クスル、選舉運動ヲ制限スル、之ニ依テ、テノミ選舉ノ自由ト公正ガ保タレルト御考ニナルノデアルナラバ、甚シキ錯覺デアリマス、行ハレルモノデアルト信ジナイケレドモ、表向ハ斯様ニシテ形式ヲ整ヘタト云フノナラバ、立法ノ仕事ヲ以テ國民ヲ欺カントスルノ不徳行爲デアリマス、一體嚴刑酷罰主義ナルモノハ、刑名學徒ノ謬論デアリマシテ、現代ノ明ルイ政治家ノ執ルベキ手段方法ヂヤアリマセヌ(拍手)斯ノ如キハ政治思想ノ萎靡沈滯ヲ招來スルニ非ザレバ、地下潛行ノ犯罪ヲ増加セシムルノ弊害ガアルノミト言ハナケレバナリマセヌ

則ニ墮落セシメタト云フ結論ノ外ニ、何モノナイヂヤアリマセヌカ(ヒヤ)「拍手」今數百歩ヲ讓リマシテ、改正案ヲ是認スルト致シマセウカ、之ヲ是認スルト致シマシテモ、是ト同時ニ竝ビ行フベキ所ノ對策ト云フモノガ政府ニアルノデアリマスカ、一片ノ選舉法取締規則ヲ「バイブル」トシ「論語」トシテ國民ニ振髻シテ、政治道德ハ之ニ依テ維持サレルトスル、斯ノ如キハ甚ダ迂愚極マツタ態度デアリマスノデ、法ハ法トシテ、是ト竝ビ行フベキ所ノ根本對策ガナケレバナラス、アレバ承リタイノデアリマス

教化施設ハ、現ニ如何様ニシテ御出デニナル、政治教育、公民教育ノ現狀ハドウナ、テ居リマスカ、將來ハ如何様ニナサルノデアリマスカ、學校ニ於ケル此當該教育ハ如何様ニ行ハレテ居ルデアリマセウカ、鳩山文部大臣ガ御出デニナリマセヌカラ伺フコトガ出來マセヌガ、此根本的政治道德ノ振作ト云フコト、憲法思想ノ普及ト云フコトニ對スル施設對策ハ、殆ド見ルベキモノガナイ現狀ニ於テ、唯一片ノ改正案ノミヲ以テ、日本ノ選舉界ニ臨ミマシテモ、目的ノ達成ハ甚ダ困難デアルト吾々ハ信ジテ居ル(ヒヤ)「法律ノ制定ナドハ抑、末デス、況ヤ改正ノ如キハ末梢的ノ問題デアツテ、根本ニ觸レテ居ラス、本ヲ忘レテ末ニ走テ居、テ何ガ出來マス(拍手)」一體閣員諸公ハ身ヲ以テ國民ヲ率ヒルト云フ概ガアルノデアリマスカ、自ラ範ヲ天下ニ垂レテ、

屬ノ大典デアルニ拘ラズ、選舉ヲ取締ル罰

屬ノ大典デアルニ拘ラズ、選舉ヲ取締ル罰

政界革新ノ先驅者トナルノ自信ガアルト仰シヤルノデスカ、今綱紀ノ頹廢ト云フ事實ハアリマセヌカ、綱紀ノ弛廢ノ事ガナイカ、清節ヲ疑ハレル者ガ閣員ノ中ニナイノカ、明鏡ハ時ニ曇リ、止水ハ或ハ時ニ濁ル、斯様ナル閣員ヲ有テ居ル内閣ニ於テ、政界ノ革新、政界ノ淨化、口ハ甚ダ綺麗デアリマスケレドモ、其實行力ノ乏シキコトヲ疑ハザルヲ得マセヌ(拍手)先ヅ嚴罰主義ノ法律ヲ以テ國民ニ御向ヒニナル前ニ、自ラ願ミル所アツテ然ルベシト存ズルノデアリマス(拍手)取締ヲ嚴重ニスル、惡クハナイデアリマセウ(「民政黨拍手シロ」ト呼フ者アリ)併ナガラ自ラ此制限ニモ一定ノ限度ガアリマセウ、濫リニ民衆ノ選舉運動ヲ拘束シテハ相成ラス、自由ニ政治運動ヲ行ハシテ宜シイ、大膽ニ意見ヲ發表サシテ然ルベシデス、斯ノ如クニシテ政治思想ハ向上スル、政治界ハ發達スル、國家ハ進歩スル、國民ハ幸福ト利益ヲ得ルコトガ出來マセウ、所ガ此改正案ハ、唯取締ノミニ重キヲ置キ、如何ニモ「フアッシュ」派、專制政治家、武斷派ニ大歡迎ヲサレサウナ選舉法デアリマス、時代錯誤デアルト私ハ思フ、連坐範圍ノ擴張、是ハ行爲ノ無イ所ニ制裁ヲ與ヘ、惡意ノナイ人間ヲ罰スル結果ニナリ、干涉彈壓ニ良キ辭柄ヲ與ヘル惡法デアルト言ハナケレバナラス、七箇所ノ事務所ヲ一箇所ニスル、五十人ノ選舉員ヲ二十人ニ減ズル、第三者ノ自由ナル演説又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ハ禁止スル、推薦届出者ノ無料郵便

ノ發送ハ禁止スルト云フガ如キハ、何レモ法律上ノ觀念ニ悖リ、或ハ選舉運動ノ本質ヲ忘レテ居ル、斯ル選舉運動ニ必要ナル設備ト運動者ト云フモノニ、極端ナル制限ト制裁ヲ加ヘテ置キナガラ、斯ノ如クニ選舉運動ノ範圍ヲ狭メテ置キナガラ、而モ自由公正ニ選舉ヲ行ヘト仰シヤルノハ、國民ニ不能ヲ強ユルモノデアアル、檻ノ中ノ虎ニ向テ跳ベト言ヒ、繫イデ居ル馬ニ向テ走レト言フト一般デアリマセヌカ、言フベクシテ出來ヌコトデス、先ヅ自由ヲ與ヘ、活動ヲ盛ナラシメテ、而モ之ニ臨ムニ法律ノ制裁ヲ以テシ、其背後デ立派ナ根本對策ヲ標テ、而シテ選舉ヲ自由ニ公正ニト云フコトデアツテ、始テ齋藤内閣ノ希望ガ達セラレルノデアルト私ハ思フ、斯ノ如キハ實ニ自由公正ヲロニシナガラ、不自由、不公正ニ吾々政治關係ノ人々ヲ墮落セシムルモノデアリマス、政治運動ヲ開放スル所ニ始テ立憲政治ノ大原則ガ存シテ居ルノデアルト云フコトヲ、御忘レニナツテハ相成ルマイト考ヘマス

抑、齋藤内閣ノ使命ハ、政界淨化ノ實現ト、政治不安ノ解消トヲ期スルニアツタノデアリマシテ、是ハ組閣當初ニ於テ、首相親シク御聲明ニ相成ツタデアリマス、實ハ選舉法ノ改正ハ此内閣ノ一枚看板、其外ニ何モノモナイノデアリマス、然ラバ齋藤内閣ハ頗ル積極的ニ、大膽ニ、自由奔放ニ、政治改革ヲ斷行スル所ノ義務ガアル、其氣概ガナケレバナラス、政治家ハ百年ノ大計ヲ定ムベシト申シマスガ、百年ガ難カシイトスルナラバ、五年、十年、ソレモ分ラヌトスルナラバ、現在——目下ノ自分ノ足下ノ社會ノ情勢ダケハ、十分ニ認識スルダケノ義務ガアリマス(拍手)時運ノ趨勢ニ鑑ミ、社會ノ實情ニ徴スルト仰シヤル以上ハ、選舉權、被選舉權ノ擴張ノ如キ、公營ノ徹底ノ如キハ、正義ニ合スルモノトシテ御採用ニ相成ルベキ管デアアル、比例代表、選舉區ノ擴張、費用ノ公開ノ如キハ、新鮮味ヲ盛ツタ所ノ制度トシテ御採用相成ルベキ管デアリマス、是等ハ正ニ實行ヲ要スル所ノ必要喫緊ナル政治工作デアルト申サナケレバナラス、此必要ナル政治改革ヲ爲サラナイノハ、政治上ノ怠慢デアリマス、怠慢ハ政治家ニ許サルベキ態度デハナイ、何ガ故ニ一體必要ナル政治改革ノ勇氣ガ御有リニナラヌノデアリマスカ、何ガ故ニ政治改革ヲ爲サルコトヲ恐怖シテ居ラレルノデアリマスカ(「軍人ガ怖イ」ト呼フ者アリ)我ニ政治改革ノ勇氣モアル、之ヲ恐レテ居ルノデハナイト云フノデアラナラバ、何ガ故ニ樞密院ノ一職ニ連テ、ヘタヘト腰ヲ抜カシテ、彼等ノ軍門ニ降伏ヲ乞フタノデアリマスカ、彼等ハ老朽ニシテ實際ノ事理ヲ解シナイ人ガ多イヤウデアリマス、社會ノ實情ヲ知ラス、吾々ノ政治活動ノ何モノデアアルカヲ知ラス、徒ニ机上ニ空論ヲ弄シテ、比例代表制度デモ探レバ政黨ガ濫リニ勢力ヲ得テ、國家ノ爲ニ相成ラヌトデモ錯覺ヲ起シテ居ルノデアリマセヌカ、一體樞密院ハ政治的ノ

前科者デヤアリマセヌカ、此議場ニ於テ、汝ハ濫リニ政治ニ干與シタト云フ故ヲ以テ、吾等ノ一撃ヲ喰フテ、恥ヲ天下ニ曝シタ老朽ノ集團デヤアリマセヌカ(笑聲)此樞密院ニ向ツテ、何ヲ恐レテ腰ヲ屈スルノデス、宜シク諸公ハ勇氣ヲ以テ、樞密院ノ衆首ヲ説得シテ、其迷妄ヲ解クベキデアアル、此膝一タビ屈スレバ復タ伸ビズ、齋藤内閣ハ完全ニ樞密院ニ鼎ノ輕重ヲ問ハレタリト言ハナケレバナラス(拍手)若シ衆議院ニ於テ、此改正案ニ修正ノ意見ガ出マシテ、比例代表ヲ採用スベシト云フコトノ議ガ通過セントスルナラバ、一體御贊成ニナルノデアリマスカ、反對ニナルノデアリマスカ、明確ニ此點ヲ參考ノ爲ニ伺ヒ置キタイノデアリマス、一體政治改革ヲ企圖スルノ理想ト信念ヲ閉却シテ居リマス所ノ改正案ノ如キハ、甚ダ權威ガ乏シイ、御座成リノ法案デアツテ、首相ガ曩ニ議場ニ於テ御與ヘニナツタ所ノ言葉ノ建前ヨリ、已ムヲ得ズ御提案ニナツタモノデハナイカトサヘ想像ヲ致スノデアリマス(「ノー」)「新シキ生命ガナイ、正義觀ガ打込マレテナイ、生命ガ躍動シテ居ラス、正義ガナイ(「モウ止メ」ト呼フ者アリ、笑聲)首相ハ曾テ本院ニ於テ、眞面目ナル國民ノ胸底ニ湧起リツ、アル所ノ政界革新ノ要望ニ副ハンガ爲ニ、十分ノ熱意ト誠實ハ持ツテ居ルト仰セニナツタ、一體此改正案ノ、何處ニ其様ナ熱意ト誠實ノ認ムベキモノガアリマセウ、今ヤ社會ノ一部デハ、憲法政治ヲ呪ウテ居ル者ガアル、

議會政治ヲ顧覆セントシテ居ル者ガアル、憲法ヲ否認セントシテ居ル者ガアル、色々ノ勢力ト團體ト云フモノガアリマシテ、容易ナラザル政治的ノ危機デアルト吾々ハ承知ヲシテ居ル、正ニ政治的ノ非常時チヤアリマセヌカ、國民ハ所謂胸底ヨリ湧起リツ、アル所ノ時局打開ノ熱望ニ燃エテ居ルノデアリマス、内閣ノ誠實誠意ノ發露ヲ、極メテ切實ニ歡迎致サントシテ居ルノデアリマス、此秋ニ方ッテ、斯ノ如キ提案ノ出タルコトハ甚ダ遺憾デアルト申サナケレバナリマセヌ

質問ヲ要約致シマス、取締ヲ嚴ニシテ、

選舉運動ニ制限ヲ加ヘタルノ改正案デ、選舉ノ自由ト公正ガ保タル、カ、他ニ同時ニ並行スベキ所ノ根本對策アリヤ否ヤ、比例代表ト選舉區ノ擴張ヲナサヌ理由果シテ如何、衆議院ニ修正案ガ出タル場合ニハ、御同意ナサルカ、ナサラスカ、選舉權、被選舉權ノ擴張ヲ爲サレザリシ理由如何、何ガ故ニ選舉公營ノ徹底ヲ圖ラレザリシカ、選舉費用公表ニ對スル御意見如何、明瞭ナル御答辯ヲ煩シマス(拍手)

(國務大臣子爵齋藤實君登壇)

○國務大臣(子爵齋藤實君) 改正案ニ對シマスル大體ノ點ニ付キマシテハ、先刻來私ガ御答致シマシタ所、大概御諒承ニナッテ居ルト思ヒマス、今般提出シマシタ改正案ノ外ニ、何等施設モ考モノイト云フヤウナコトデアリマシタガ、決シテサウデアアリマセヌ、根本策トシマシテハ、此改正案ノ外

ニ政府ニ於キマシテハ常ニ政治教育、公民教育ノ事ニ努力致シテ居ルノデアリマス、又政府ノ管下デアアリマセヌデモ、政府ヨリ補助ヲ與ヘテ居リマスル所ノ教化團體ノ如キ、選舉ノコトニ付キマシテハ、極力努力致シテ居リマス、殊ニ總選舉ノ場合等ニ際シマシテハ、實際ニ於テ種々ナル運動ヲ致シテ居リマス、是ガ即チ政府トシテ今日マデ執テ居ル所デアリマス、御認メ下サラヌノハ甚ダ遺憾ニ存ジマスルケレドモ、此段ヲ御斷リシテ置キマス、後ノ問題ニ付キマシテハ、他ノ大臣ヨリ御答致スコトニ致シマス(拍手)

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 只今御質問ノ二三ヲ御答致シマス、此改正案ハ、如何ニモ嚴罰主義デアッテ、自由公正ヲ保タナクテ

(副議長退席、議長著席)

一方バカリニ偏シテ居ルト云フコトデゴザイマスルガ、成程嚴罰ト云フコトカラ申シマス、サウ云フ御議論モ出ルカモ知レマセヌガ、法律ノ上ニ於テ人ノ意思ヲ制スルト云フコト、ドウモ違反シタラバ斯ウ、背イタラズト云フコトヲ、法律ノ上デ以テ制シマスルヨリ外ニ、餘程難カシイコト、思ヒマス、是ガ何カ道徳上、教育上ニ於テ、自ラ一向サウ云フ罰則ヲ設ケヌデモ行ヘルコトナラバ、ソレハ洵ニ結構デゴザイマスルガ、今日ノ實況カラ考ヘマス、餘儀

ナク嚴罰主義ニ依ッテ、法ニ背イタナラバ斯

ノ如クスルト云フヨリ外ニ、ドウモ近イ道ハナイカト思ッテ居リマス、固ヨリ他ノ教育上ナドニ付テハ、モウ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、選舉權ヲ擴張シテ、年齢ヲ低下スル意思ガナイカ、二十五歳、選舉權、被選舉權、共ニ其處マデ擴張シナイカト云フコトデアリマス、又女子ニ選舉權ヲ與ヘルト云フヤウナコト、又破産者トカ貧乏人デ人ノ助ヲ得テ居ルト云フ如キ者、斯ウ云フ者マデモ選舉權ヲ與ヘルダケノ意思ガナイカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ年齢ノ低下ニシマシテモ、亦女子ニ參政權ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテモ、亦貧乏人ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付キマシテモ、何レモマダ尙ホ早シト思ッテ居ル次第デアリマスルカラシテ、ソレニハ同意致シマセヌ、ソレカラ選舉ノ比例代表ヲ、色々ノ事情ニ依ッテ、政府ハセント欲シテ、遂ニ或ル勢力ニ依ッテ之ヲ實行シナカッタガ、衆議院ニ於テ若シ出シタラ、政府ハ同意スルヤ否ヤト云フコトノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ政府ニ於キマシテモ、色々内外ノ事情ヲ測リマシテ、遂ニマダ今日之ヲ實行スル時ニ非ズト判斷シタノデゴザイマスルカラシテ、此事ハ假令入ッテモ、政府ハ御同意ハ出來マセヌ、是ダケ御答致シマス(拍手)

(國務大臣小山松吉君登壇)

○國務大臣(小山松吉君) 武富君ノ御質疑ノ私ノ所管事務ニ關スル點ヲ御答致シマスガ、此改正案ハ嚴罰主義ノミヲ採ッテ居ッテ、

外ニ何モノヤウデアアル、之ニ依ッテ自由公正ヲ保持スルコトガ出來ルカト云フ御趣意ノヤウデアリマスガ、先刻來申上ゲマシタヤウニ、唯嚴罰主義ノミデハナイノデアリマシテ、選舉法ノ今度改正ヲ致シマス事項ガ、要スルニ選舉ノ自由公正ヲ保持スルニ必要ナル事項ヲ多ク學ゲテアルノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○議長(秋田清君) 武富君宜シウゴザイマスカ——三上英雄君

(三上英雄君登壇)

○三上英雄君 私ハ質問セントスル所ノ大部分ヲ、先ノ質問者ニ依ッテ盡サレタル觀ガアリマスノデ、極メテ簡單ニ御質問申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ私ハ保證供託金ノ還付制度ノ缺陷ニ付テ、一言御尋致シタイノデアリマス、元來立候補ニ付テ供託致マス保證金ノ制度ハ、選舉權、被選舉權ノ擴張ヲ本旨トスル普通選舉ノ根本精神ニ鑑ミマシテ、特ニ其金額ニ付キ議論ノ存スル所デアリマス、私ハ茲ニ保證金制度ノ根本趣旨ニ付テ質問スルノデアリマセヌガ、其供託物ノ取下ニ關スル缺陷ト云フモノガ、延イテ普選法ノ下ニ於ケル保證金制度竝ニ其金額ノ妥當性ニ付テ、大ナル影響ヲ有スル問題デアリマスガ故ニ、茲ニ當局ノ所見ヲ聽カント欲スル者デアリマス

衆議院議員選舉法ノ第九章ニハ「訴訟」ト題シテアリマシテ、選舉ニ關スル訴訟ノ規定ヲシテ居リマス、即チ選舉訴訟、當選訴訟ノ場合、此場合ニ於キマシテ、訴訟ガ

起サレタ場合ニ於テハ、其部ノ立候補者ハ  
當選シタルト落選シタルトヲ問ハズ、又其  
訴訟ノ當事者ト否トヲ問ハズ、更ニ訴訟ノ  
結果ニ何等ノ關係ナキ候補者タルト否トヲ  
問ハズ、總テ衆議院議員選舉法ノ施行令ノ  
第五十一條ニ依リマシテ、全部ノ候補者ガ  
判決確定スル迄ハ、其保證金ヲ取下ゲルコ  
トガ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデ  
アリマス、併ナガラ凡ソ斯ノ如キ愚劣ナ  
ル、迷惑千萬ナル規定ガアルデアリマセウ  
カ、是ガ選舉當事者デアリ、或ハ選舉ノ結  
果ニ影響ヲ及ボス候補者ニ付テ、取下ゲ停  
止スルモノデアッタナラバ、マダ已ムヲ得ナ  
イノデアリマスケレドモ、斯ノ如ク廣汎ニ  
シテ且ツ不必要ナル取下停止ノ如キハ、實ニ  
不合理極マルモノデアルト信ズルノデアリ  
マス、思フニ選舉ニ關スル訴訟ニシテ一タ  
ビ提起サレルヤ、是ガ判決確定ヲ見ルマデ  
ニハ、相當ナル年月ヲ要スルノデアアル、現  
行選舉法ノ第四百十一條ニ於キマシテハ、  
選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ、裁判所ハ他ノ  
訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スベ  
シト規定シテアリマス、又本改正案ノ第百  
四十一條ノ三ニモ、全ク之ト同一ナル文旨  
ノ規定ガアルノデアリマスガ、是等ノ訴訟  
ト雖モ一年以上二年ニ及ブ訴訟ガ少ナクナ  
イト云フコトハ、諸君ノ既ニ御承知ノ通り  
デアリマス、此間總テノ候補者ハ保證金ヲ  
取下ゲルコトガ出來ナイ、萬一任期中ニ議  
會ガ解散セラレタ場合ニ於キマシテハ、保  
證金ハ供託セラレタ儘デ次ノ選舉ニ入ルノ

已ムヲ得ザルニ至リ、實ニ迷惑此上モナイ  
次第デアリマス、思フニ斯クノ如キ規定  
ハ、一ニ机上ノ議論ヨリシテ實情ヲ查察セ  
ズ、千遍一律ノ規定ヲ爲シタル結果ニ因  
ル缺陷デアリマシテ、恰モ改正民事訴訟法  
ニ於キマシテ、豫納金、保證金ノ還付手續  
ガ、非常ニ煩瑣無益ノ手数ヲ要スルコト、  
ナツテ、朝野法曹、一般民衆ノ輿論トナツテ、  
既ニ本院ニ於テハ其改正ヲ議セラレテ居ル  
ノト同様デアリマス、此保證金取下停止ノ  
如キハ、基本法タル選舉法ノ條文ノ規定デ  
ハアリマセウケレドモ、其本質ニ於キマシ  
テハ、普通選舉ノ根本精神ニ背反スル次第  
デアリマスカラ、是非トモ此機會ニ於テ改  
ムベキデアルト考ヘルノデアリマスガ、内  
務大臣ハ以テ如何トセラレマスカ、此點ニ  
付テ御答ヲ御願致シマス

是ハ餘リニ短キニ失スルノデアツテ、常ニ國  
民ノ意思ヲ議會ニ反映シテ、國政ニ參與セ  
シムルト云フ爲ニハ、會期ノ延長ヲ要望セ  
ザルヲ得ナイと思フノデアリマス  
又議院法第二十五條ニハ、議會閉會ノ場  
合ニ於テハ繼續委員會ヲ置クコトガ出來ル  
規定ガアルノデアリマス、併ナガラ是ハ議  
會中ニ發生ヲシタ或ル特定ノ議案ニ對スル  
一種ノ特別委員ニ過ギズシテ、洵ニ一小部  
分ノ機能發揮ニ止マルト解スル外ハナイノ  
デアリマス、而モ此繼續委員會ハ政府ノ要  
求、又ハ同意ヲ得ルコトヲ條件トシテ居リ  
マスルガ故ニ、此政府ノ同意又ハ要求ガ  
ナイ場合ニ於テハ、全ク其途ガ杜絶サレル  
コトニナルノデアリマス、又或ハ常設委員  
會ノ制度ヲ設ケテ、議會ノ機能發揮ニ資ス  
ル方法モアリマス、是ハ既ニ秋田議長ノ首  
唱ノ下ニ開カレテ居リマスル所ノ議會振肅  
委員會ニ於テ、其要項ノ一トシテ擧ゲラレ  
テ居ルノデアリマス、即チ之ニ依ツテ閉會中  
ト雖モ、議案ノ審査ヲシテ會期ノ不足ヲ補  
ヒ、以テ議會ノ機能擴充ニ資セラレントス  
ルモノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘマス  
ルト、議會ノ現狀ニ照シテ、少クとも常設  
委員會制度ノ設置、進シテハ補助ノ手續ヲ  
盡シテ會期延長ヲ圖リ、國民ノ期待ニ副フ  
ノ要ガアルノデアリマスルガ、政府ハ此點  
ニ就テ如何ニ御考ニナツテ居ルノデアリマ  
セウカ(拍手)

マスルケレドモ、選舉ノ結果當選ラシ、議  
員トナリタル後ニ於テ其機能ヲ發揮シ、以  
テ國民ノ信頼ニ副フコトモ政界淨化ト密接  
離ルベカラザル關係ヲ有シテ居ルト言ハナ  
ケレバナラヌノデアリマス、尙ホ斯ノ如ク  
ニ致シマシテ、一面會期ノ延長又ハ常設委  
員會ヲ設置スルト共ニ、他面議員ニ對シテ  
其生活ヲ顧慮スルコトナク、國務調査ノ爲  
ニ必要ナル費用ヲ支辨スルヲ得セシメテ、  
獻身的ニ、熱誠ニ其任務ヲ盡スコトガ出來  
ルヤウニスル爲ニ歳費、手當ノ如キヲ相當  
額マデ引上げ、支給スルノ要ナキヤ私ハ  
思フノデアリマス(拍手)惟フニ選舉ニ巨額  
ノ費用ヲ費スガ爲ニ、遂ニ財政的ニ、一身  
的ニ顧念スルノ已ムナキニ至ル、之ヲ免レ  
シメテ以テ専心職務ニ盡瘁スルヲ得セシメ  
ルト云フコトハ、政界ノ淨化ヲ圖ルガ爲ニ、  
選舉法ノ改正ト照應シテ、首尾一貫目的達  
成ノ上ニ、最も必要ナコトデアリナイカト考  
ヘル次第デアリマス、本員ハ之ヲ單ニ議員  
歳費ノ値上、若クハ手當等ノ物質的見地ヨ  
リ言フノデアリマセウ、動モスレバ選舉  
民トノ交際、地盤ノ護リニ波々タラザルヲ  
得ザルノ状態ヨリ脱却シテ、一ニ議員ガ國  
民代表トシテ國政參與ノ大任ヲ、不安ヲ顧  
慮スルコトナク、熱心ニ盡シ得ラレテ、以  
テ政界淨化ノ大目的ヲ貫徹スルヲ得ルガ爲  
ニハ、此非常時局ノ下、議會政治批判ノ渦  
中ニ於テ、選舉法改正ト共ニ、内ハ會期ノ  
延長、常設委員會ノ設置、他ハ議員ノ歳費  
増額 若クハ政務調査ノ手當支給ニ付テ考

慮スルコトガ、國家百年ノ計ヲ圖ル所以デア  
ハナイカト思フノデアリマス(拍手)私ハ世  
ノ偏見者流ヨリ、或ハ誤解ヲ受クルコトア  
ルヤモ知レザルコトヲ敢テ甘受シテ、此質  
問ヲ爲シテ、當局ノ所見ヲ質ス次第デアリ  
マス(拍手)

メル上ニ於テ、甚ダ遺憾千萬デアルト思フ  
ノデアリマス、私ハ他ノ選舉區ノ定員ニ付  
テ、彼此レ申ス者デアリマセヌ、只今申  
シマシテ人口激増區ニ付テ、僅ニ其定員ヲ  
二十人足ラズ増スベシト、主張スルニ止マ  
ルノデアリマス、此點ニ付テ齋藤内務政務  
次官ハ第六十二議會ニ於キマシテ、議員ノ  
定數ハ現在ノ四百六十四人ヨリ、増加スル  
コトヲ好マズト云フコトヲ答辯セラレタノ  
デアリマス、併ナガラ現行法ガ大正十四年  
ノ議會ニ上程セラレタ時ニ於テ、時ノ總理  
大臣ハ加藤高明氏デアリ、内務大臣ハ現民  
政黨總裁ノ若槻禮次郎氏デアタノデアリ  
マスルガ、其内務當局ガ立法理由トシテ、  
區制定員ニ付テ述ベラレタ處ニ依リマスル  
ト、一、人口ト現在ノ議員定數ニ鑑ミルモ、  
今日議員總數ニ普遍的制限ヲ設ケザルベカ  
ラザル理由ナシ、新築中ノ議院ノ議席ハ五  
百席、最大限六百三十席ヲ設ケ得ル設計ナ  
リ、現在ノ此議場ノ四百六十四席ハ、小修  
繕ヲ加ヘル時ハ約二十席ヲ増シ、大規模ノ  
模様替ヲ爲ス時ハ、約八十席ヲ増シ得ル見  
込ナリト稱シテ居ラレルデアリマス、齋  
藤政務次官ガ如何ニ自信力強シト雖モ、現  
行法制定當時ノ内務大臣デアリ、且ツ齋藤  
サンガ所屬セラレテ居ル處ノ政黨、總裁ガ、  
斯ノ如ク明々白々ニ斷言セラレテ居ルニ徴  
シマスレバ、選舉法改正ニ付テ、山本内相ガ  
動モスレバ選舉法改正ノ點ニ付テハ「ロボッ  
ト」ノヤウニ見エ、流石ノ副大臣齋藤  
氏ト雖モ、兎角ノ言議アルベカラズト思フ

次第デアリマス、現行法ノ別表ニ依ルト、  
本法ハ十年間之ヲ更正セズト云フ規定ガ、  
附記サレテ居リマスケレドモ、今ヤ既ニ一  
年間ヲ剩シテ居ルニ過ギザルノミナラズ、  
現行法ガ大正十四年ニ於テ改正セラレタ當  
時ノ選舉法モ、同ジク十年間別表不變更ノ  
規定ガアツタノヲ、時ノ加藤高明内閣ハ選舉  
法ノ大改正デアルガ故ニ、更正スルノ必要  
アリト稱シテ、現在ノ如クニ改メラレタノ  
デアリマス、此意味ニ於テ現行法ノ所謂十  
年間別表不變更ノ規定ハ、勿論絶對的ノモ  
ニアラザルト共ニ、期間内變更ノ前例ガ  
アリ、更ニ今回ハ選舉公營ヲ制定シ、處罰  
ノ上ニ一大改正ヲ加ヘラレタ點ニ於テ、正  
ニ前者ノ讓ラザル大改正ト稱シテ、何等差  
支ナイノデアリマス、此意味ニ於テ須ラク  
此定員ニ關スル、極メテ明瞭ナル不權衡ナ  
ル部分ヲ改正スルノ要アルハ、言フ俟タザ  
ル所デアアルデアリマス、又議會振肅委員  
會ニ於テモ、選舉規定ハ現制ヲ維持スベキ  
モ、其不合理ナル點ハ之ヲ是正スベシト決  
議サレタノデアリマス、即チ所謂不合理ト  
云フコトハ、私ガ只今申上ゲタル如キコト  
ヲ稱スルニ外ナラナイノデアリマス、斯ノ  
如ク觀シ來リマスレバ、政府ハ此選舉法改  
正ノ機會ニ於テ、斯ク明ニ實情ニ反シ、國  
民參政ノ途ヲ狹隘壅塞シテ居ル所ノ此區制  
定員ヲ、而モ一舉手一投足ノ勞ヲ以テ足ル  
區制定員ヲ、何故ニ改正セラレナカッタノ  
デアアルカ、當局ノ寧ロ不熱心ヲ責メザルヲ  
得ナイノデアリマス、此點ニ付テ内務大臣

ノ責任アル御答辯ヲ、御伺ヒシタイノデア  
リマス(拍手)  
ソレカラ私ハ處罰ノ不權衡ニ付テ、御尋  
致シタイノデアリマス、此改正案ヲ見マス  
ルト、罰則ノ章下ニ於テ、選舉事務長又ハ  
事實上選舉運動ヲ主宰スル者ガ買収犯罪ヲ  
犯シタ場合ニ於テハ、候補者ノ當選ヲ無効  
ナラシムル、所謂連坐ノ規定ヲ設ケテア  
ル、又買収犯罪其他惡質ノ違反者竝ニ常習  
「ブローカー」ニ對シテ刑罰ヲ加重シ、官公  
吏ノ選舉犯罪ヲ嚴罰シ、更ニ選舉權、被選  
舉權ノ停止期間ノ延長、或ハ之ヲ絶對的ノ  
モノト爲シ、更ニ時効期間ヲ延長スル等、  
眞ニ秋霜烈日ノ如キ嚴格サヲ以テ臨ンデ居  
ルノデアリマス、其苦心ノ存スル所ハ大ニ  
多トシナケレバナラヌノデアリマスガ、此  
事ノ當否ニ付テハ議論ガアリマスルガ、私  
ハ是ハ他ノ質問者及ビ他ノ機會ニ讓リマシ  
テ、唯一點私ハ此國民ノ自由權利ニ至大ナ  
ル關係ノアル刑罰規定中、非常ニ不公平  
且ツ權衡ヲ失シテ居ル點ノアルト云フコ  
トヲ指摘シテ、當局ノ説明ヲ聽カントス  
ル者デアリマス、即チ第一百一條ノ定ムル所  
ニ依リマス、選舉運動ノ費用ハ事務長  
自ラ若クハ事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ  
支出スベシト云フ、規定ニナッテ居ルノデア  
リマスガ、若シ之ニ違反シテ費用ノ支出ヲ  
爲シタル場合ニ於キマシテハ、一年以上ノ  
禁錮ニ處セラレルノデアリマス、此罪ニハ  
罰金ノ選擇刑ガ無いノデアアル、併ナガラ選  
舉違反中最モ重イ犯罪デアアル買収犯ニ於テ

次ニ私ハ區制定員ノ點ニ付テ、一言質  
問シナケレバナラヌノデアリマス、是ハ昨  
年ノ議會ニ於テモ、稍、同趣旨ノ質問ヲサ  
シテ戴イタノデアリマスルガ、今此改正案  
ニ接シマシテ、區制及ビ定員ニ付テ、何等  
一點ノ改正ヲセラレテ居ラナイト云フノヲ  
見マシテ、私ハ再言ナキヲ得ナイノデアリ  
マス、即チ御承知ノ如ク東京府ニ於ケル第  
五區、第六區、大阪府ニ於ケル或區ノ如キ  
ハ、急激ナル勢ヲ以テ人口及ビ有權者數ヲ  
増加シテ居ル、昭和五年度ノ國勢調査ニ依  
リマスルト、東京府ノ第五區、第六區ト  
モ定員十二人以上ノ人口ヲ有スルニ至ラ  
居ルノデアリマス、然ルニ定員ハ依然ト  
シテ五人トナッテ居ル、試ミニ昨年十二月  
二十日現在、衆議院議員有權者數ノ調査  
ヲ見マスルト、第五區ニ於キマシテハ  
二十九万五千人、第六區ニ於テハ三十一万  
一千人ニ上ッテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク  
人口竝ニ有權者數ニ於テ、二倍半カラ三倍  
ニ増加シテ居ルニ拘ラズ、選舉法ノ改正ガ  
非常ニ廣イ範圍ニ於テ改正セラレレル此機  
會ニ於テ、獨リ定員ノ點ヲ閉却セラレテ居  
ルト云フコトハ、國民參政權ヲ公平ニ、且  
普遍的ニ行ハシメ、民意ヲ議會ニ反映セシ

今日議員總數ニ普遍的制限ヲ設ケザルベカ  
ラザル理由ナシ、新築中ノ議院ノ議席ハ五  
百席、最大限六百三十席ヲ設ケ得ル設計ナ  
リ、現在ノ此議場ノ四百六十四席ハ、小修  
繕ヲ加ヘル時ハ約二十席ヲ増シ、大規模ノ  
模様替ヲ爲ス時ハ、約八十席ヲ増シ得ル見  
込ナリト稱シテ居ラレルデアリマス、齋  
藤政務次官ガ如何ニ自信力強シト雖モ、現  
行法制定當時ノ内務大臣デアリ、且ツ齋藤  
サンガ所屬セラレテ居ル處ノ政黨、總裁ガ、  
斯ノ如ク明々白々ニ斷言セラレテ居ルニ徴  
シマスレバ、選舉法改正ニ付テ、山本内相ガ  
動モスレバ選舉法改正ノ點ニ付テハ「ロボッ  
ト」ノヤウニ見エ、流石ノ副大臣齋藤  
氏ト雖モ、兎角ノ言議アルベカラズト思フ

今日議員總數ニ普遍的制限ヲ設ケザルベカ  
ラザル理由ナシ、新築中ノ議院ノ議席ハ五  
百席、最大限六百三十席ヲ設ケ得ル設計ナ  
リ、現在ノ此議場ノ四百六十四席ハ、小修  
繕ヲ加ヘル時ハ約二十席ヲ増シ、大規模ノ  
模様替ヲ爲ス時ハ、約八十席ヲ増シ得ル見  
込ナリト稱シテ居ラレルデアリマス、齋  
藤政務次官ガ如何ニ自信力強シト雖モ、現  
行法制定當時ノ内務大臣デアリ、且ツ齋藤  
サンガ所屬セラレテ居ル處ノ政黨、總裁ガ、  
斯ノ如ク明々白々ニ斷言セラレテ居ルニ徴  
シマスレバ、選舉法改正ニ付テ、山本内相ガ  
動モスレバ選舉法改正ノ點ニ付テハ「ロボッ  
ト」ノヤウニ見エ、流石ノ副大臣齋藤  
氏ト雖モ、兎角ノ言議アルベカラズト思フ

今日議員總數ニ普遍的制限ヲ設ケザルベカ  
ラザル理由ナシ、新築中ノ議院ノ議席ハ五  
百席、最大限六百三十席ヲ設ケ得ル設計ナ  
リ、現在ノ此議場ノ四百六十四席ハ、小修  
繕ヲ加ヘル時ハ約二十席ヲ増シ、大規模ノ  
模様替ヲ爲ス時ハ、約八十席ヲ増シ得ル見  
込ナリト稱シテ居ラレルデアリマス、齋  
藤政務次官ガ如何ニ自信力強シト雖モ、現  
行法制定當時ノ内務大臣デアリ、且ツ齋藤  
サンガ所屬セラレテ居ル處ノ政黨、總裁ガ、  
斯ノ如ク明々白々ニ斷言セラレテ居ルニ徴  
シマスレバ、選舉法改正ニ付テ、山本内相ガ  
動モスレバ選舉法改正ノ點ニ付テハ「ロボッ  
ト」ノヤウニ見エ、流石ノ副大臣齋藤  
氏ト雖モ、兎角ノ言議アルベカラズト思フ



スラ、罰金ノ選擇刑ガアルノデアラテ、此二ツノモノヲ比較シテ、洵ニ私ハ權衡ヲ失セテアリマス、併ナガラ此不適用ノ費用支出ノ犯罪ニ於キマシテモ、其動機、情狀、犯罪事實ノ内容ニ於テ體刑ヲ以テセズ、財産刑ヲ以テ處斷スルコトヲ相當トスルモノガ、尠クナイノデアリマス、然ルニ買収犯罪ニ於キマシテハ懲役、禁錮、罰金等三ツノ選擇刑ヲ科シ、而モ其體刑ノ期間ハ不適用費用支出罪ヨリモ、長ク規定ヲスル程重キ罪ト目シテ居ルニ拘ラズ、三ツノ刑種ヲ併セ規定シテ、以テ裁判官ガ各其具體的犯罪ニ照シテ實情ヲ酌ミ、又適切ナル判決ヲスルコトガ出來ルヤウニシテ居ルノデアリマス、然ルニ費用不適用法支出罪ハ、全ク刑ノ選擇裁量ノ餘地ガ無いノデアアル、買収犯罪ノ加重ヲ除ク以外ノ、他ノ選擇犯罪ヲ見マズルノニ、何レモ罰金刑ヲ加ヘテ選擇刑ガ規定セラレテ居ルニ拘ラズ、獨リ此費用不適用法ノ支出罪ノミヲ、斯ノ如ク一律的ノ體刑ノミヲ以テ規定セラレテ居ル、而モ之ニ依テ處罰セラレル者ハ、事務長若クハ候補者ト云フヤウニ、選舉運動ニ於テハ重大ナル役割ノ者ガ、此責ヲ受ケナケレバナラスノデアリマス、更ニ此規定ノ不當、不公平ナル實際的例證ヲ擧ゲマスルト、此費用不適用法ノ支出罪ト、買収犯罪トガ同時ニ犯サレテ、一選舉ニ犯サレマシテ、共ニ起訴セラレタル場合ニ於テ、數罪俱發トナテ同時ニ審理判決セラレル場合ニ於キマシテハ、刑

法ノ規定ニ從ヒテ重キ罰條タル買収ノ法條デ、罰セラレルコトニナルノデアリマス、其結果裁判官ハ罰金ヲ選擇シテ、最モ輕ク判決スルコトガ出來ルノデアアル、即チ費用不適用法支出罪ノミヲ犯シタ輕キ罪ノ場合ハ、體刑ヲ以テドウシテモ處罰セラレルノ外致方ガナイ、然ルニ之ニ買収罪ヲ加ヘテ、ヨリ惡キ犯罪ヲ犯シタ場合ニハ、輕キ罰金デ濟マスコトガ出來ルノデアリマス、此事ハ實例ガ存スルノデアリマシテ、洵ニ矛盾極マル不合理、不公平ノ甚シキモノデアルト考ヘルノデアリマス、思フニ費用不適用法支出ハ之ヲ重ク處罰シ、以テ費用法定制限ノ趣旨ヲ貫カントシタ爲デアラウト考ヘルノデアリマスケレドモ、之ヲ他ノヨリ以上ノ惡質ノ選擇犯罪アルコト、比較シ、又各犯罪ノ具體の場合ニ於テ、刑ノ裁量範圍ヲ擴大シテ、裁判官ノ裁量ノ範圍ヲ廣クシテ置クコトガ、刑罰ノ趣旨ニ適フコト竝ニ各刑罰間ノ權衡ヲ得ルニ非ザレバ、國民ヲシテ法律遵守ニ忠實ナラシムルヲ得ザル點等カラ考ヘテ、此選舉費用不適用法支出罪ノ刑罰ヲ、體刑ノミニ單一罪ヲ以テシタコトハ、立法技術上正ニ千慮ノ一失デアルト、斷言セネバナラスノデアリマス、願クハ當局ハ此點ニ付テ此議場、或ハ御調査ノ上デ委員會ニ於テ、根據ノアル答辯ヲ與ヘラレントラ望ム者デアリマス

尙ホ最後ニ一言私ハ他ノ質問者ヨリモ御質問ニナリマシタガ、別ナ觀點ヨリ致シマシテ、比例代表法ニ付テ、私ハ善惡ヲ申スノデアリマセヌガ、何故之ヲ改正案ニ加ヘラレナカッタカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、政府ハ比例代表制度、選舉公營案ノ兩者ヲ以テ政界ノ淨化、選舉法改正ノ二大標目トシテ天下ニ公約セラレテ、法制審議會ニ之ヲ諮クノデアリマス、然ルニ得ルニ至ラズトノ決議ヲ爲シ、更ニ總會ニ於テモ、主査委員會ノ報告通り可決答申シタノデアリマス、即チ斯ノ如ク比例代表法ハ遂ニ流産ノ運命ヲ見タルニ拘ラズ、政府ハ内務省ノ首腦部會議ニ於テ、比例代表法ノ起草ヲ決定シテ、案ヲ作成シ、之ヲ先般樞密院ニ提出シタノデアリマス、然ルニ樞密院ニ於テ種々ナル難問續出ニ會スルヤ、政府ハ忽チニシテ比例代表法ヲ撤回シテ、他ノ部分ノ改正案ノ可決ヲ經テ、茲ニ本院ニ提出セラレタノデアリマス、抑、比例代表法制定ノ根本理由ヲ、政府當局其他ノ人々ヨリ承リマスルト、選舉手續ヲ合理化シテ、國民ノ總意ヲ公正ニ議會ニ反映セシメ、死票ヲ防止スル、又選舉運動ノ爲ニスル個人ノ競争激烈化ヲ緩和シ、延イテハ選舉運動ヲ公正ニ導キ、更ニ議會ト國民ノ關係ヲ密接ニシテ、議會政治ヲ國民生活カラ離反セザルヤウニスルコト、併セテ選舉費用ノ節減ヲモ圖リタイ、是等ノ理由ニ依ルノデアリマス、此故ニ齋藤内閣ハ組閣以來今日ニ至ル迄、此比例代表制ヲ加味シタル選舉法改正ニ向テ、努力シテ來タモノト認メラレルノデアリマス、然ルニ拘ラズ、前述ノ如ク政府當局ノ

此比例代表制ニ對スル態度信念ハ、恰モ浮草ノ如クニ朝三暮四、何等定見ナキノ觀ガアルノデアリマス、即チ内務大臣ノ如キ、法制審議會ニ於テ比例代表ノ答申案ガ流産トナク時ニ於テ、其所感談トシテ曰ク、各方面ノ權威者ヲ網羅シテ法制審議會ニ於テスラ、比例代表制ニ關スル答申案ガ定マラナイト云フコトハ、此比例代表制ガ如何ニムヅカシイモノデアるかト云フ證據ニナル譯デアリ、比例代表ノ實施ガ斯ク容易デナイト云フコトハ、色々ノ人カラ聞イテ居ル云々ト語ラテ居ラレルノデアリマス、即チ明ニ此比例代表制ニ付テ定見確信ヲ有セザル旨ヲ話シテ居ラレルノデアアル、然ルニ其後忽チニシテ説ヲ變ヘラレテ曰ク、比例代表制ハ惡イト云フ譯デハナイ、法制審議會カラモ參考案ガ送付セラレテ來テ居ル次第デアアル、斯様ニ稱セラレテ居テ、一部ノ人カラハ齋藤次官案ノ變態ト稱セラレル所ノ比例代表制ヲ、内務省限リニ於テ一夜作りデ作成ヲシテ、之ヲ樞密院ニ提出セラレタノデアリマス、而シテ齋藤首相ハ樞密院ニ於テ、此提案理由トシテ曰ク、比例代表制ニ付テハ曩ニ法制審議會ニ於テ適當ノ案ガ無カッタノデアアルガ、比例代表制ノ根本主義ニ反對シテ居ル譯デハナイカラ、政府ハ茲ニ十分考究ヲ重ネ、此案ヲ適當ト信ジテ提案ヲシタノデアルト稱シテ居ラレルノデアリマス、然ルニ只今申上ゲタ如ク、政府ハ樞密院ノ反對的質問ニ會スルヤ、極メテ簡單ニ整頓ヲ拾テルガ如クニ、比例代表制ヲ削

除シテ改案シタル上ニ可決シテ、之ヲ本院ニ提出セラレタノデアアル、是等ノ經過カラ見マスルト、齋藤首相、山本内相等ハ、毫モ此比例代表制ニ付テ定見熟慮ヲ持テ居ラヌト斷定スル外ハナイノデアリマス、特ニ選舉法改正案ヲ得ル爲ニ法制審議會ニ諮リタルニ、同會ニ於テ比例代表制ヲ決定セラレザルヤ、之ヲ以テ尤ナリト首肯シテ置キナガラ、忽チニシテ一夜作りノ内務省案ヲ作成シテ樞府ニ提出シ、齋藤首相ハ樞密院ニ於テ、政府ハ十分考究ヲ重ネ、此案ヲ適當ト信ジタルモノナリト聲言シナガラ、一朝樞府ノ反對ニ會スルヤ、信念ヲ以テ之ト一戰ヲ交ユルコトヲ爲サズ、遽々然トシテ之ヲ削除撤回ニ同意シタルデアリマス、是ニ於テ私ハ疑ヒマス、政府ハ比例代表制ノ可否、採否ニ付テハ、果シテ如何ニ考慮セラレテ居ルノデアアルカ、法制審議會ガ決定案ヲ出サ、リシハ何故デアアルカ、此點ニ付テ私ハ御伺シタイノデアリマス、政府ニ於テ立案シ、之ヲ樞密院ニ提出シタルハ、比例代表制ヲ布クニ非ザレバ選舉ノ革正、政界ノ淨化ヲ期スルコト能ハズト稱セラレタモノデハナイノデアリマスカ、而モ一度樞府ノ反對ニ會スルヤ、之ヲ削除シテ此改正案中ニ委ヲ現ハサナイノハ何故デアアルカ、洵ニ猫ノ眼ノ如クニ其態度ガ一定シテ居ラヌノデアリマス、先程武富君モ恰モ内務大臣彈劾ノ如ク申サレマシタガ、私ハ御尤ナ事ト考ヘル次第デアリマス、思フニ齋藤内閣ハ「スロー」ニシテ、牛ノ歩ミノ如ク

弛緩シテ居ルト雖モ、此比例代表制ニ對スル、延イテハ選舉法改正、政界ノ淨化ニ對スル根本的ノ信念熟慮ニ付テ、私ハ非常ニ疑ヲ、徹頭徹尾持テザルヲ得ヌノデアリマス、ドウカ首相、内相ノ明確、責任アル御答辯ヲ御願致シマシテ、私ノ質問ニ代ヘル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣子爵齋藤實君登壇〕

○國務大臣(子爵齋藤實君) 御答ヲ致シマスルガ、比例代表ノコトニ付キマシテハ、先刻申上ゲマシタカラ、重ネテ申上ゲマセヌ、又此議院法改正ノコトニ付キマシテハ、條章ニ關係シテ御尋モゴザイマシタガ、是ハ關係ノ當局ヨリ、御答致シタ方ガ間違ナクテ宜シカラウト考ヘマス、私ハ此處デ議院法關係ノ事ニ付テ、御述ニナリマシタコトニ付テ御答ヲ致シマス、會期ノ延長ハ實際ノ必要ノ場合ニハ、具體的ニ其場合ニ之ヲ考慮スル外ハナイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ常設委員會ニハマダ多クノ議論ガゴザイマスルノデ、俄ニ茲ニ贊成ノ意ヲ表シ兼ネマス、議員歳費引上ハ、目下ノ所考慮致シテ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

〔國務大臣男爵山本達雄君登壇〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 内務ニ御尋ノ選舉區ノ變更ノコトデアリマスガ、是ハ今御話ノ加藤高明内閣ノ時ニ、斯ク／＼ト云フコトデアリマシタガ、是ハ私ハ今初テ承知致シマシタ、併シ此事ニ付キマシテハ、相當内務ニ於テハ研究シテ居ルノデゴザイ

マス、只今四百六十六名ガ定員ニナッテ居リマスガ、之ヲ其人口ニ依ッテ彼此レヤリマスト云フト、殖エル所ハ無論アリマスガ、又一方ニ於テ減ル所モ起ル、唯人口ノ増殖バカリデナクシテ、隨分年ト共ニ都ニ集中スル如キ空氣ガ中々多イノデゴザイマシテ、遂ニ都ノ方ニ殖エルト云フト、田舎ノ方ニ減ズルヤウナ場處モ起ッテ參リマスカラ、是ハ餘程實際ニ就テ考ヘナケレバナラスコトト思ヒマス、ソレカラ又前ノ時ニドウ云フコトヲヤリマシタカ、別表ニ於テ御承知ノ通りニ、十年間ト云フコトニ決メテ居リマシテ、今日ハマダ七年ナノデ、向フ三年アルヤウナ次第デゴザイマスカラ、今日ハ其儘ヤッテ居ルコトデ、決シテ怠慢等閑ニシテ居ル譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ比例代表デゴザイマスガ、成程一應政府ニ於テ比例代表ヲ、今度ノ改正案ノ中ニ入レテ出シマシタガ、日ナラズシテソレヲ止メテ、又再ビ出シタト云フコトハ、如何ニモ自身ニ持論ト云フモノガナクシテ、ヤッテ居ルノデヤナイカト云フコトデアリマスガ、私共ハ唯學者トカ、教育家トカ、宗教家ト云フ者ノ意見ヲ聽クバカリデナシニ、ドウカ行ヒタイト云フ、實行ト云フコトヲ目的ニ置イテ、總テヲ編出シテ居ルノデゴザイマス、所デ今此選舉法ヲ出シマシタ時ニ於テモ、十分ニ考ヘマシタガ、ドウシテモアレヲ其儘實行シヨウトシテ言張りマス、今度ノ議會ニハ無論間ニ合ヒマセヌ、サウスルト唯比例代表ヲ實行スル爲ニソレヲ言張りマ

シテ、遂ニ議論倒レニナッテ、皆方實行出來ナイト云フコトニナリマス、所謂蛇蜂取ラズデ(笑聲、拍手)甚ダ手間取ルコトニナリマス、ソレデアリマスカラ、是ハ今日御協贊ヲ得ルニ至ラズトモ、又他日ニ於テ必ズソレガ起ルヤウナコトニナルト信ジマス、私等ガ何時去リマシテモ、又後ニ於テ、是ハ國家ノ爲ニ必要ダト思ヘバ、必ズ熱心ニヤッテ呉レル人モアルガラウト信ジテ居リマス、ソレ故ニ斯ノ如クシタルデアリマス(拍手)

〔國務大臣小山松吉君登壇〕

○國務大臣(小山松吉君) 三上君質問ノ私ノ所管事項ニ關スル點ヲ御答致シマス、供託金ニ關スル問題ハ、是ハ實務上御處置ニナツタ問題デアラウト推測致シマスガ、法律ノ規定ノ上デハ御引キニナリマシタ選舉法施行令第五十一條ニ依ッテ、還付又ハ取下スルノデ宜シイト思ヒテ居ルノデアリマスガ、選舉訴訟ガ長引キマシタ時ハ、御話ノヤウナ弊害ガ生ズルノデアリマスカラ、此點ハ十分研究致シマシテ、訴訟ガドウ云フ風ニ長引クノデアアルカ、サウ云フ點ハ委員會ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

次ニ文書ニ依ル選舉事務長ノ選舉費用ノ場合デアリマス、現行法百一條ノ規定ニ違背シテ選舉費用ヲ支出シタル場合ハ、第三百四十四條以下ニ依ッテ一年以下ノ禁錮ニ處セラレルコトハ御言葉ノ通りデアリマス、是ハ立法ノ趣旨ヲ申シマス、此百一條ノ規定ハ選舉事務長ニ非ザル者ガ、選舉費用

ヲ支出スルト云フノデアリマスカラ、是ハ買収ヲ盛ナラシムル一ツノ動機ニナルト云フ理由デ、之ヲ禁錮ノ刑ニ處スルト云フコトニナラデ居ルノデアリマス、併シ御言葉ノヤウニ但書ノ場合ヲ考ヘテ見マス、情狀ノ或ハ輕イモノガアルカモ知レヌト思フノデアリマス、實際ノ運用上ハサウ云フ者ヲ起訴シナイデ済マスコトガ出來ルト思ヒマスガ、是モ色々ノ場合ガアリマスカラ、此點ニ付キマシテ今回ノ改正案デハ、刑期ニ觸レテ居リマセヌ、是モ能ク調査シタ後、委員會デ申上ゲタイト思ヒマス

○三上英雄君 簡單デスカラ此席ヨリ發言ノ御許シテ願ヒマス

○議長(秋田清君) 三上英雄君

○三上英雄君 只今齋藤首相、山本内相ノ御答辯ヲ承レバ、比例代表ニ對スル取扱ヒ振リト、機會毎ニ御發言ニナラテ居ル其内容ヲ對照シテ、洵ニ政府ノ比例代表ニ對スル態度信念ヲ疑ハザルヲ得ナイト云フ點ハ、相變ラス變更シナイノデアリマス、併ナガラ是等ノ點竝ニ只今ノ御答辯ヲ伺テ、承服セザル點ガ數多イノデアリマスガ、是ハ他ノ機會ニ譲リマシテ、之ヲ以テ私ノ質問ハ打切りマス

○議長(秋田清君) 戶澤民十郎君

(戶澤民十郎君登壇)

○戶澤民十郎君 議場ノ光景ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ簡單ニ政府當局ニ御尋申上ゲマス、併シ私ノ簡單ナガラ申上ゲマスコトハ、民政黨ハ固ヨリ政友會ノ諸君モ、國

民同盟ノ方々モ、第一控室ノ方々ニモ、是非御賛成ヲ仰ギタイト云フ趣旨ノ下ニ政府ニ質問ヲ申上ゲマス、暫時御清聴ヲ煩シマス、段々同僚ヨリ此法規ニ關シマシテ痛烈ナル質問、攻撃等ノ演說モゴザイマシタガ、私カラ見レバ齋藤總理大臣、山本内務大臣ガ老軀ヲ提ゲテ誠心誠意、御努力ニナラテ居ルコトヲ認メマス、比例代表ノ如キモ、凡ソ實行ノ局ニ當ル當事者トシテハ、色々又紆餘曲折ノアルコトヲ免レナイ、力一杯此上ニモ御盡力下サツテ、假令内閣ノ運命ハドウナラウトモ、朝ニ道ヲ聽イテタニ死ストモ可ナリ、ウント御盡力下サルコトヲ希望シテ、閣僚諸公ノ御盡力ヲ多トスル者デアリマス、私ノ質問ヲ申上ゲル事柄ハ、細カイ事ハ全部抜キニ致シ、成ベク他ノ同僚諸君ノ演說ト重複シナイヤウニ、簡單ニ「コンドン」シテ申上ゲマス

其第一點ハ、現在行ハレテ居ル選舉法ヲ單純化スル御考ハナイカト云フノガ第一點デアリマス、議員諸君ノ經驗アル方々ニ、或ハ御賛成ヲ得ルカト思フ一或ハ反對ノ方ガ多イカトモ存ジマスガ、此普通選舉法ハ他ノ法規ト違ヒマシテ——日本ノ各種ノ法律ハ主トシテ歐羅巴系統ノ胤ヲ引イテ、日本獨特ノ所謂國產ト云フモノハアリマセヌ、所ガ此法規ニ限テ全ク純國產デアルコトハ、諸君ガ御作りニナラノデ能ク御承知ノ通りデアリマス、其法規ノ根本趣旨ハ立憲政治ノ根本ニ、所謂佛作テ眼ヲ入レタ、洵ニ立派ナ法規ノ制定デアリマスガ、私カ

ラ見ルト立法技術ニ於テ失敗シテ居リハシナイカト思フノデアリマス、ドノ點ガ失敗シテ居ルカト云フト、實ニ複雑極マル、一體普通選舉ト云フモノハ、私ハ常ニ考ヘテ居ルガ、丁度御神輿ヲ昇ガヤウニ、國民全部一齊ニ立上テ、ワツト昇ギ上ゲルノガ普通選舉デアラウト思フ、然ルニ此法規ヲ諸君ガ御覽ニナルト、諸君ハ御憤レニナラテ居リマセウケレドモ、諸君ノ部下ノ人々ガ、ヤア推薦狀ニ同意ヲ求メルノガドウダトカ、屈ガドウダトカ、ア、ダスウダト喧シイコトデ、ガンジ搦メニナラテ、心アル立派ナ所謂諸君ノ正シイ「フアン」ト云フモノガ「先生出テ行テ御手助けシタイガ、私ハ危ナイカラ御免蒙ル」ト云フノガ甚ダ澤山アルダラウト思フノデアリマス(拍手)是ハ私ハ此普通選舉法ト云フ、我國ノ歷史上洵ニ立派ナ法規ヲ拵ヘナガラ、實ハ先輩同僚諸君ガ血ノ雨ヲ降シテマデ闘テ作テ此立派ナ法規ノ内容ヲ充實スルニ付テ、其立法技術ニ失敗シタコトヲ私ハ稍、遺憾ニ存ジテ居リマス(拍手)ソコデ政府ハ此法案ヲ改正スルニ當テ、色々御苦心ニナラタコトハ認メマスガ、實ハ此改正案ヲ見マスト云フト、洵ニ酷ナ批評ヲ申シテ相濟ミマセヌガ、私カラ見ルト、ドウシタラ宜イカト云フ一貫シタ精神ガ、實ハ現レテ居ラナイコトヲ遺憾ニ思ヒマス、私ガ此質問ヲ爲スニ付テハ、先以テ私ノ方針ヲ申上ゲマスガ、私ノ方針ハ政治ノ第一歩デアアル選舉ト云フモノヲ立派ニスルコトガ、諸君ノ御承知ノ通り大切

デアルガ、日本全國ノ選舉ガ如何ニスレバ立派ニナルカト云フト、立派ニスル途ハアル、現在ノ實情ハ總理大臣以下役人モ、民間ノ方々モ、何トカ立派ナ法律ヲ作りタイト色々苦心アラセラレテ居ルケレドモ、ドウシタラ立派ニナルカト云フ方法ヲ發見サレテ居ラナイト私ハ思フ、私ハ質問ヲ申上ゲルニ付テ私ノ考ヲ申上ゲマスガ、是ハ小手先ノ法規ノ改廢デハ出來マセヌ、ドウシタラ宜イカ、役人ト云ハズ、民間ト云ハズ、全國一齊ニ立上テ、所謂國民ノ訓練教育ヲ施スヨリ外ニ途ハ無イノデス、是ガ唯一ツデアル、其事ニ付テ政府當局ニ一二ノ質問ヲ申上ゲ、最後ニ私ノ玉手箱ヲ申上ゲマス(笑聲)

第一ノ質問ハ、是ハモウ前段申上ゲマシタカラ簡單ニ題ダケ申上ゲマスガ、法ガ窮屈デ細カ過ぎル、之ヲ單純化スル御考ガアルカドウカト云フコトデアリマス、戶別訪問ハイケナトカ、面接行爲ガイケナイトカ、何ダカシタト云フ細カイコトヲ一切取去テ、此先生ニ應援シタイト思フ人ハワツト飛出シテ來テ、路傍デ演說ヲヤルモ宜シ、或ハ其人ノ體ヲ擔ギ上ゲテ行クモ宜シ、ワツト國民一齊ニ立上テ、苟モ日本男子悉ク立上テ、此選舉ニ應援スルト云フ景氣ノ好イ行キ方ガ、普通選舉ノ實質ニ適スルト私ハ思フノデアアル、ソコデ能ク御考ヘ下サツテ、大政黨ノ諸君モ御考慮ヲ賜テ、之ヲ一切單純化シテ全國一齊ニ立上ツヤウニ、細カイ規定ヲ取テシマフト云フコトガ、普通選

舉ノ目的ヲ達スル所以デハナカラウカト私ハ考ヘル、政府ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス、是ガ第一點デアリマス

第二點ハ、是ハ司法大臣ニ能ク御聽キテ願ヒタイノデアアルガ、行ハレザル法律ノ下ニ國民ヲ曝シテ置イテ、危險ハゴザイマセヌカト云フコト、言葉ヲ換ヘテ申セバ、法律ニ遵ハナイ習慣ヲ作ルト云フコトガ、恐ルベキ弊害ヲ國民ノ頭ニ植込ムト云フ結果ニナリハシナイカト云フコト、此點ガ極メテ大切デアリマス(「ヒヤ〜」)私ハ今茲ニ諸君ノ御倦怠ヲ顧ミズ、五・一五事件ノ批評ハ致シマセヌ、併ナガラ諸君、苟モ白晝公然身ニ軍服ヲ纏ヒ、總理大臣ノ官邸ニ押込ンデ、「ピストル」ヲ以テ、「話セバ分ル」ト言フノニ、我ガ犬養總理大臣ヲ射ツタ、此行爲ハ國法ノ上カラ見タラ何デアリマセウ、吾々ハ幼少ノ頃ヨリ國民諸君擧ゲテ如何ナル祝日ニ於テモ拜シタ明治天皇ヨリ賜ツタ教育勅語ニハ「常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ」ト仰セラレテ居ルニ拘ラズ、軍服ヲ著テ白晝公然總理大臣ノ官邸ニ押込ンデ、人殺シノ大罪ヲヤッタト云フコトハ、國法ヲ重シザルモノ、甚シイモノデナクテ何デアリマセウカ(拍手)私ハ今此席デ若キ青年將校ノ過チヲ咎ムル者デハアリマセヌ、是等ノ若キ青年ノ人々ヲ生ミ出シタ現代ノ御五國民全體ガ、胸ニ手ヲ置イテ考フベキモノデハアリマスマイカ、諸君、話ハ簡單ニ進メテ参リマス、亞米利加ニ於テ禁酒法ヲ廢メタ、何故ニ亞米利加ハ禁酒法ヲ廢メタ

カ、一面ニ於テハ上戸黨ノ成功デアリマセウ、併ナガラ他ノ一面ニ於テハ是ハ亞米利加ニ於テモ人無シトセズ、行ハレザル法律ハ絶對ニイケンイト云フノデ、亞米利加ニ於テハ見ル所アツテ、此禁酒法ノ廢止ヲシタモノト私ハ睨ンデ居ル(「ヒヤ〜」)其通リト呼フ者アリ)行ハレザル法律ガ如何ニ世ノ中ニ行ハレテ居ルカ、司法大臣篤ト御考願ヒタイ(「ヒヤ〜」)政黨内閣ノ時ニハ私ガ斯様ナコトヲ反對黨トシテ申上ゲルトナニ反對黨ダ、何ヲ言フカト抑ヘラレルガ、幸ニ此内閣ノ下デハ反對黨トシテ言論ヲ封ジラル、危險ガ無イ、ドウカ司法大臣能ク御考願ヒタイ、法治國ノ御互トシテ選舉法ノ適用以外ニハ、滅多ニ國法ヲ侵害スル場合ハ少ウゴザイマス、唯選舉法ヲ適用サレル實際ノ舞臺ニ於テ——衆議院議員ノ選舉ニ於テハ、府縣會議員ノ選舉ニ於テハ、市町村會議員ノ選舉ニ於テハ、今東京アタリデ行ハレテ居ル區會議員ノ選舉ニ於テハ、戸別訪問爲スベカラズト云フ法律ノ下ニ、果シテ是ガ現實ニ行ハレテ居ルデアリマセウカ、諸君、政治家ノ方々ノ如キハ、實ニ世ノ中デハ常識ニ非常ニ富ンダ方ダ、常識ニ非常ニ富マレタ方々ハ、何事ガアツテモ容易ニ驚カナイ、驚カナイ立派ナ常識ヲ有タレルト同時ニ、御互氣ヲ付ケナイト、時トシテ清濁併セ吞ミ過ギテ如何ハシイコトガ民間ニ行ハレテ居テモ、何ダ、其位デ宜カラウト見遁ス癖ガ時ニナイデモナイノデアリマス、總テノ選舉ニ於

テ、年百年中彼方此方デ、代表ノ選舉ガ行ハレル時ニ、法律デ以テ禁ジテ居ル戸別訪問ガ殆ド公然ノ秘密デ行ハレ、面接行爲ハ罰スルゾト言テモ、ソレガ常ニ破ラレル、而モソレ等ノ事件ガ檢事ノ前ヘ來ル、私ガ直接辯護シタ事件ニ付キマシテモ、或ル檢察官ガ捕ヘテモ捕ヘテモ證據ハ學ラナイ、到頭終ヒニ、併シ君、面接行爲ノ五ツヤ六ツハアルガラウ、モウ君歸サナイゾ、歸ラレナイノガ厭ナラバ、戸別訪問ノ五ツ位出セト言フ、仕方ガナイカラ妥協シテ出シタト云フ例ヲ澤山私ハ立會テ居ル、是等ヲ見ルト云フト、國民ガ法規ノ前ニ眞劍ニ、明治天皇ノ仰セニ從ウテ、國憲ヲ重シ國法ニ遵フト云フ、忠實ニシテ眞面目ナル國民トシテノ心持ヲ、誰ガ破壊シテ居ルカト云フコトヲ、私ハ其責任ハ問ヒマセヌガ、國ヲ擧ゲテ此法律ノ下ニ、法益繁クシテ國民ノ心益荒ンデ行クノ傾向アルコトヲ、私ハ痛感スルノデアリマス(「ヒヤ〜」)「拍手」是ニ於テ此法規ガ如何ニ民間ノ頭ニ影響シテ居ルカト云フコトヲ御覽下サレテ、而シテ此選舉法ヲ諸君モ、政府當局モ御覽ニナルト云フト、是等ノ威信ノナイ、威力ノナイ戸別訪問ノ如キ、實際ニ法ガ行ハレナイ面接行爲ノ如キ、之ヲ禁ズルト云フコトヲ止メテシマラドウデアラウカ、元來固ヨリ高潔ナル政治道德カラ申シマスレバ、投票ヲ下サイ、清キ一票ヲ私ニ下サイナント云フ演說ハ聞ク所デアルケレドモ、是ハ卑シイ、左様ナコトハ言

フベキモノデハナイガ、併ナガラ實情ハドウカ、二ツ下サイ、私ノ友人ニ願ヒタイ、私ノ親戚ニ願ヒタイ、ソレナクシテ投票ガ行ハレテ居ルデアリマセウカ、悉ク是レ國憲ヲ重シズ、國法ニ遵ハナイコトガ晝夜行ハレテ居ルニ至ッテハ、御互國ヲ治ムル者ハ胸ニ手ヲ置イテ考ヘナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス(「ヒヤ〜」)斯様ナコトヲ想ヒ到ル時ニ、詳細ナコトハ賢明ナル諸君ノ前デ諄々シク申上ゲマセヌガ、行ハレザル法律ノ下ニ國民ヲ曝シ、如何ナル恐レル、結果ガ吾々ノ頭ニ招來スルデアラウカト云フコトヲ御考ヘ下サレテ、只今御互ノ眼ノ前ニ御提出ニナツタヤウナ改正デナクシテ、根本的ニ法律ヲ改廢スルノ途ハナイデアリマセウカト云フコトヲ質問申上ゲ、御希望ヲ申上ゲルノデアリマス

次ニ申上ゲタイト思フコトハ、選舉違反ノ事件ガ國民ノ醇風美俗ヲ破壊シテ居リハシナイカト私ハ思フ、同僚ノ諸君ガ單ニ刑罰ノ重イダケデハ、法ノ目的ヲ達セヌト云フコトヲ縷々御説明ニナツタカラ、其方面ハ私省略致シマスガ、併シ苟モ司法當局トシテ、刑事政策ノ妙趣ト云フモノカラ御覽ニナツタナラバ、實ニ私ハ涙ノ零レルコトガアラウト思フ、東京ニ御住居ニナル臺閣ノ諸公ニハ、餘リ面リ御感ジガナイカモ知レナイ、併シ吾々農村ニ能ク参リマス者ハ、今日ノ有様ヲ見テ、時ニ涙ガ零レル、刑事政策ノ妙味ハ、今私ガ此處デ諸君ノ前デ申上ゲマスコトハ甚ダ恐縮デアリマスガ、一寸例ヲ

引イテ見ルナラバ、丁度子供ヲ押入ニ押込ムケレドモ、ガタト締メテシマッテハイケナイ、オ父サンガ頸ヲ掴マヘテ、愈言フコトヲ聽カナケレバ此押入ニ入レルゾ、勘辨シテ下サイト云フ所ニ經世ノ妙ガアル、濡レル前コソ露ヲモ厭ヘ、私共自動車ヲ持タナイ者ハ、最初ハ薄氷ヲ履ムガ如クニ歩イテ居リマスガ、一旦泥ガ靴ニ附キマス、モウヤケ糞デバシヤノト入りマス、濡レヌ前コソ露ヲモ厭ヘデアリマスガ、監獄ノ扉ヲガチヤント締メラレテ、天下幾萬ノ立派ナ紳士ガ刑餘ノ人トナッテ居ル、ソレダケナラバマダ宜シイ、凡ソ社會制裁、刑事政策ノ妙味ハ、其村其部落ニ立派ナ社會制裁アリ、部落制裁アッテ、刑餘ノ人ヲ餘リ容メルコトハ是ハ考物デアリマスケレドモ、一度刑餘ノ人トナッテナラバ、容易ニ其過去ノ屈辱ト云フモノハ、拭フコトノ出來ナイヤウナ社會制裁アルコトガ、今日ノ農村トシテハ非常ニ必要デアアル、然ルニ祖先傳來ズト家柄立派ナ人ガ、外デハ罪ヲ犯ス氣遣ハナイガ、思ハヌコトデ選舉違反デチヨイトヤラレタ、ソレモデス、ソレモ選舉區内ノ唯一ノ惡イ選舉「ブローカー」見タヤウナ人ナラ格別デアルケレドモ、經驗アル諸君ガ御覽ノ通り、普通ノ「ブローカー」ハ中々巧イカラ取捕マリ様ハナイ、立派ナ紳士ガチヨイト觸レタバカリニ、捕ヘテ監獄ニ打込マレル、コチラノ部屋モソチラノ部屋モ強盜竊盜ト相並ンデ、サウシテ幾日カ鐵窓ノ下ニ呻吟シテ村ヘ歸ッテ來ル、是マデハ賭博ヲ

打ツ奴ト泥棒トハ村デハ擯斥サレテ居ラ、豈圖ランヤ、村デハ一番尊敬ノ的ニナッテ居ル家柄ノ人ガ、是カラハ刑餘ノ人ニナリ、或ハ監獄戻リトナリ、村ニ於ケル制裁、社會ニ於ケル制裁ト云フモノガ、根本カラ頭ノ中ニ破壊サレツ、アルト云フコトヲ、司法大臣ハ痛切ニ御覽ヲ願ヒタイ(ヒヤノ)拍手)

驚カレルカモ知レヌ、平凡デアルケレドモ、此平凡ヲ國ヲ擧ゲテ行フト云フコトニシテ、初テ選舉ノ實ハ擧リ、憲政有終ノ美ヲ濟シ、以テ世界ニ日本ガ雄飛スルコトガ出來ルコトニナルノデアリマス

思想モ取入レテ、日本ノ在來ノ思想ト純化シテ大和魂ト云フモノガ出來上ツタ、ソレハ立派ナモノデアッテ、今日ノ立憲政體ニモ立憲政治ニモ適用出來ル立派ナ思想デアリマスルケレドモ、世ノ中ハ明治ノ御維新マデハ封建時代デアッタ、是ニ於テ我が日本ノ國ノ道徳ノ基礎ト云フモノハ、私モ先刻船田君ノ立派ナ御話ヲ聽イテ喜ンダ次第デアアルガ、日本ノ道徳ノ根本ト云フモノヲ御覽下サイ、總テ是レ立憲政治ニハ禁物ノ消極道徳、服從道徳、盲從道徳、言葉ヲ換ヘテ言ハバ甚ダ汚イ言葉デアリマスケレドモ、奴隸道徳デス、己ノ人格ト云フモノ、存在ヲ認メズ、盲目的ニ附イテ行クト云フ行キ方ニナッテ居ル、是ハ立憲政治ニ禁物ダ、哲學ノ講釋ハ御迷惑デアリマスカラ簡單ニ申上ゲテ、以上ヨリ申上ゲマセヌガ、是程立派ナ國民性ガアッテ、若シ外國ト戦ヲ開クナラバ、三勇士ノ如キ人ガ全國ニ滿チテ居ル、其立派ナ人達ガ一度選舉ニ臨ンデ見ルト云フト、是ハ選舉ニ臨マレタ諸君ノ經驗サレル通り、一度選舉ヲヤッテ見ルト云フト、地方人士ノ顔ガ二度下見ラレナイ位ニ、實ニ選舉界ト云フモノハ、實ニ諸君ノ御承知ノ通りデアアル、此様ナ國ヲ擧ゲテ立派ナ國民性ノ日本國民ト、選舉界ニ於ケル選舉有權者諸君トシテ全國民トヲ比較シテ、少シモ變ラナイ國民デアアルニ拘ラズ、一ハ立派ナ軍事國民タリ、一ハ實ニ選舉界トシテハ正ニ遺憾ナル現象ヲ現シテ居リマス所以ノモノハ、明治維新マデノ道徳ノ建テ方ガ立憲

斯様ナ問題ノアルトキニ、儲テ此選舉法ノ改正ヲ諸君ガ御覽ニナルト云フト、大根切ルヨリモ樂ニ選舉法ノ改正ガ行ハレテ居リマス、イヤ何々シタ者ハ二年以下ノ懲役若クハ禁錮ニ處スト云フノガ、一寸數字ガ變ヘラレテ、ポイント三ニ上ガッテ居ル、何々シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト云フトガ、ポイント變ヘラレテ二千圓ニナッテ居ル、成程司法大臣ハ敢テ無造作ニ國民ノ首ヲ斬ル考デアルト云フヤウナ輕卒ナコトハ私申シマセヌ、併ナガラ法律改正ノ結果カラ見マスルト云フト、無造作ニ唯數字ガ二ガ三トナリ、一ガ二トナッテ居ルト云フ状態ガ明ニ見エルノデアアル、茲ニ大ニ政府ノ御苦心ヲ——今デモ苦心ヲ拂ハレテ居ルケレドモ、一層ニ御苦心ヲ拂テ戴キタイ、唯案ナクシテ——戸澤民十郎、案ヲ持タズシテ左様ナ質問進言ハ致シマセヌ、私ノ進言致シマスル内容、玉手箱ハ是カラ申上ゲマス(笑聲、拍手)此最後ノ玉手箱、是ガ即チ私ノ質問ヲ申上ゲ、且ツ見當ヲ付ケテ居ル大切ナ事デアリマスガ、併ナガラ諸君、玉手箱ヲ開イテ見ルト、餘リニ平凡デ、諸君ガ

ソレハ何カト申シマス、是ガ第四ノ質問ニナル譯デアリマスガ、立憲教育ヲ施スノ手段ヲ講ゼラレテハ如何カト云フコトデアアル、斯様ニ申スト、ソレハ君、平凡ダ、中平凡デナイ、ドウシテ平凡デナイト云フコトハ、甚ダ哲學ノ講義見タヤウデ恐縮デアリマスケレドモ、暫時一分カニ分御聽キ願ヒタイ、諸君、今日ハ陸軍當局ヤ海軍當局ハ居ラレマセヌガ、若シ陸軍當局海軍當局ノ腹ヲ割ッテ見タナラバ、明治維新マデハ、日本ニハ非常ナ忠君愛國ノ念慮ガ盛デアッタガ、是カラ先キ小學、中學、高等學校、大學ト教育ヲ受ケタ、是カラ先ノ所謂新教育ヲ施シタ日本人ガ、果シテ強ク外國ト戦ノ出來ルモノデアアルカドウカト云フコトハ蓋シ陸海軍ノ當局ハ(居ナイ)ト呼フ者アリ)

居ナイケレドモ、居タナラバ、成程戸澤君ノ言フ通りダト承服セラル、ニ違ヒナイ、所ガ私ノ見ル所ハ其所ニ非常ニ大切ナ事ガアル、何ガアルカト申シマス、開闢以來明治ノ維新ニ至ルマデ、日本ノ國民性ト云フモノハ封建制度ニ依ッテ築カレテ來タ、封建制度ニ依ッテ築カレテ來マシタガ、其頭ノ中ノ肥シニナツタモノハ、諸君ノ御承知ノ通り外國カラハ儒教ノ思想モ取入レ、或ハ佛教ノ

諸君トシテ全國民トヲ比較シテ、少シモ變ラナイ國民デアアルニ拘ラズ、一ハ立派ナ軍事國民タリ、一ハ實ニ選舉界トシテハ正ニ遺憾ナル現象ヲ現シテ居リマス所以ノモノハ、明治維新マデノ道徳ノ建テ方ガ立憲

的デノイ、盲從道德デアリ、消極道德デアリ、奴隸道德デアッタト云フコトナノダ、併シ思想ノ根本ニハ變リハアリマセヌ、ソコニ於テ是カラ先キドウ行クカ、立憲政治ヲ行ツタ以上ハ盲從道德デア行ケナイ、積極道德、立憲政治ニハ自分ノ人格、個人人格ヲ自治體ニマデ擴メル、更ニ進ンデ國家ニマデ敷衍スルト云フ所ニ、所謂人格政治ノ根本ガアルノデアリマス（拍手）此人格政治ノ根本ヲ實行スル途ガナイカアルカト云フノガ、此選舉法改正ニ當テノ重大ナル問題デアリマス、私ハアルト言フ、ソレニハ第一ニ教育ノコト、私ハ此席デ文部大臣ノコトハ批評致シマセヌ、致シマセヌガ、私ハ鳩山君ガ此内閣ノ文教ノ任ニ當ラタ時ニ、是ハ良イ人ヲ得タト實ハ非常ニ期待ヲシテ居ラタ、今回ノ衆議院内ノ問題ニ付テ責任ガ有ルカ無イカハ私ハマダ論斷スベキ時デハナイト思フ、ドッチニシテモ洵ニ遺憾ナコトデ惜シイ、背後ニ有力ナル政友會ヲ持チ將來ハ黨ノ總裁ニデモナラウカト云フ鳩山君、春秋ニ富ミ、是カラ勉強シテ私共反對黨カラモ眞劍ニ進言ヲシテ、成程貴様ノ言フ通りダト云フコトデ、眞劍ニ文教ノ府ニ頑張ラテ、我國ノ所謂國民道德ヲ確立スルヤウニナッタナラバ、茲ニ將來ト云フモノニ面白味

ガアルノデアル、青年訓練ノ問題ガ十年以前カラ諸君ノ前ニ問題トナテ居ル、常ニ問題トナテ居リマシタケレドモ、立憲國民トシテノ主眼の道德、此立派ナ立憲國民トシテノ積極の道德、此道德ヲ青年國民ノ頭ノ上ニ植立テルト云フ方法ハ、今マデ出來テ居ラナイ、所ガ是ハ譯ハナイノデアル、齋藤内閣總理大臣ハ今夕只今カラ御覺悟ヲ下サレバ、是カラ文部大臣ハドウ云フコトニナリマセウカ、ソレハ私、此席デ申上ゲル必要ハナイガ、文教ノ府ニハ我國憲政始メテ以來常ニ伴食大臣ヲ以テ之ニ充テ、居ラタ、是ガ大變ナ不心得デアル、總理大臣ノ壘ヲ摩スルヤウナ立派ナ、天下ノ信賴ヲ受クルダケノ立派ナ人ヲ文教ノ府ニ据エテ、而シテ多少ノ豫算ハ要リマス、要リマスガ全國ニ立憲教育ノ方法ヲ積極的ニ講ズル、諸君、話ガ長クナテ恐縮デスガ、大正十四年ニ初テ此法律ガ布カレマシタ時ニ、アレデモイカヌ、是デモイカヌト云ウテ國民ヲ萎縮サシテシマッタ、其上ニ實ニ間違ッタコトヲヤッタノハ、諸君ノ方デハ卒ザ知ラズ、私共ノ方ノ選舉區デハ警察官ガ講演ヲシテ廻ラタ、其講演ヲ私モ偶、聽イテ見マスルト、ア、スレバ罰スル、斯ウスレバ罰スルト云フヤウニ、罰スルコトバカリヲ話シテ居ル、此

普通選舉ノ面白味、普通選舉ノ有難味、普通選舉ト云フモノ、國民トシテ大ニ努力スベキコトヲ、何人ニモ教ヘナイ、サウ云フ氣分ガ出ナカッタ、ソレカラ今度ハ選舉ガ始メタ、演說會場ニ行ッテ彌次々者ハ禁錮ニ處スルト云フノデ、到ル所デ國民ハヒヤットナッテシマッタ、私ハ現内閣ノ諸公ニ希望ヲ申上ゲ、直チニ御實行願ヒタイノハ、全國一齊ニ起ッテ總理大臣御指導ニナリ、多少ノ經費ハ要リマセウガ、所謂立憲國民道德ノ教育ノ根本ヲ確立スル積極的ナ大運動ヲ起シ、政友會ノ諸君ハ固ヨリ、民政黨、國民同盟モ一緒ニ立ッテ、立憲國民ノ教育ヲ是カラ實行ニ移ルト云フコトガ、此法規ノ、所謂普通選舉ノ法律ヲ佛造ッテ眼ヲ入ル、最後ノ運動デアアルコトヲ確信シ、政府ガ其御考ヲ持タレテハ如何デアアルカト云フコトヲ進言シテ私ノ此質問ヲ打切りマス（拍手起ル）

〔國務大臣小山松吉君登壇〕

○國務大臣（小山松吉君） 戸澤君ノ御質疑ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、第一ハ、法律ヲ單純化スル意思ハナイカト云フ御趣意デアリマス、是ハ單純化スルコトハ、政府ト致シマシテハ希望致シテ居ルノデアリマスケレドモ、度々改正ヲ致シマシテ、結局今日ノヤウニナッテ、必要上色々ナ規定ガ増加シタ次第デアリマス、是ハ單純化スルト申シマスルト、總テノ規定ヲ大分止メナケレバナラスコトニナルノダラウト思フノデアリマス、今日ノ選舉界ノ色々ノ弊害ノマシテ單純化スルト云フヤウナコトハ、其時期デナイト考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ次ニ行ハレザル法律ハ作ッテモ必要ガナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ御意見ト吾々ノ考トハ多少違ッテ居リマシテ、成程或ル規定ニ於テハ、行ハレナイコトモアリマセウ、併ナガラ大體ニ於テ此選舉ノ取締法規ハ行ハレテ居ルト思フ、テ居ルノデアリマス、次ニ醇風美俗ヲ破壊スルノデハナイカト云フ御意見ガゴザイマシタ、是ハドウ云フ御趣意デアリマスガ、能ク實ハ了解致シ兼ネマシタガ、何レ各町村——農村ナドニ於キマシテ餘リニ檢舉セラレル人ガ多イト云フヤウナコトニ依ッテ、我國古來ノ醇風美俗ガ破壊サレルト云フ御趣意デアルト思フノデアリマス、政府ノ從來執リマシタ方針ヲ申上ゲマスルト、只今御言葉ガゴザイマシタガ、選舉法ヲ改正致シマシタ際ニ、其改正ノ要項ヲ各町村ニ配リマシテ、十分ニ了解セシメタノデアリマス、尙ホ警

察部長ナドハ、選舉運動者ノ主ナル人ヲ呼ビマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ニ規定ガ變ヲノデアアル、之ニ依ルト此程度マデノ行爲ハ宜シイガ、斯ウ云フコトヲスルト犯罪デアルト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ今迄ノドウ云フ事情デアリマシタカ、時ニ依リマスト其警察部長ナドノ趣旨ヲ無視シマシテ、戸別訪問ヲ致シマシタリ、又ハ色々ナ違反行爲ヲ爲シタ者ガ出テ來タ次第デアリマス、併ナガラ要スルニ選舉法規ハ行ハレナイノデアルト云フコトハ、實ハ私共ハ御意見ニ承服スルコトハ出來ナイノデアリマス、行ハレナイ部分ノアリマスコトハ認メマスガ、ソレハ是カラ

丁度玉手箱ノ御話トシテ御意見ノアリマシタヤウニ、立憲教育、公民教育ヲ十分ニ施シマシテ、此方面カラモ御言葉ノ人格ヲ涵養スル方ニ努力ヲ致シマシテ、サウシテ法ヲ遵奉スルト云フ思想ヲ養成シタイト思フノデアリマス、御承知ノ通り法ハ國民ノ作リタ法律デアリマシテ、昔ノヤウニ或ル命令デハナイ、吾々ノ作リタ吾々ノ法律デア

ル、吾々ノ法律ヲ守ルト云フ考ヲ、ドウシテモ國民一般ニ涵養セシメナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ヲ以テ御答ト致シテ置キマス

○議長(秋田清君) 戸澤君御満足デスカ  
○戸澤民十郎君 此席ヨリ簡單ニ……  
○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス  
○戸澤民十郎君 以下委員會ニ譲リ質問ヲ打切りマス

○議長(秋田清君) 福田虎龜君  
○福田虎龜君 只今上程ニナッテ居リマス法律ノ改正要點ノ二三ニ付テ御尋ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、改正ノ要點ハ些少ナル公營案ノ取入レト、嚴罰主義ノ二ツデアラウト思フノデアリマス、比例代表其

他ノコトニ付キマシテハ、色々御質問モアリマシタガ故ニ、私ハ茲ニ時間ノ節約上省クコトニ致シテ置キマス、私ノ御尋致サン

トスル所ハ公營案ノ内容デアアルノデアリマスルガ、私共ハ公營案ト云フモノハ、私共ノ考ヘテ居リマス公營案ガ唯一ノ選舉革

正、政界淨化ノ目的ヲ達シ得ルモノデアルト考ヘルノデアリマス、即チ政界ノ淨化ヲ圖ルニハ、選舉ニ要スル費用ヲ直接國家ガ

負擔スルコト、此外ニ最善ナ方法ハナイト云フ大體ノ建前カラシテ、公營案ヲ主張スル者デアアルノデアリマス、隨テ今日提案ニナリマシタ公營案ノ如ク、甚ダ其形サヘモ分

タルモノヲ欲シテ居ルノデアリマス、其内容ハ、詳シイコトハ後日ニ譲リマスガ、要スルニ選舉ニ要スル所ノ費用ト云フモノハ、全部國家ガ負擔スルト云フ大體觀念ニ出發スルノデアリマス、隨テ地方長官、或ハ市町村長ニ於キマシテ、總テノ選舉運動ニ要スル所ノ事務ヲ取扱テ呉レル、要スルニ二三ノ事務員ノ外、總テ運動員ヲ廢メテシマフ、立看板モ止メル、選舉ノピラモ廢メル、總テ止メテシマフ、初メテ茲ニ國家

ノ負擔スル費用ヲ以テ公正ニ選舉ヲヤリタイト考ヘルノデアリマス、之ニハ一方ニ於キマシテ、私共ハ内閣官制ヲ改メマシテ、司法省ヲ内閣ヨリ獨立セシメテ、之ニ司法

警察官ヲ附屬セシムル、此兩方面カラ眞ニ選舉ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルト思フノデアリマス、凡ソ今日モ問題ニナッテ居リ

マス官界ノ綱紀紊亂ノヤウナモノハ、其根ザス所ハ結局權力ノ保障ガアル、權力ノ庇護ガアルト考ヘル所ニ官界ノ紊亂ハ生ズル

ノデアリマス、斯様ナ點カラ考ヘテ參リマシテモ、今日司法省ノ獨立ハ最モ急務ナコトデアアル、當ニ選舉界ノ問題ノミナラズ、

今日ノ政界ヲ淨化シ、今日ノ社會ヲ清ラカニスルニハ、矢張り司法省ノ獨立ガ最モ先

ニ行ハルベキモノデアルト考ヘルノデアリ

マス(拍手)  
又買收防止ノ方策ト致シマシテ、改正案ハ嚴罰主義ヲ採ラレテ居ルノデアリマス、私共ハ嚴罰主義何モ恐ル、所ハナイ、唯其取締ガ洵ニ公正、偏セズ黨セズ取締ルコト

ガ出來マシタナラバ、此嚴罰主義モ決シテ恐ル、モノデハナカラウト思フノデアリマスルケレドモ、飛ブモノハ咎シテ捕フベク、今日ノ選舉犯罪ノ如キハ、多ク陥ラシメ

ントシテ策スルコトガ少クナイノデアリマス、故ニ此點ハ、其取締ル官界ニ於テ餘程注意ヲ要セナケレバナラヌト思フノデアリ

マス、隨テ次ニ起リマス問題ハ、此改正案ニ出テ居リマシタ如ク、官公吏ノ選舉違反

ニ對シマシテハ絕對ニ時効ヲ適用シナイ、是ガ何年先デアラウトモ、内閣ガ迭ラウト、

數年後ニ於キマシテモ、尙ホ選舉犯罪ト云フモノハ存續スル、時効ノ延長デハナクテ、

時効ノ適用ヲ全然廢止スルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス(拍手)其他多クノ問題ガアリマスガ、私ハ總テノ問題ヲ

後日ニ廻シマシテ、茲ニ簡單ニ此質問ヲ結ビマス前ニ一應總理大臣ニ御尋致シタイ問題ガアルノデアリマス

凡ソ憲法附屬ノ大法典デアリマス所ノ選舉法ノ如キハ、是ハ私ガ申スマデモ

ニテ散會

午後五時四十二分散會

ナク、樞密院ニ御諮詢ヲ請フコトデア  
ルノデアリマス、斯様ニ重大ナ法案デ  
アリマスルガ故ニ、此法案ヲ提出サル、  
政府ト致シマシテハ、洵ニ顧ミテ正シイ  
ヤ否ヤト云フコトヲ先ヅ御考ニナルコトガ  
必要デアリマス、現在ノ齋藤内閣ガ、果シ  
テ綱紀正シイモノデアルカト云フコトヲ御  
考ニナルコトガ必要デアリマス(拍手)齋藤  
總理大臣ハ六十二議會ニ於キマシテ、組閣  
ノ當初政界ノ淨化ヲ圖リ、其宿弊ヲ芟除ス  
ル重大使命アルコトヲ述ベラレマシテ「今正  
ニ眞面目ナル國民ノ胸底ニ湧起リツ、アル  
政界革新ノ要望ニ副ヒ、今日ノ非難ヲ一轉  
シテ明日ノ信頼ニ替ヘシメンガ爲メ、十分  
ナル誠實ト熱意トヲ盡サントスルモノデア  
リマス」ト、斯様ニ述ベラレテ居ルノデアリ  
マス、果シテ今日ノ政界ガ、今日ノ非難ヲ  
一轉シテ、明日ノ信頼ニ替ヘタモノデアリ  
マスカドウデアリマスカ、繰返シテ申シマ  
セヌガ、今日此内閣ヲ繞ラテ居ル所ノ綱紀問  
題ノ爲ニ、眞面目ナル國民ノ胸底ニハ、實  
ニ非常ナル憂鬱ヲ感ジテ居ルノデアリマ  
ス、若シ斯様ナ憲法附屬ノ大法典デアル所  
ノ選舉法ノ如キヲ御提出相成リマスルナラ  
バ、モウ少シ御考ニナルコトガ必要デア  
リマセヌカ、齋藤總理ハ選舉法ノ改正ヲ提

出サル、コトガ是デ二度デアル、選舉界ヲ  
革正スルコトハ現内閣ノ使命デアルト御考  
ニナリマシタ結果デアリマセウガ、併ナガ  
ラ斯様ナ法典ト云フモノハ、唯一片ノ法律  
ノ如ク事務的ニ扱フベキモノデハナイノデ  
アリマス、政治的ニ考ヘナケレバナラス、  
現在ノ社會情勢ヲ考ヘテ、人心ノ嚮フ所ヲ  
能ク御察シニナリマシテ初メテ提出サル、  
問題デアラウト思フノデアリマス(拍手)繰  
返シテ私ハ齋藤總理大臣ニ御尋致シマス、  
昨日ノ非難ヲ改メテ今日本當ニ國民ノ信頼  
ニ副ウテ居ルノデアリマスカ、此根本問題  
ニ出發シテ、總テノ解決、總テノ研究ト云  
フモノヲ進メテ行カネバナラスノデアリマ  
スカラシテ、先ヅ此問題ヲ御問ヒ致シマシ  
テ、一應降壇致シマス(拍手)

〔國務大臣子爵齋藤實君登壇〕  
○國務大臣(子爵齋藤實君) 御答ヲ致シマ  
スルガ、私ノ考ハ、昨年モ本年モ變リハゴ  
ザイマセヌ、同様ノ考ヲ以テ進ンデ居リマ  
ス、綱紀問題云々ノ事ニ付キマシテハ、若  
シ綱紀ニ於テ紊レテ居ル所ガアルナラバ、  
之ヲ正サナケレバナラス、此事ニ付キマシ  
テモ、銳意怠ラズヤル積リデアリマス、左  
様御承知ヲ願ヒマス

○福田虎龜君 敢テ質問ヲ繼續ハ致シマセ

ヌガ、唯今日此重大ナル法案ノ改正案ヲ提  
出致サレマスニ付キマシテハ、モウ少シ眞  
劍ニ、自己ノ周圍ニ如何ナル雲霧ガ生ジテ  
居ルカト云フコトヲ、能ク御考慮ナサツタ上  
ニ、處理セラレンコトヲ希望致シマシテ、  
質問ヲ打切りマス(拍手)

○議長(秋田清君) 是ニテ質疑ハ終局致シ  
マシタカラ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員  
ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名三十六名  
ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議  
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナイト認メマ  
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○青木雷三郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本  
日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議  
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナイト認メマ  
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ日  
程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是

衆議院議事速記録第十六號中正誤

三四三頁欄外「營業收益稅法中改正法律案外一  
件 第一讀會」ノ文字アル分ハ之ヲ削除ス

三五〇 頁 改 行 誤 正

三五〇 三 一 三 〇 議長 〇 副議長